

**長野県民の結婚・出産・子育て
に関する意識調査**

報告書

令和6年9月

長野県将来世代応援県民会議

目次

1. 調査概要.....	1
(1) 調査目的.....	1
(2) 調査設計.....	1
(3) 報告書の見方.....	1
2. 調査結果.....	3
I. 長野県民の結婚・出産・子育てに関する意識調査.....	3
(1) 回答者の基本属性.....	3
(2) 婚姻状況.....	4
問4 現在の婚姻状況.....	4
(3) 独身者の結婚に対する意識.....	4
問5 結婚意向.....	4
問6 結婚を考えたときに気になること.....	8
問7 独身でいる理由.....	11
問8 適当な相手にめぐり会わない理由.....	15
問9 「婚活」として行っている、今後行いたいこと.....	17
問10 「婚活」を行っていない理由.....	20
(4) 既婚者の結婚生活の状況.....	21
問11 夫婦が知り合ったきっかけ.....	21
(5) 結婚に対する意識と考え方.....	22
問29 結婚と幸せの関係についてのイメージ.....	22
問30_1 結婚の良さ、楽しさ.....	23
問30_2 独身の良さ、楽しさ.....	25
問31 結婚についての考え方.....	27
(6) 出産や子育てに対する意識と状況.....	28
問12 就労状況.....	28
問13 子どもの人数（現在・理想・予定）.....	31
問14 持つつもりの子どもの数が理想の子どもの数より少ない理由.....	36
問15 2人、3人と出産・育てていくために必要だと思うこと.....	38
問16 子どもを希望しない理由.....	44
問17 1人目の子どもを出産したときの女親の仕事の状況.....	46
問18 仕事を辞めた理由.....	48
問19 理想とする育児と仕事のバランス.....	49
問20 円満な家庭生活を送るうえで優先する労働条件.....	51
問21 親との同居／別居.....	53
問22 親からの子育ての手助けの状況.....	53
問23 利用した制度・施設.....	55
問24 家庭内で未就学児の子育て時にあるとよい支援.....	59
(7) 悩み・不安とその解決方法.....	60
問27 悩み・不安なこと.....	60
問28 悩み・不安の解決方法.....	61
(8) 結婚・子育て・若者支援の認知と意見・要望.....	62
問34 結婚・子育て・若者支援の認知.....	62
問35 結婚・子育て・若者支援に関する県への意見・要望.....	64

Ⅱ．第2次ベビーブーム世代に係る調査	68
（1）回答者の基本属性	68
問 12 就労状況	69
（2）結婚に対する意識	70
問 30_1 結婚の良さ、楽しさ	70
問 30_2 独身の良さ、楽しさ	72
（3）悩み・不安とその解決方法	74
問 27 悩み・不安なこと	74
問 28 悩み・不安の解決方法	75
（4）過去と現在の就労に関する困りごと	76
問 25_1 初めて就職する際に困ったこと	76
問 25_2 就職、転職活動をしていて困っていること	77
（5）過去と現在の必要としている行政からの支援	78
問 32 20代のうちにあったらよかったと思う行政からの支援	78
問 33 現在必要としている行政からの支援	79
（6）現在の幸福度、満足度	80
問 26 現在の生活の幸福度、満足度	80
Ⅲ．調査問の比較	81
（1）悩み・不安なこと	81
問 27 悩み・不安なこと	81
（2）結婚に対する意識	82
問 30_1 結婚の良さ、楽しさ	82
問 30_2 独身の良さ、楽しさ	84
附属資料	86
Ⅰ．調査項目一覧	86
Ⅱ．調査票	87

1. 調査概要

(1) 調査目的

長野県民の結婚・出産・子育てに対する意識や希望を調査し、「長野県将来世代応援県民会議」における事業の方向性の決定や「しあわせ信州創造プラン 3.0」、「長野県子ども・若者支援総合計画（R5～9）」等の評価指標の検証に活用する。

(2) 調査設計

I. 長野県民の結婚・出産・子育てに関する意識調査

調査方法	インターネット調査
調査対象	以下の条件に該当する者を、インターネットモニターより抽出した。 ＜対象者条件＞ ・性別・年齢：18～49 歳男女 ・居住地域：長野県 ・長野県の性・年代構成に可能な限り近くなるように回収を行う。
有効回収数	3,014
調査実施時期	令和6年7月5日～令和6年7月16日

II. 第2次ベビーブーム世代に係る調査

調査方法	インターネット調査
調査対象	以下の条件に該当する者を、インターネットモニターより抽出した。 ＜対象者条件＞ ・性別・年齢：1971年～1974年生まれの男女 ・居住地域：長野県 ・長野県の性・年代構成に近くなるように回収を行う。
有効回収数	429
調査実施時期	令和6年7月5日～令和6年7月16日

(3) 報告書の見方

- 調査結果の数値は、回答率（％：パーセント）で表示している。回答がない場合には、0.0の表示は省略している。
- 母数はその質問項目に該当する回答者の総数であり、その数はnで示している。
- nが30未満の結果については、サンプル数が少ないため、参考値扱いとなる。
- ％の数値は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを表示している。このため各回答の数値の合計が100％とならない場合がある。
- 回答は、単数回答（回答は1つ）の場合と複数回答（回答はいくつでも）の場合、数値を記入する場合とがある。複数回答の問の場合には、その回答割合（％）の合計は100％を超えることがある。

- 比率の差を比較して統計的に有意な差（有意水準 5 %）がある結果を中心にコメントを記載している。

■検定・ポイント差情報		
比率の差の検定 対 TOTAL 行と比較した結果を数表に表示 ※経年比較の場合は、対令和5年度調査(今回調査)と比較		有意水準 5%で高い
		有意水準 5%で低い

- 女性 18～34 歳の結果を記載しているところは、「希望出生率」の算出根拠となる問である。
 「希望出生率」とは、若い世代における、結婚、妊娠・出産、子育てに関する希望が叶うとした場合に想定される出生率を指し、以下の式によって算出される。

$$\begin{aligned}
 \text{希望出生率} = & (\text{女性 18～34 歳の有配偶者割合} \times \text{夫婦の予定する子どもの数} \\
 & + \text{女性 18～34 歳の独身者割合} \times \text{独身者のうち結婚を希望する者の割合} \\
 & \times \text{独身者の希望する子どもの数}) \\
 & \times \text{離死別等の影響}
 \end{aligned}$$

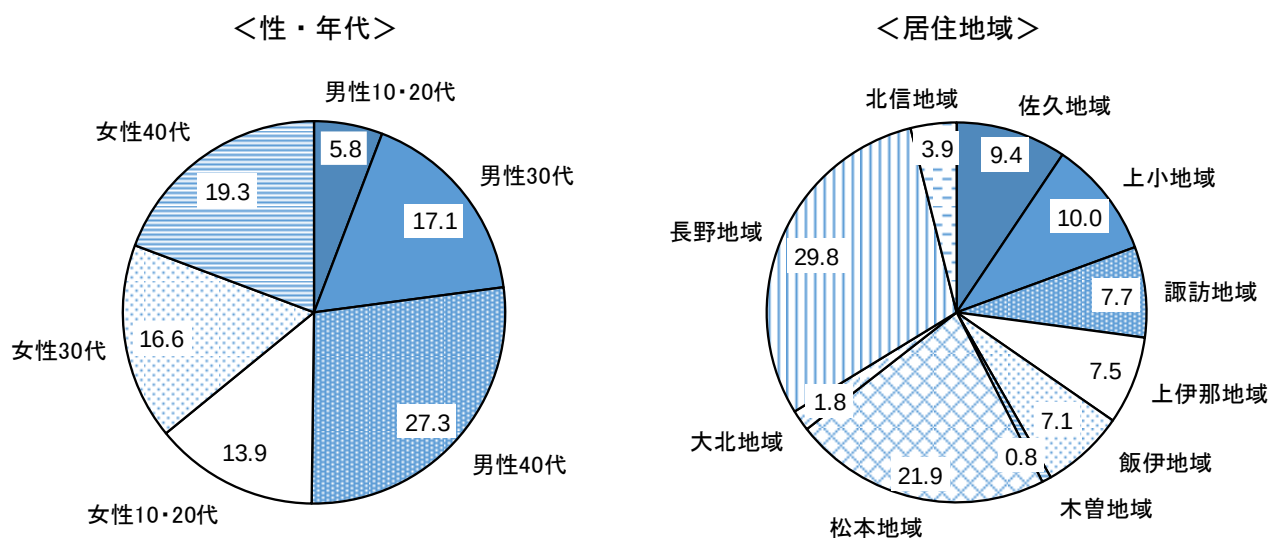
- 居住市町村と、地域の区分は次のとおり。

地域	市町村名
佐久地域	小諸市、佐久市、小海町、佐久穂町、川上村、南牧村、南相木村、北相木村、軽井沢町、御代田町、立科町
上小地域	上田市、東御市、長和町、青木村
諏訪地域	岡谷市、諏訪市、茅野市、下諏訪町、富士見町、原村
上伊那地域	伊那市、駒ヶ根市、辰野町、箕輪町、飯島町、南箕輪村、中川村、宮田村
飯伊地域	飯田市、松川町、高森町、阿南町、阿智村、平谷村、根羽村、下條村、売木村、天龍村、泰阜村、喬木村、豊丘村、大鹿村
木曽地域	上松町、南木曽町、木曽町、木祖村、王滝村、大桑村
松本地域	松本市、塩尻市、安曇野市、麻績村、生坂村、山形村、朝日村、筑北村
大北地域	大町市、池田町、松川村、白馬村、小谷村
長野地域	長野市、須坂市、千曲市、坂城町、小布施町、高山村、信濃町、飯綱町、小川村
北信地域	中野市、飯山市、山ノ内町、木島平村、野沢温泉村、栄村

2. 調査結果

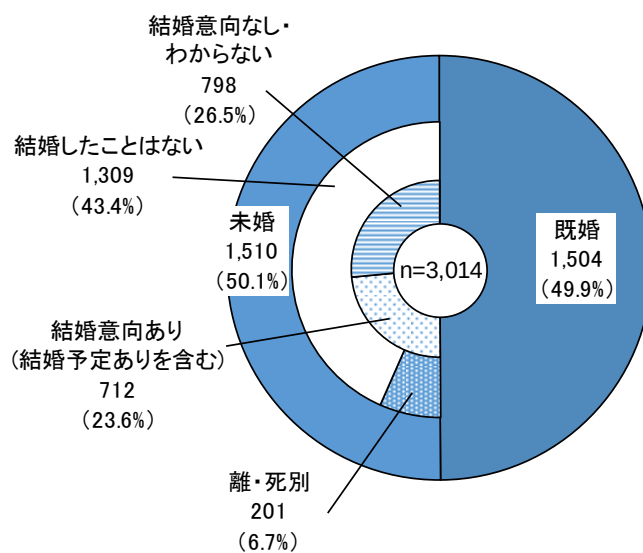
I. 長野県民の結婚・出産・子育てに関する意識調査

(1) 回答者の基本属性



※いずれも n=3,014 単位 (%)

<回答者の結婚等に対する意向・実態>



(2) 婚姻状況

問4 あなたの現在の婚姻状況をお答えください。(回答は1つ)

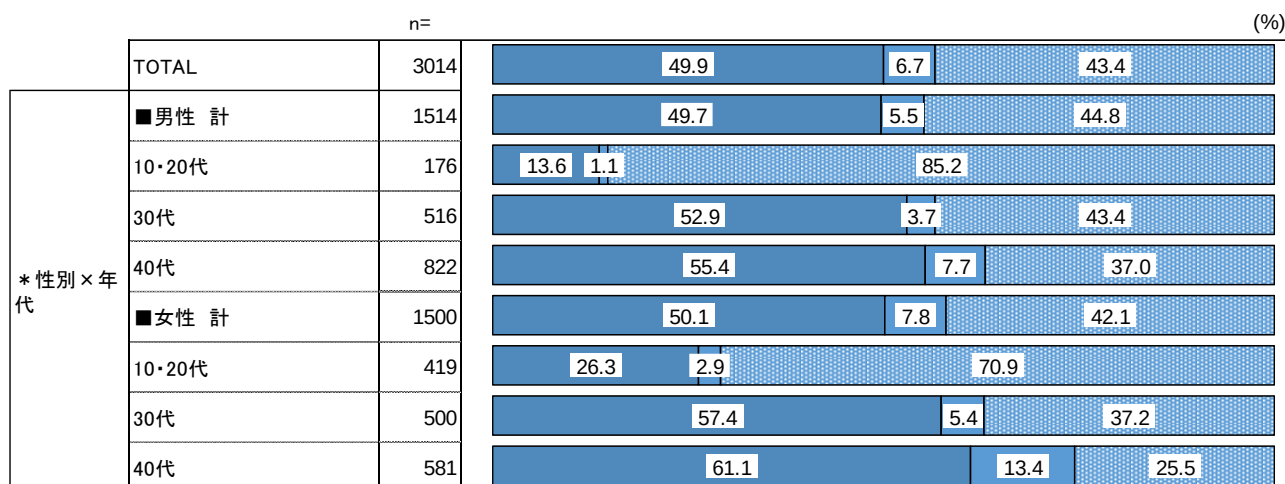
既婚者の割合は49.9%、独身者の割合は50.1%である。

性・年代別にみると、いずれの年代でも女性は男性よりも結婚している割合が高くなっている。

■現在、結婚(事実婚を含む)している

■結婚していたが、現在は離・死別した

□結婚したことはない



(3) 独身者の結婚に対する意識

問5 結婚について、あなたのお気持ちに最も近いものをお答えください。(回答は1つ)

【回答者：独身者】

独身者の結婚意向としては、「いずれは結婚したい」が30.5%、「2・3年以内に結婚したい」が8.1%である。「すでに結婚する予定がある」(2.6%)、「すぐにでも結婚したい」(6.0%)と合わせると、約半数(47.2%)は結婚意向があると回答している。

■すでに結婚する予定がある

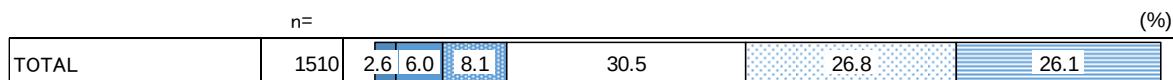
■すぐにでも結婚したい

■2・3年以内に結婚したい

□いずれは結婚したい

□結婚するつもりはない

□わからない



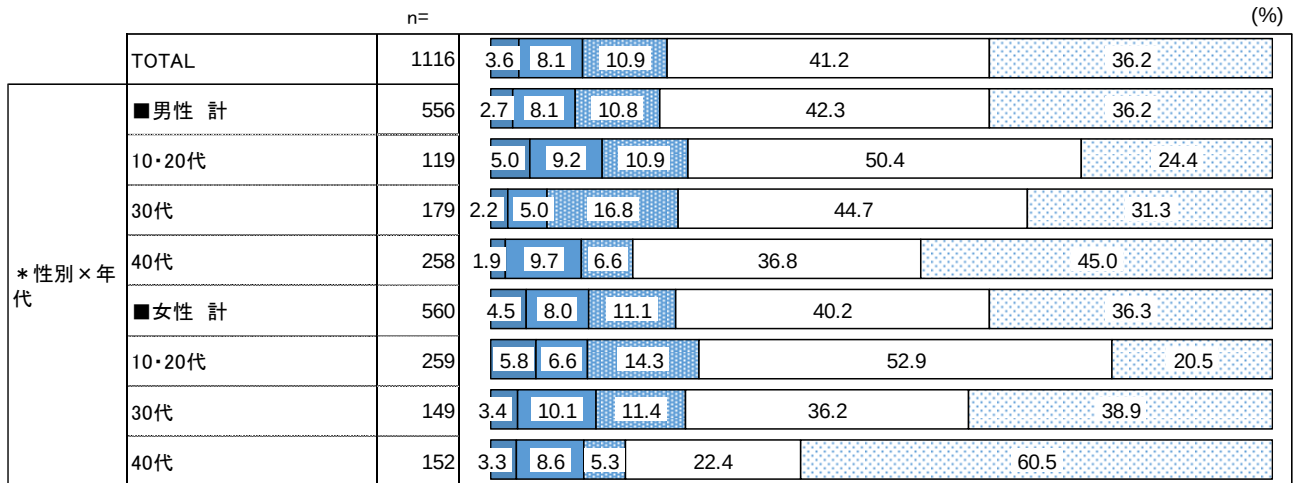
「わからない」の回答を除いた場合、結婚意向があると回答した人の割合は63.8%である。

性・年代別にみると、結婚意向は、女性10・20代が79.6%と最も高く、女性40代が39.6%と最も低い。

また、希望出生率の算出根拠となる「女性18-34歳」では、結婚意向があると回答した人の割合は76.7%であった。

<「わからない」の回答を除いた場合>

■すでに結婚する予定がある ■すぐにでも結婚したい ■2・3年以内に結婚したい □いずれは結婚したい □結婚するつもりはない



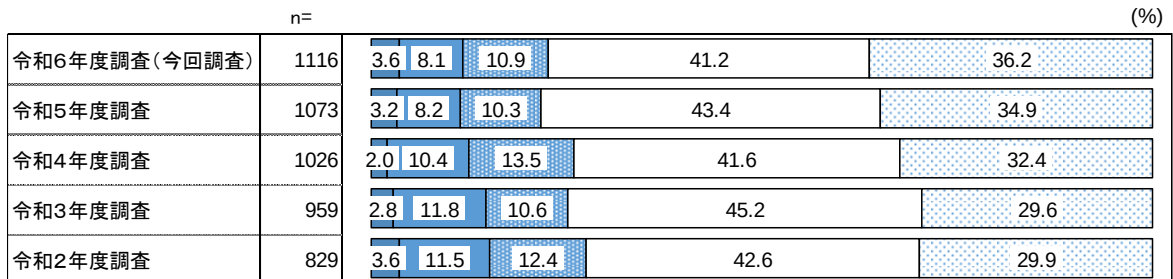
<女性18-34歳の場合>（希望出生率の算出根拠）

■すでに結婚する予定がある ■すぐにでも結婚したい ■2・3年以内に結婚したい □いずれは結婚したい □結婚するつもりはない



令和2～6年度調査（今回調査）までの経年変化をみると、「結婚するつもりはない」がやや増加傾向がみられる。

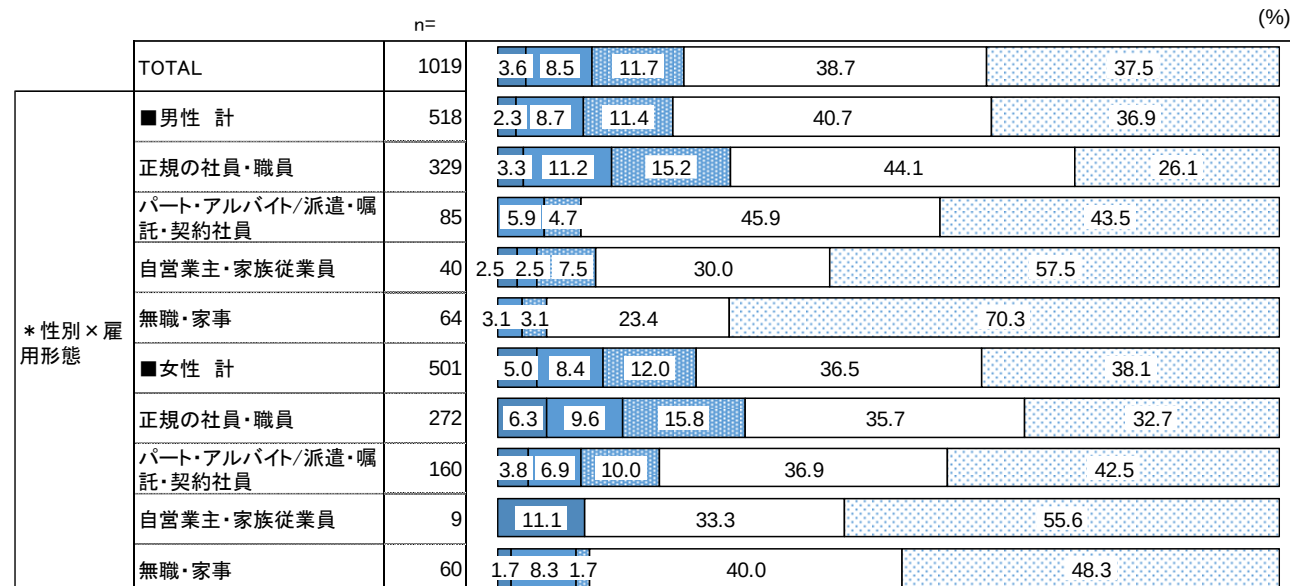
■すでに結婚する予定がある ■すぐにでも結婚したい ■2・3年以内に結婚したい □いずれは結婚したい □結婚するつもりはない



性・雇用形態別にみると、結婚意向は、男女ともに正規の社員・職員で高く、男性 73.8%、女性 67.4% となっている。「結婚するつもりはない」は男女ともに無職・家事で高く、男性 70.3%、女性 48.3% となっている。

10代～30代の場合も同様の傾向がみられる。

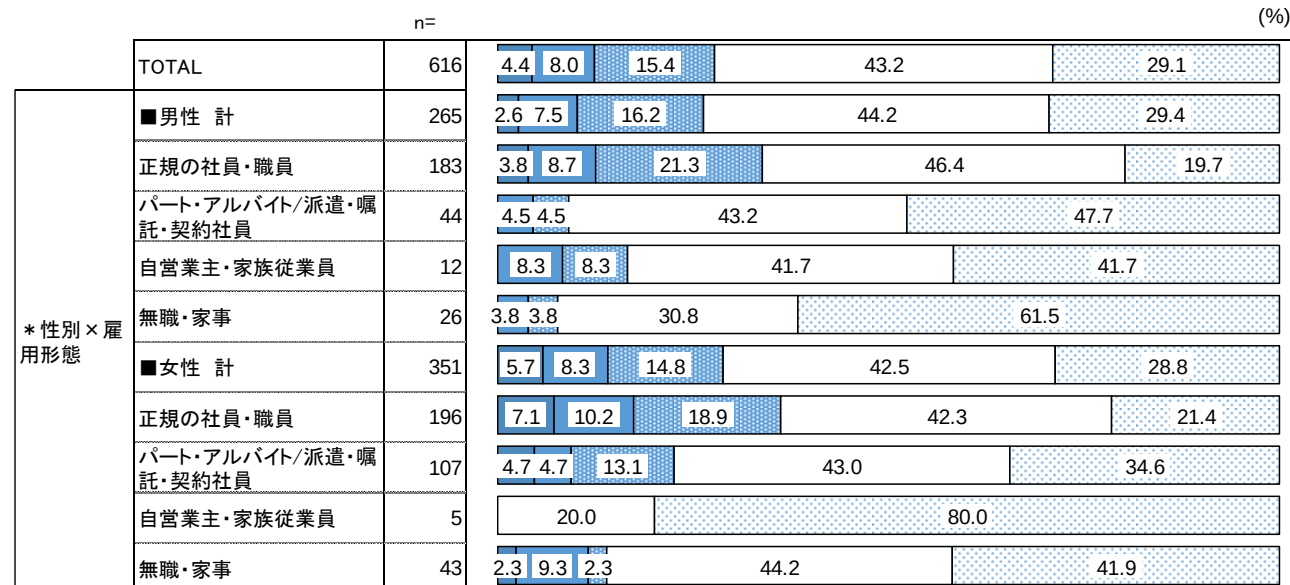
■すでに結婚する予定がある ■すぐにも結婚したい ■2・3年以内に結婚したい □いずれは結婚したい □結婚するつもりはない



※「学生 85 人」「その他 12 人」を除いて計算している。

<10代～30代の場合>

■すでに結婚する予定がある ■すぐにも結婚したい ■2・3年以内に結婚したい □いずれは結婚したい □結婚するつもりはない

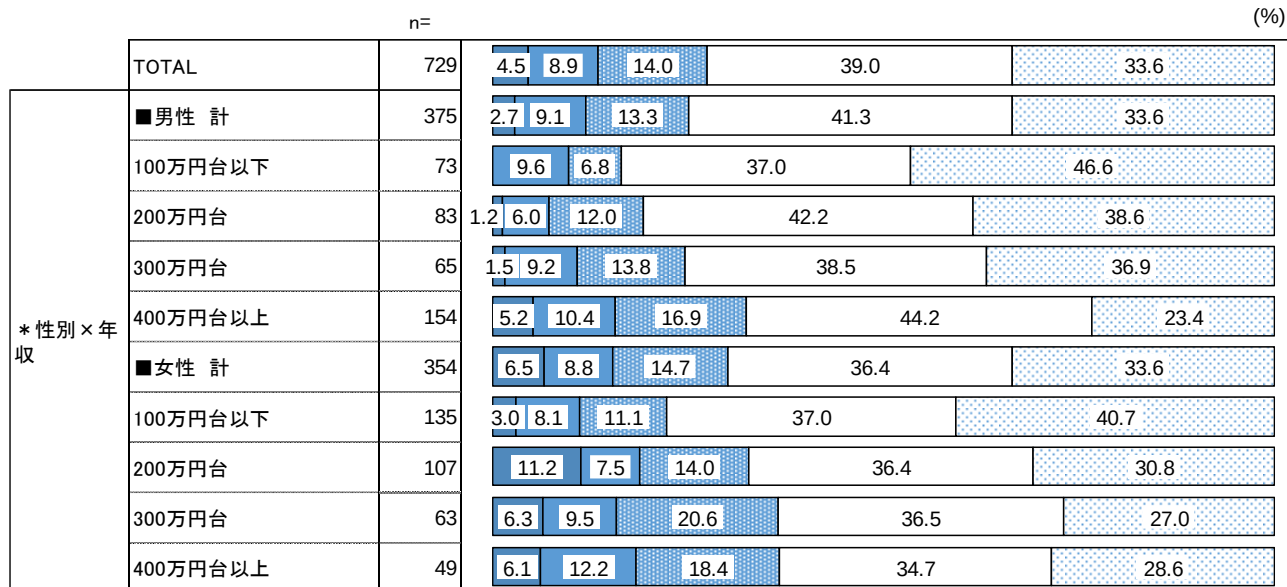


※「学生 84 人」「その他 6 人」を除いて計算している。

性・年収別にみると、「結婚するつもりはない」の割合は、男女ともに年収 100 万円台以下で高く、男性 46.6%、女性 40.7%となっている。

10 代～30 代の場合、結婚意向は、男性の 400 万円台以上で 83.5%、女性の 300 万円台では 85.5%と高くなっている。一方、「結婚するつもりはない」の割合は、男女ともに 100 万円台以下で男性 40.9%、女性 38.7%と高い。

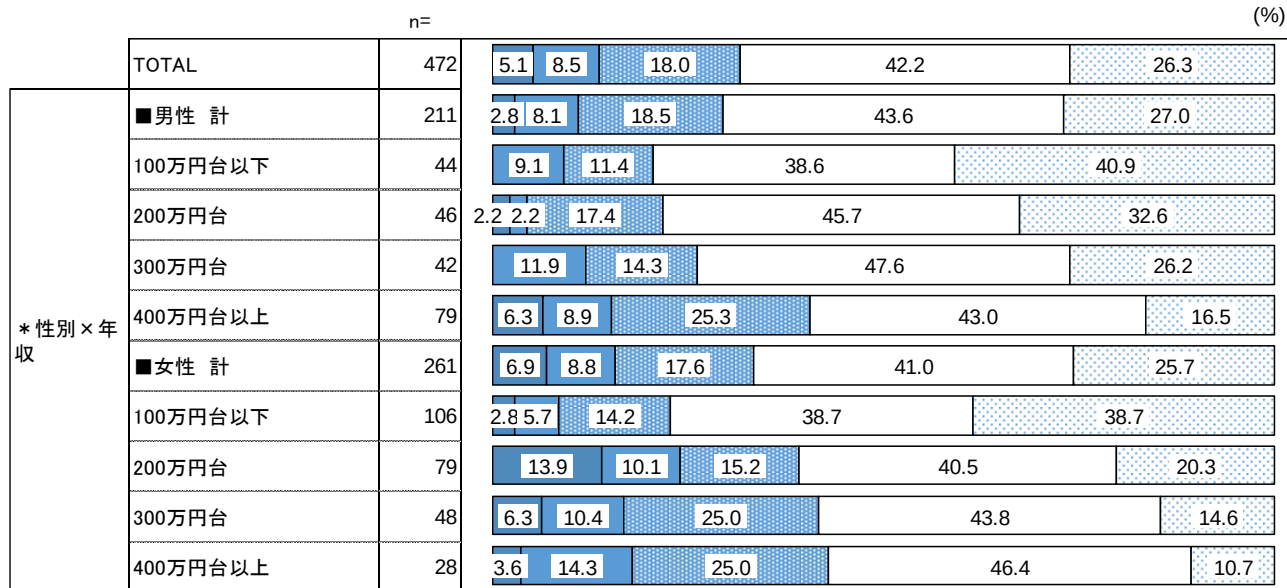
■すでに結婚する予定がある ■すぐにでも結婚したい ■2・3年以内に結婚したい □いずれは結婚したい □結婚するつもりはない



※雇用形態が「学生 85 人」「その他 12 人」「無職・家事 124 人」、年収が「分からない・答えたくない・不明 196 人」を除いて計算している。

<10 代～30 代の場合>

■すでに結婚する予定がある ■すぐにでも結婚したい ■2・3年以内に結婚したい □いずれは結婚したい □結婚するつもりはない



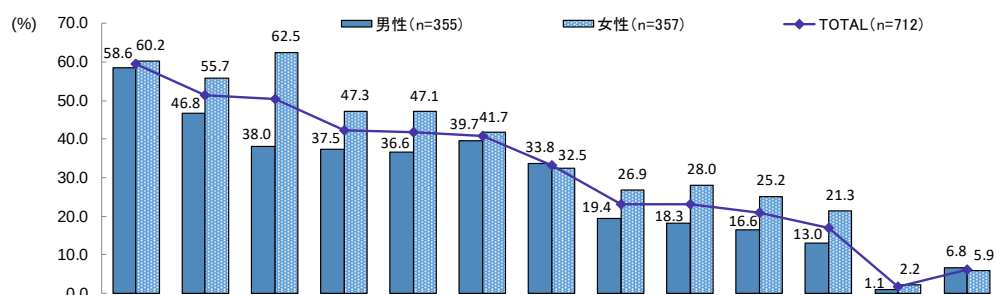
※雇用形態が「学生 84 人」「その他 6 人」「無職・家事 69 人」、年収が「分からない・答えたくない・不明 94 人」を除いて計算している。

問6 あなたが結婚を考えたとき、次の中ではどのようなことが気になりますか。

(回答はいくつでも) 【回答者：結婚予定・意向がある者】

結婚を考えたときに気になることとしては、「結婚生活を送るために十分な収入が確保できるか」(59.4%)が最も高い。次いで、「自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか」(51.3%)、「相手の両親とうまく付き合えるか」(50.3%)と続く。

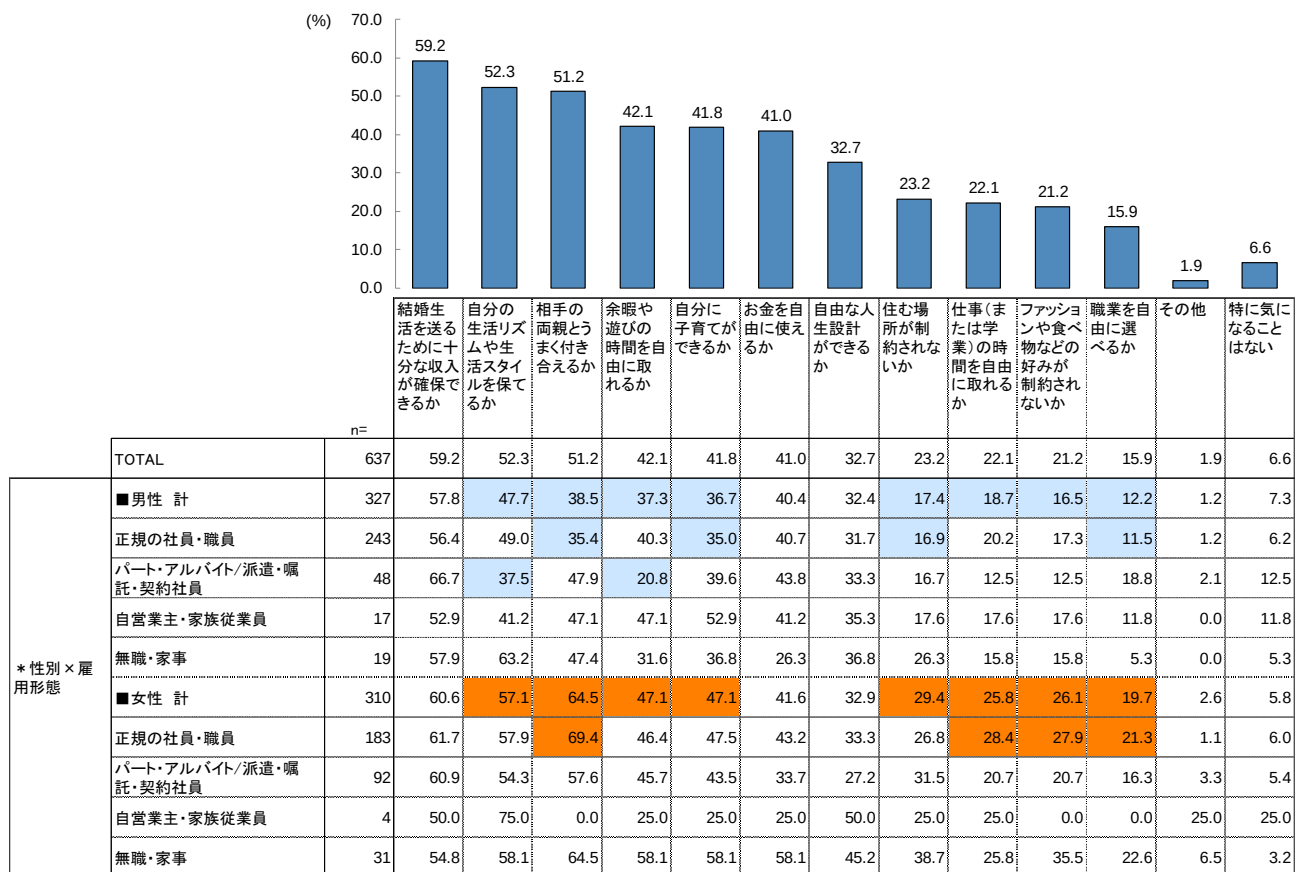
性・年代別にみると、女性は結婚にあたって気になることを多く挙げており、特に「自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか」(55.7%)、「自分に子育てができるか」(47.3%)、「余暇や遊びの時間を自由に取れるか」(47.1%)が高い。また、女性はいずれの年代も「相手の両親とうまく付き合えるか」(10・20代：59.2%、30代：68.1%、40代：65.0%)が高くなっている。



		n=	結婚生活を送るために十分な収入が確保できるか	自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか	相手の両親とうまく付き合えるか	自分に子育てができるか	余暇や遊びの時間を自由に取れるか	お金を自由に使えるか	自由な人生設計ができるか	仕事(または学業)の時間を自由に取れるか	住む場所が制約されないか	ファッションや食べ物などの好みがないか	職業を自由に選べるか	その他	特に気にならない
TOTAL		712	59.4	51.3	50.3	42.4	41.9	40.7	33.1	23.2	23.2	20.9	17.1	1.7	6.3
*性別×年代	■男性 計	355	58.6	46.8	38.0	37.5	36.6	39.7	33.8	19.4	18.3	16.6	13.0	1.1	6.8
	10・20代	90	63.3	37.8	34.4	38.9	35.6	35.6	36.7	25.6	24.4	18.9	17.8	0.0	3.3
	30代	123	51.2	52.0	35.0	39.8	39.8	43.9	38.2	20.3	19.5	17.1	14.6	1.6	5.7
	40代	142	62.0	47.9	43.0	34.5	34.5	38.7	28.2	14.8	13.4	14.8	8.5	1.4	9.9
	■女性 計	357	60.2	55.7	62.5	47.3	47.1	41.7	32.5	26.9	28.0	25.2	21.3	2.2	5.9
	10・20代	206	59.7	51.9	59.2	57.3	48.1	43.7	33.5	27.2	21.4	21.8	20.9	1.5	5.8
	30代	91	63.7	59.3	68.1	44.0	44.0	38.5	28.6	25.3	37.4	30.8	20.9	5.5	6.6
	40代	60	56.7	63.3	65.0	18.3	48.3	40.0	35.0	28.3	36.7	28.3	23.3	0.0	5.0

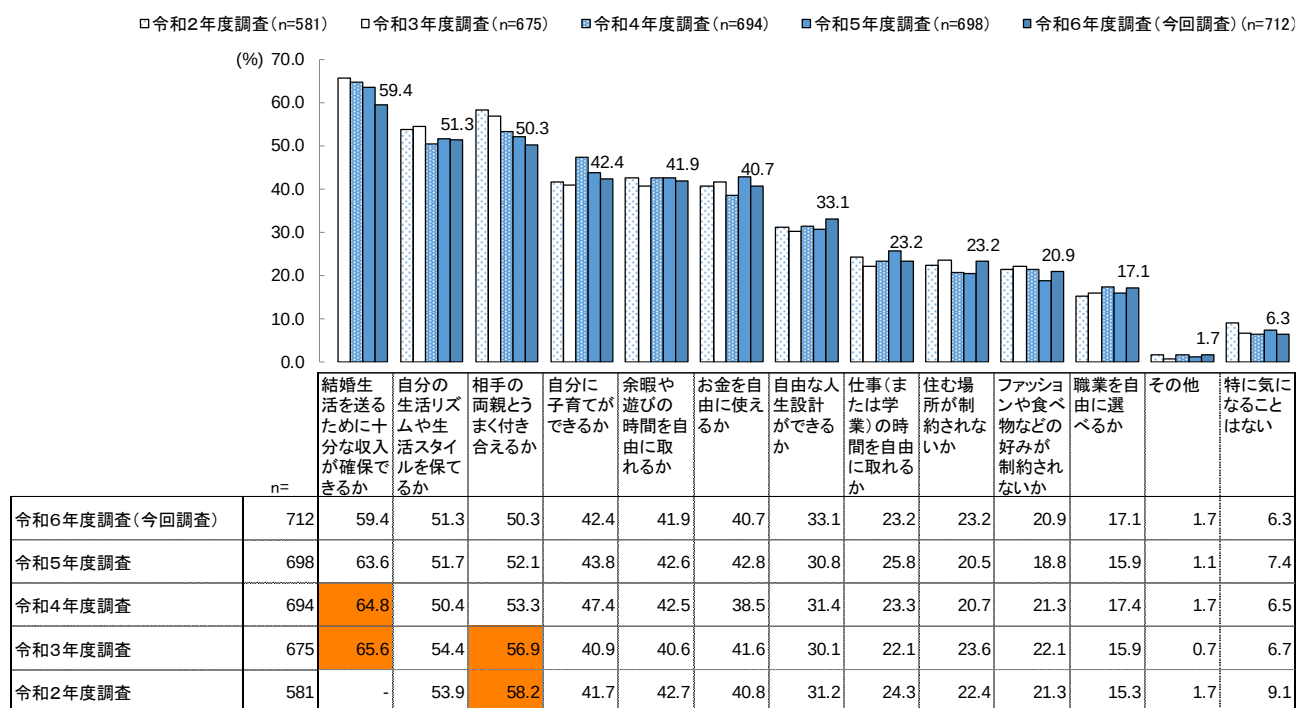
※グラフはTOTAL の順でソート

性・雇用形態別にみると、女性の正規の社員・職員では、「相手の両親とうまく付き合えるか」(69.4%)、「仕事(または学業)の時間を自由に取れるか」(28.4%)、「ファッションや食べ物などの好みが制約されないか」(27.9%)が高くなっている。



※なお、「学生 68 人」「その他 7 人」を除いて計算している。

令和2～6年度調査（今回調査）までの経年変化をみると、「結婚生活を送るために十分な収入が確保できるか」、「相手の両親とうまく付き合えるか」は減少傾向がみられる。



※グラフは今回調査の順でソート

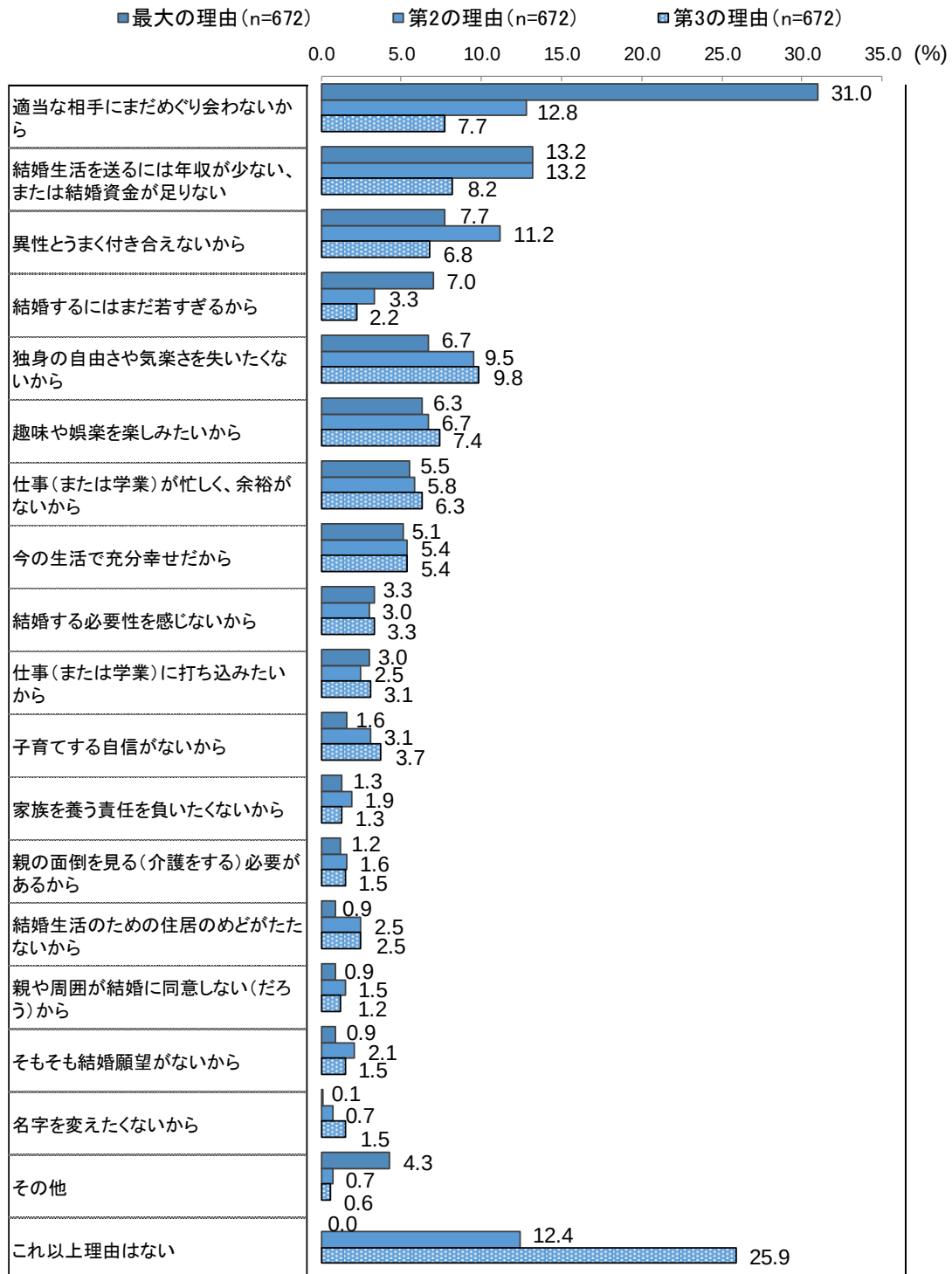
※「結婚生活を送るために十分な収入が確保できるか」は令和3年度からの新規項目

問7 あなたが現在独身でいる理由は、次の中から選ぶとすればどれですか。最大の理由、第2の理由、第3の理由をそれぞれお答えください。(回答はそれぞれ1つ)

【回答者：結婚意向がある者（結婚予定がある者を除く）、結婚意向がない者】

現在独身でいる最大の理由を結婚意向がある者（結婚予定がある者を除く）についてみると、「適当な相手にまだめぐり会わないから」（31.0%）が最も高い。次いで、「結婚生活を送るには年収が少ない、または結婚資金が足りない」（13.2%）、「異性とうまく付き合えないから」（7.7%）と続く。

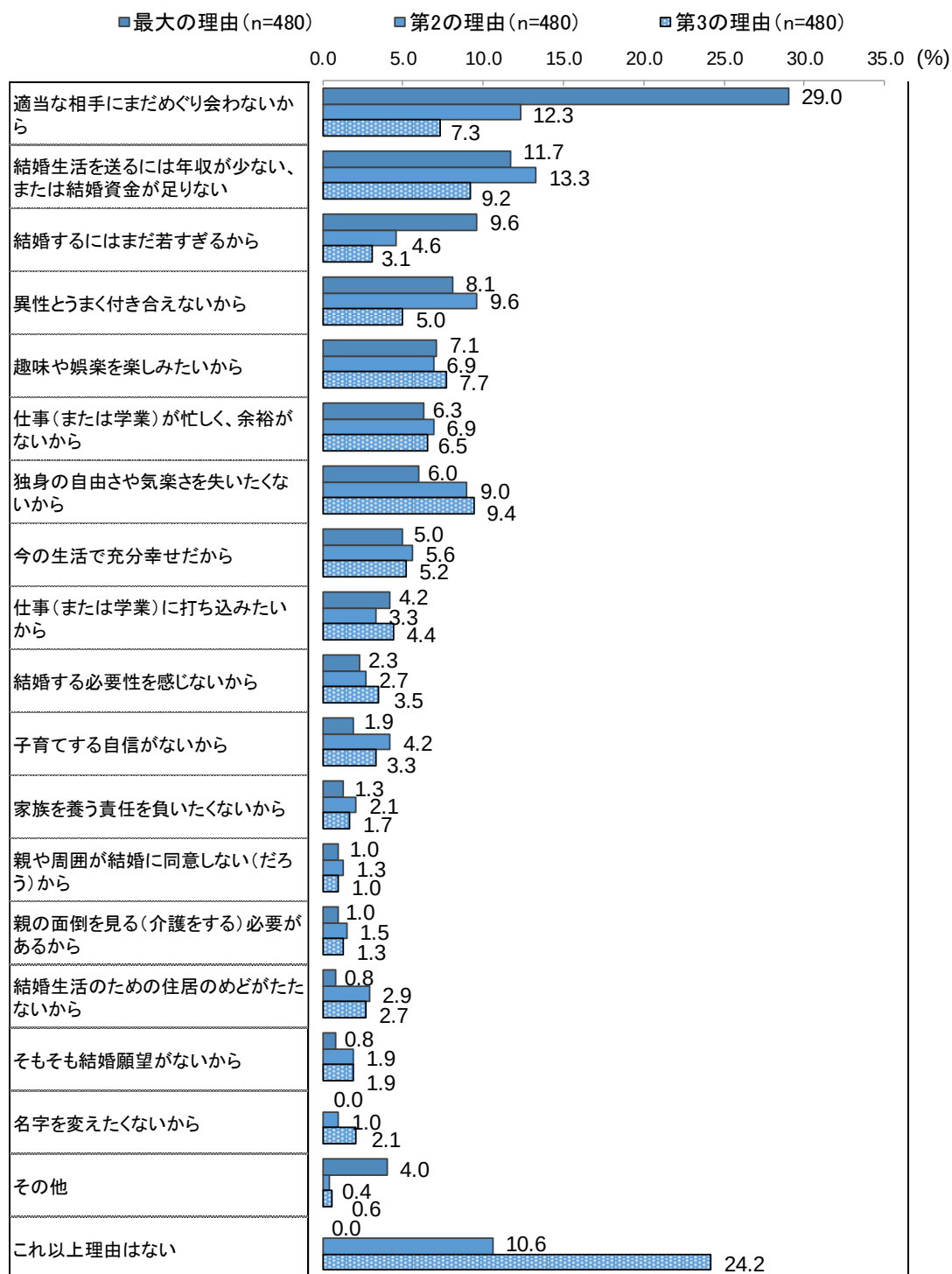
<結婚意向がある者（結婚予定がある者を除く）の場合>



※グラフは「最大の理由」の順でソート

結婚意向がある者（結婚予定がある者を除く）の10代～30代の場合、現在独身でいる最大の理由は「適当な相手にまだめぐり会わないから」（29.0%）が最も高い。次いで、「結婚生活を送るには年収が少ない、または結婚資金が足りない」（11.7%）、「結婚するにはまだ若すぎるから」（9.6%）と続く。

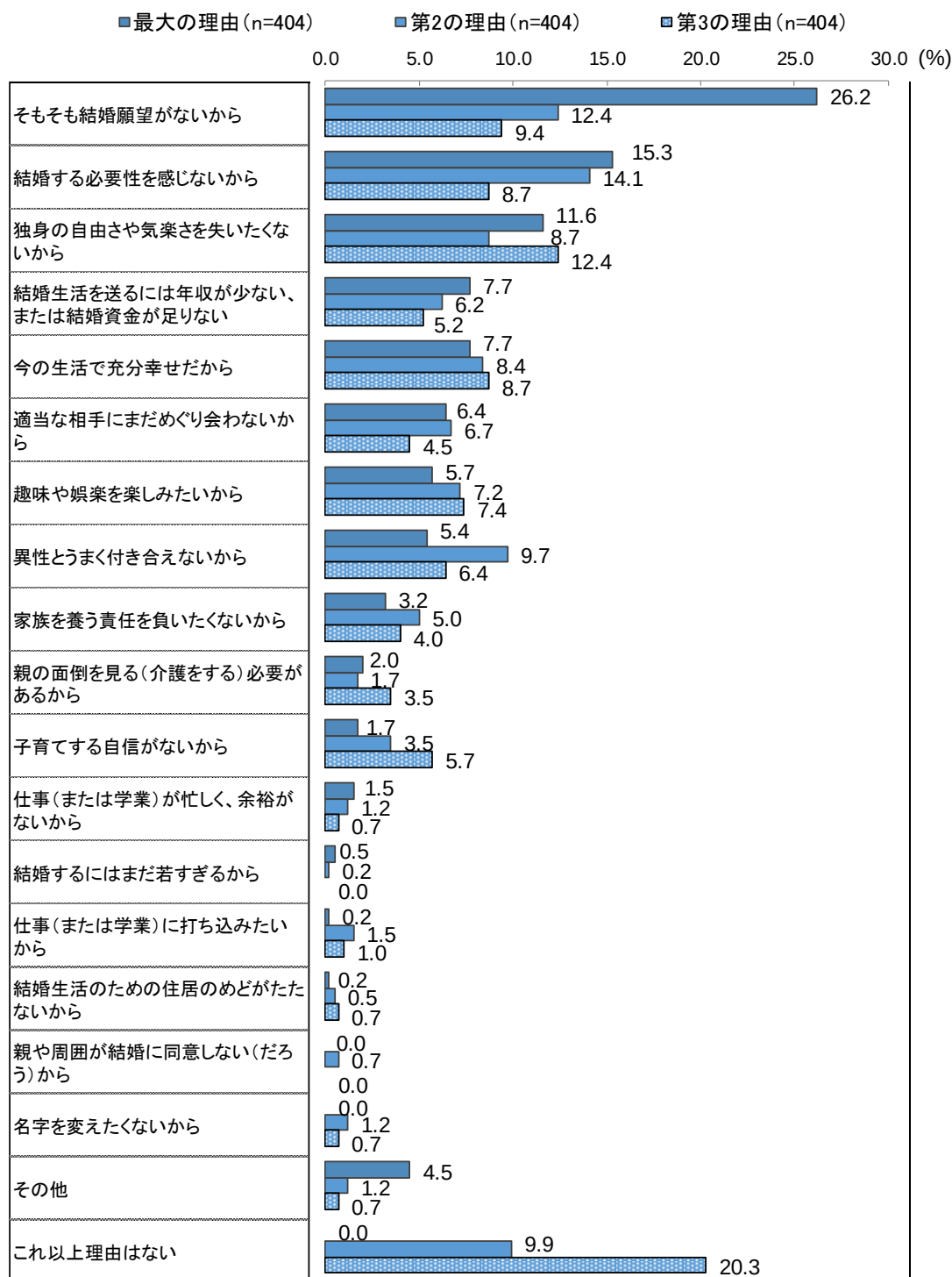
<結婚意向がある者（結婚予定がある者を除く）の10代～30代の場合>



※グラフは「最大の理由」の順でソート

現在独身でいる最大の理由を結婚意向がない者についてみると、「そもそも結婚願望がないから」(26.2%)が最も高い。次いで、「結婚する必要性を感じないから」(15.3%)、「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」(11.6%)と続く。

<結婚意向がない者の場合>

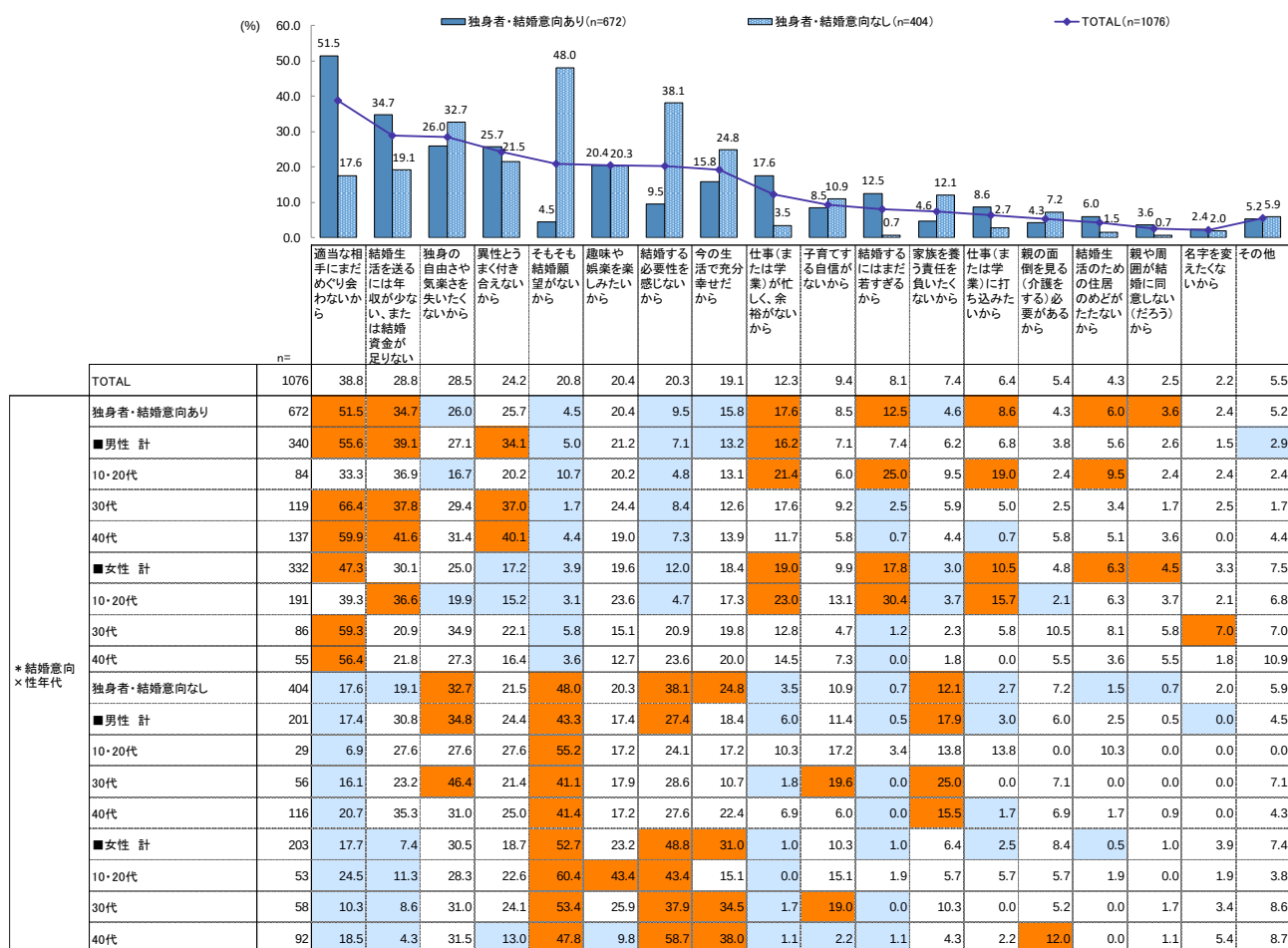


※グラフは「最大の理由」の順でソート

結婚意向と性・年代別にみると、「結婚意向あり」では、「適当な相手にまだめぐり会わないから」(51.5%)、「結婚生活を送るには年収が少ない、または結婚資金が足りない」(34.7%)が高くなっている。「結婚意向あり」の30代～40代男性では、「異性とうまく付き合えないから」(30代：37.0%、40代：40.1%)が高い。また、「結婚意向あり」の10・20代では、男女ともに「仕事（または学業）が忙しく、余裕がないから」(男性：21.4%、女性：23.0%)が高い。

「結婚意向なし」では、「そもそも結婚願望がないから」(48.0%)、「結婚する必要性を感じないから」(38.1%)が高い。「結婚意向なし」の男性30代では「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」(46.4%)、「家族を養う責任を負いたくないから」(25.0%)が、女性10・20代では「趣味や娯楽を楽しみたいから」(43.4%)が高い。また、「結婚意向なし」の女性はいずれの年代も「結婚する必要性を感じないから」(10・20代：43.4%、30代：37.9%、40代：58.7%)が高くなっている。

＜最大の理由、第2の理由、第3の理由を合算した場合＞

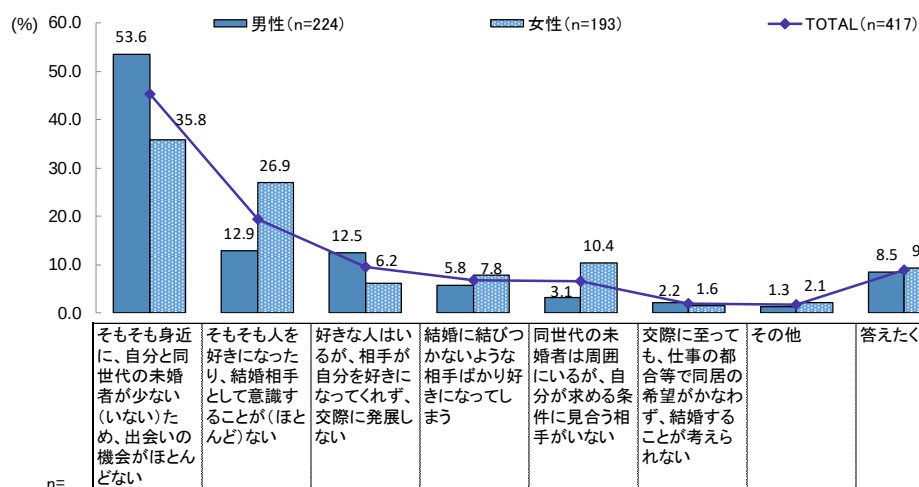


※グラフはTOTALの順でソート

問8 「適当な相手にまだめぐり会わないから」の具体的な内容のうち、最もあてはまるものを1つお選びください。(回答は1つ)
 【回答者：問7で「適当な相手にまだめぐり会わないから」と回答した者】

現在独身でいる理由として「適当な相手にまだめぐり会わないから」の理由については、「そもそも身近に、自分と同世代の未婚者が少ない(いない)ため、出会いの機会がほとんどない」(45.3%)が最も高い。

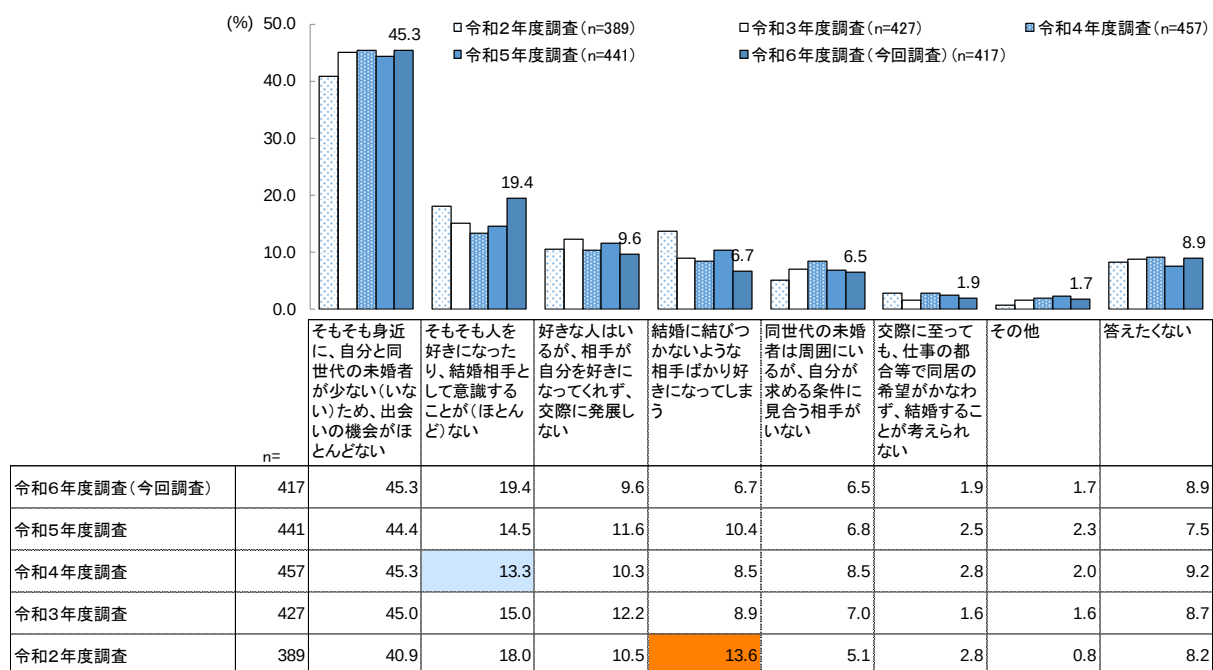
性・年代別にみると、男性30代では「好きな人はいるが、相手が自分を好きになってくれず、交際に発展しない」(15.9%)が高い。また、女性10代～30代では「そもそも人を好きになったり、結婚相手として意識することが(ほとんど)ない」(10・20代：28.4%、30代：31.6%)が高くなっている。



n=		417	45.3	19.4	9.6	6.7	6.5	1.9	1.7	8.9
* 性別 × 年代	TOTAL	417	45.3	19.4	9.6	6.7	6.5	1.9	1.7	8.9
	■ 男性 計	224	53.6	12.9	12.5	5.8	3.1	2.2	1.3	8.5
	10・20代	30	43.3	20.0	16.7	10.0	3.3	3.3	0.0	3.3
	30代	88	60.2	11.4	15.9	2.3	1.1	2.3	1.1	5.7
	40代	106	50.9	12.3	8.5	7.5	4.7	1.9	1.9	12.3
	■ 女性 計	193	35.8	26.9	6.2	7.8	10.4	1.6	2.1	9.3
	10・20代	88	29.5	28.4	9.1	4.5	11.4	1.1	3.4	12.5
	30代	57	33.3	31.6	3.5	10.5	12.3	1.8	0.0	7.0
	40代	48	50.0	18.8	4.2	10.4	6.3	2.1	2.1	6.3

※グラフはTOTAL の順でソート

令和2～6年度調査（今回調査）までの経年変化をみると、「そもそも身近に、自分と同世代の未婚者が少ない（いない）ため、出会いの機会がほとんどない」は4割台で推移している。

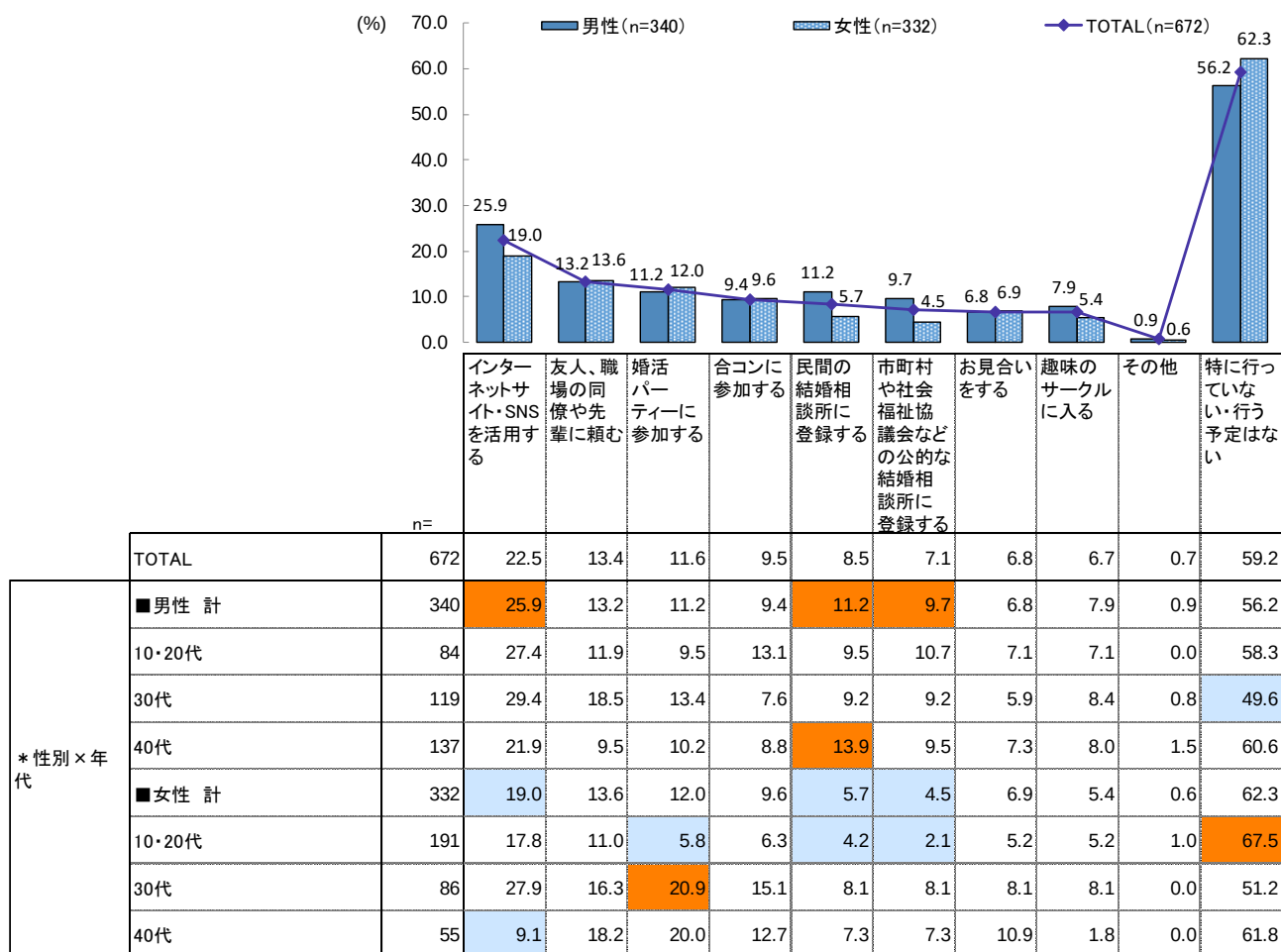


※グラフは今回調査の順でソート

問9 あなたは「婚活」としてどのようなことを行っていますか。あるいは今後行いたいですか。
(回答はいくつでも) 【回答者：結婚意向がある者(結婚予定がある者を除く)】

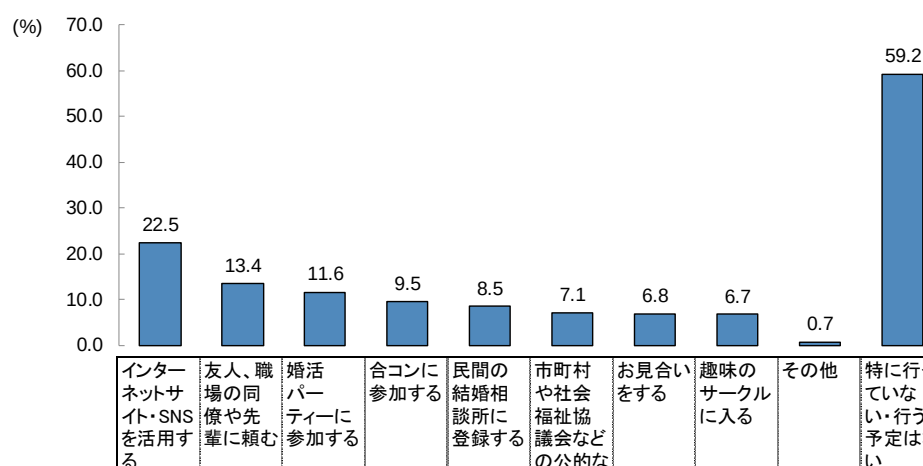
「婚活」として行っていること(今後行いたいこと)としては、「インターネットサイト・SNSを活用する」(22.5%)が最も高い。次いで、「友人、職場の同僚や先輩に頼む」(13.4%)、「婚活パーティーに参加する」(11.6%)と続く。一方、「婚活」は「特に行っていない・行う予定はない」は59.2%となっている。

性・年代別にみると、男性40代は「民間の結婚相談所に登録する」(13.9%)、女性30代は「婚活パーティーに参加する」(20.9%)が高い。



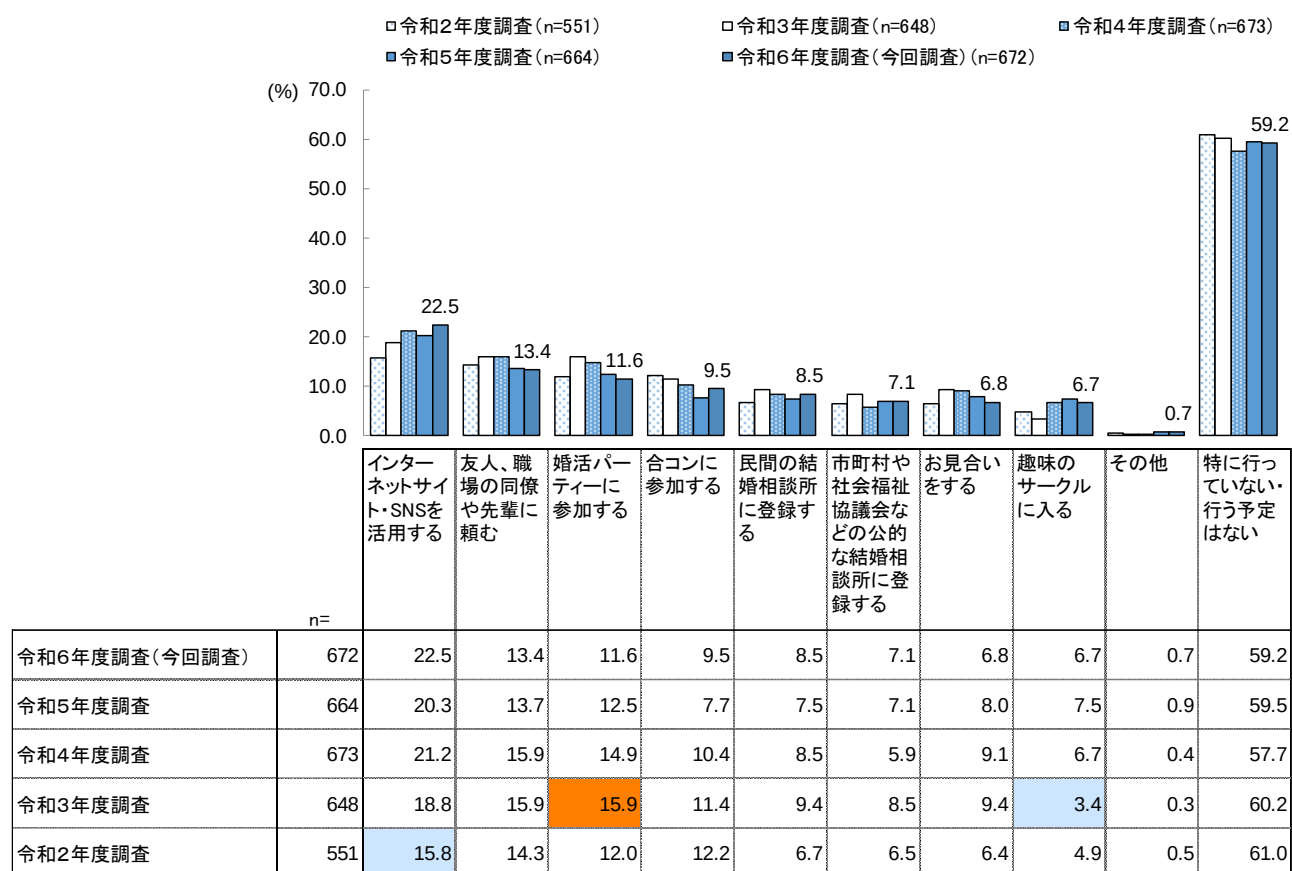
※グラフはTOTALの順でソート

性・結婚意向別にみると、「すぐにでも結婚したい／2・3年以内に結婚したい」と回答した者では、男性は「インターネットサイト・SNSを活用する」(38.1%)、「友人、職場の同僚や先輩に頼む」(21.9%)、「婚活パーティーに参加する」(18.1%)が高くなっている。女性は「友人、職場の同僚や先輩に頼む」(20.6%)、「婚活パーティーに参加する」(17.8%)が高い。



		n=	インターネットサイト・SNSを活用する	友人、職場の同僚や先輩に頼む	婚活パーティーに参加する	合コンに参加する	民間の結婚相談所に登録する	市町村や社会福祉協議会などの公的な結婚相談所に登録する	お見合いをする	趣味のサークルに入る	その他	特に行っていない・行う予定はない
TOTAL		672	22.5	13.4	11.6	9.5	8.5	7.1	6.8	6.7	0.7	59.2
* 性別×結婚意向	■男性 計	340	25.9	13.2	11.2	9.4	11.2	9.7	6.8	7.9	0.9	56.2
	すぐにでも結婚したい/2・3年以内に結婚したい	105	38.1	21.9	18.1	12.4	15.2	12.4	8.6	9.5	1.9	37.1
	いずれは結婚したい	235	20.4	9.4	8.1	8.1	9.4	8.5	6.0	7.2	0.4	64.7
	■女性 計	332	19.0	13.6	12.0	9.6	5.7	4.5	6.9	5.4	0.6	62.3
	すぐにでも結婚したい/2・3年以内に結婚したい	107	26.2	20.6	17.8	14.0	9.3	6.5	11.2	6.5	0.9	43.9
	いずれは結婚したい	225	15.6	10.2	9.3	7.6	4.0	3.6	4.9	4.9	0.4	71.1

令和2～6年度調査(今回調査)までの経年変化をみると、「インターネットサイト・SNSを活用する」は増加傾向がみられる。一方、「婚活パーティーに参加する」、「合コンに参加する」はやや減少している。

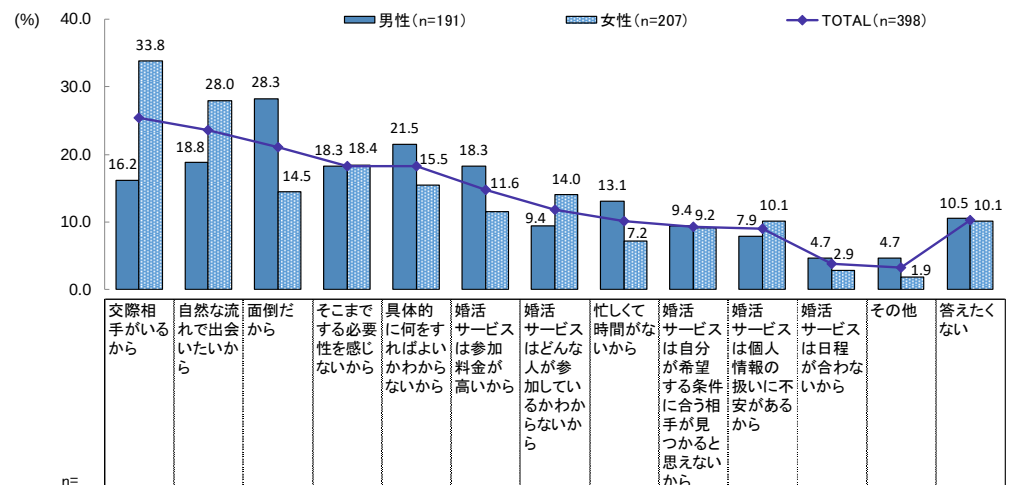


※グラフは今回調査の順でソート

問10 婚活を「特に行っていない・行う予定はない」とされた理由は何ですか。あてはまるものをお答えください。(回答はいくつでも) 【回答者：問9で婚活は特に行っていないと回答した者】

婚活を特に行っていない・行う予定はない理由としては、「交際相手がいるから」(25.4%)、「自然な流れで出会いたいから」(23.6%)、「面倒だから」(21.1%)が高い。

性・年代別にみると、男性は10・20代で「そこまでする必要性を感じないから」(34.7%)、30代で「面倒だから」(42.4%)と「婚活サービスは参加料金が安いから」(25.4%)が高い。女性は10・20代で「交際相手がいるから」(39.5%)、30代で「婚活サービスはどんな人が参加しているかわからないから」(22.7%)が高くなっている。



	TOTAL	398	25.4	23.6	21.1	18.3	18.3	14.8	11.8	10.1	9.3	9.0	3.8	3.3	10.3
* 性別 × 年代	■男性 計	191	16.2	18.8	28.3	18.3	21.5	18.3	9.4	13.1	9.4	7.9	4.7	4.7	10.5
	10・20代	49	22.4	10.2	18.4	34.7	16.3	4.1	8.2	18.4	6.1	6.1	4.1	4.1	10.2
	30代	59	10.2	20.3	42.4	11.9	27.1	25.4	10.2	11.9	10.2	8.5	6.8	3.4	6.8
	40代	83	16.9	22.9	24.1	13.3	20.5	21.7	9.6	10.8	10.8	8.4	3.6	6.0	13.3
	■女性 計	207	33.8	28.0	14.5	18.4	15.5	11.6	14.0	7.2	9.2	10.1	2.9	1.9	10.1
	10・20代	129	39.5	23.3	12.4	16.3	12.4	6.2	10.9	8.5	5.4	7.0	3.1	3.1	10.9
	30代	44	25.0	34.1	15.9	22.7	15.9	15.9	22.7	6.8	13.6	13.6	4.5	0.0	13.6
	40代	34	23.5	38.2	20.6	20.6	26.5	26.5	14.7	2.9	17.6	17.6	0.0	0.0	2.9

※グラフはTOTALの順でソート

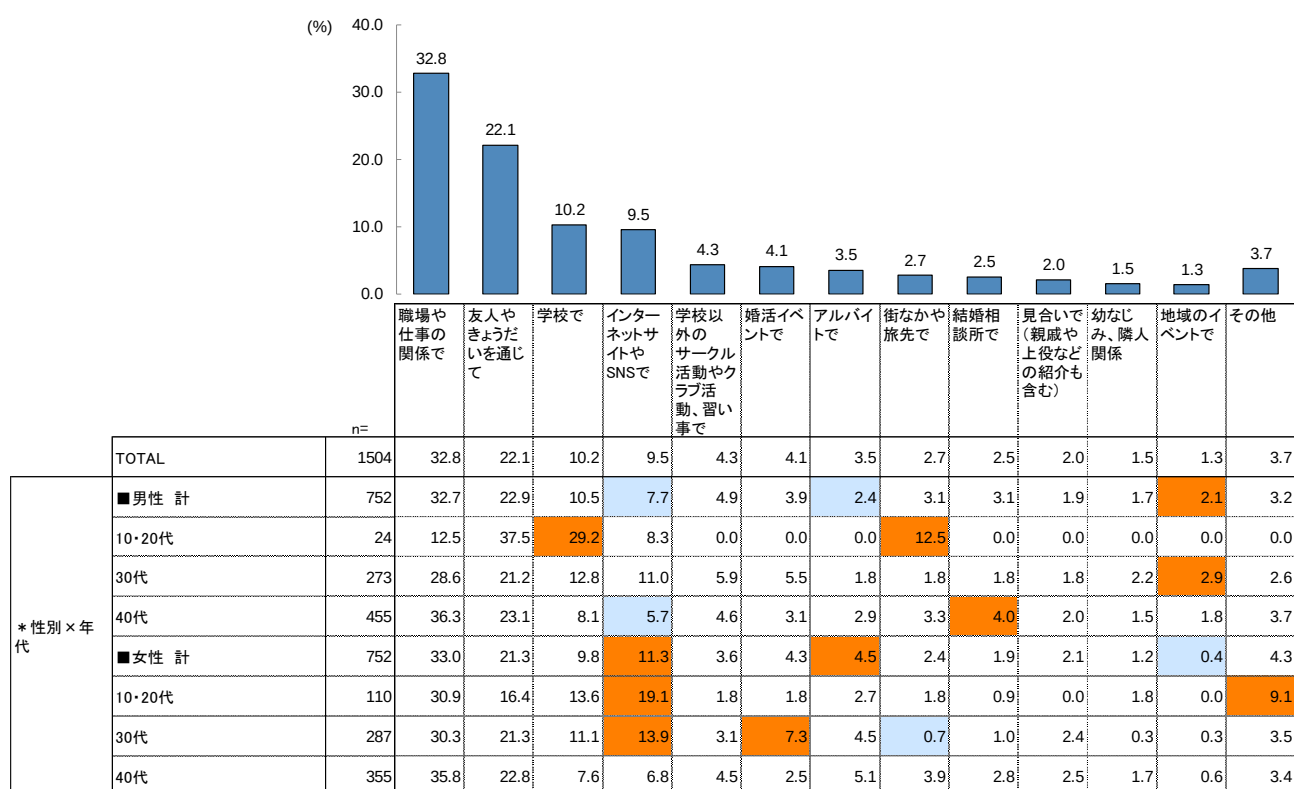
(4) 既婚者の結婚生活の状況

問11 あなた方ご夫婦はどのようなきっかけで知り合いましたか。(回答は1つ)

【回答者：既婚者】

夫婦が知り合ったきっかけは、「職場や仕事の関係で」(32.8%)が最も高い。次いで、「友人やきょうだいを通じて」(22.1%)、「学校で」(10.2%)と続く。

性・年代別にみると、女性10代～30代では「インターネットサイトやSNSで」(10・20代：19.1%、30代：13.9%)が高くなっている。

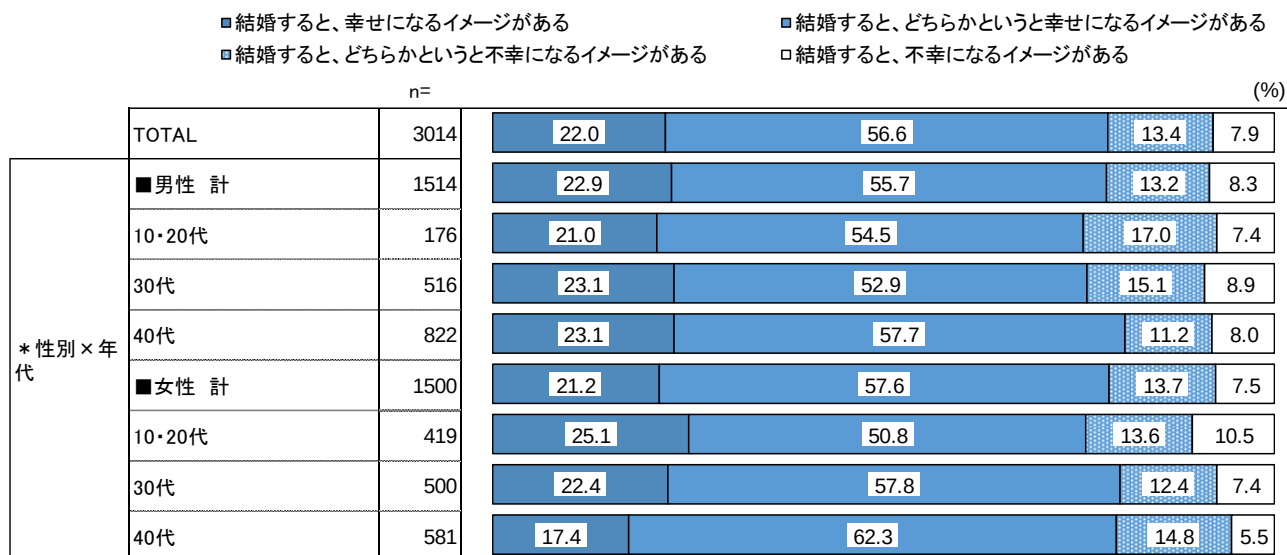


(5) 結婚に対する意識と考え方

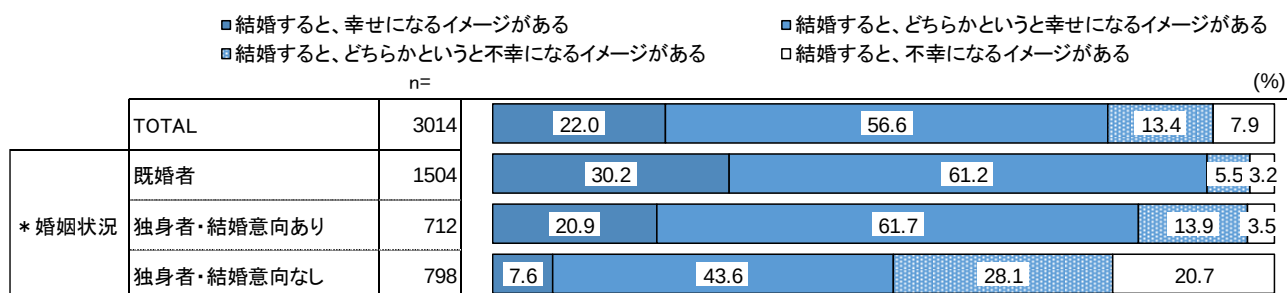
問29 結婚と幸せの関係についてどのようなイメージを持っていますか。(回答は1つ)

結婚と幸せの関係について持っているイメージとしては、「結婚すると、幸せになるイメージがある」(22.0%)と「結婚すると、どちらかという幸せになるイメージがある」(56.6%)を合わせると、「幸せになるイメージがある」は78.6%と高い。

性・年代別にみると、「幸せになるイメージがある」はいずれの年代でも7割を超えている。

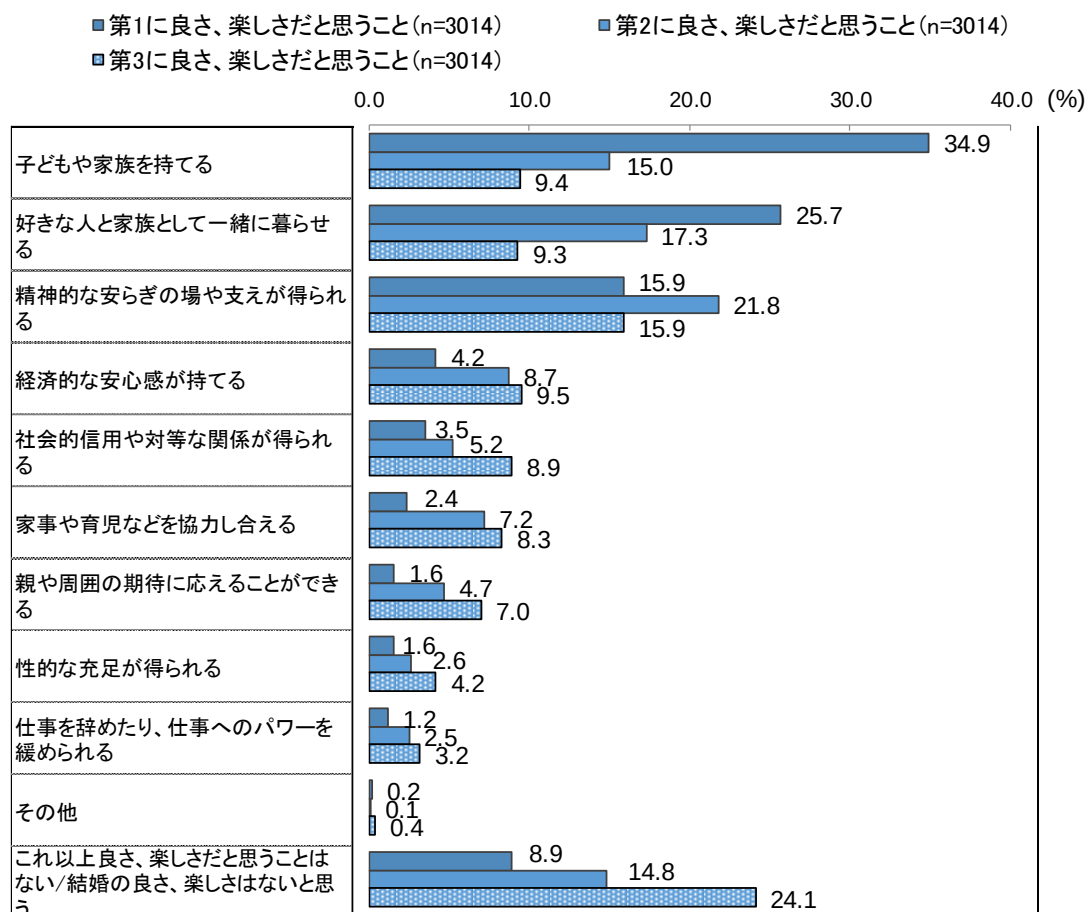


婚姻状況別にみると、「幸せになるイメージがある」は既婚者が91.4%と高い一方、独身者・結婚意向なしは51.2%と約半数となっている。



問30_1 結婚の良さ、楽しさは何だと思いますか。あなたが思う良さ、楽しさについて、一番目から三番目までそれぞれ選択してください。(回答はそれぞれ1つ)

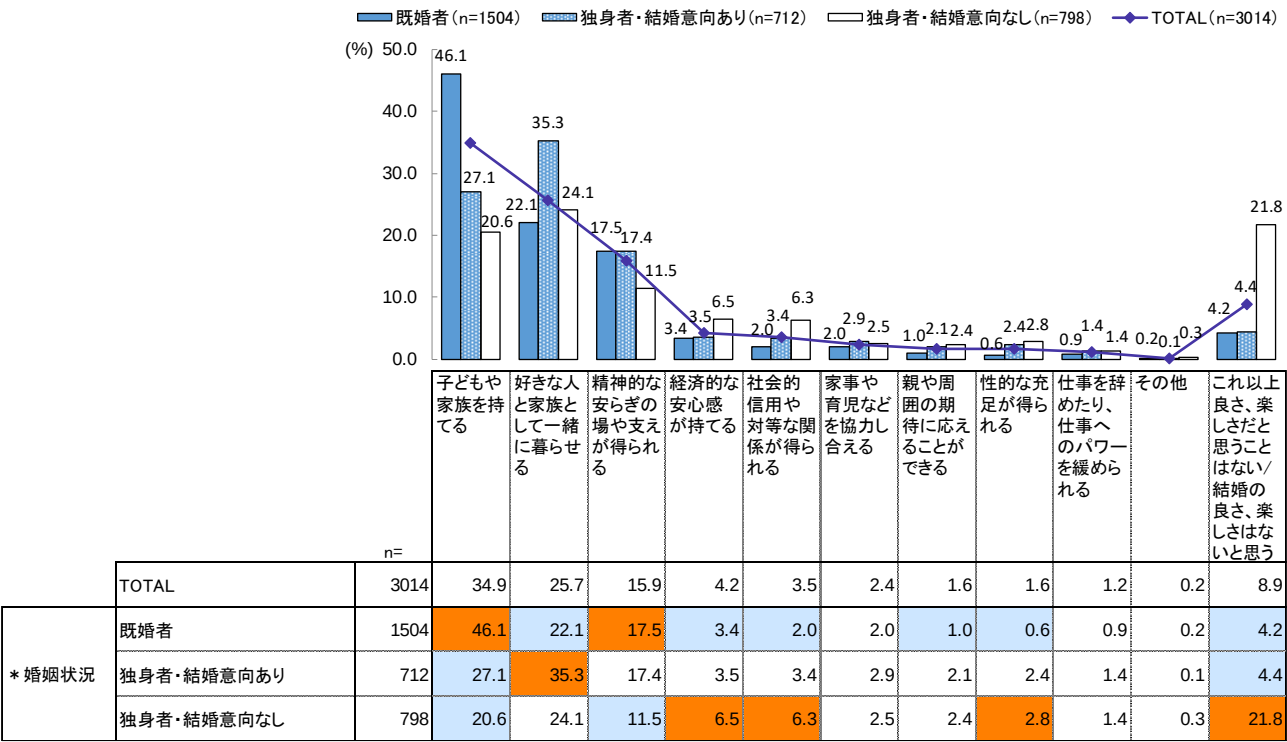
第1に結婚の良さ、楽しさだと思うこととしては、「子どもや家族を持てる」(34.9%)が最も高い。次いで、「好きな人と家族として一緒に暮らせる」(25.7%)、「精神的な安らぎの場や支えが得られる」(15.9%)と続く。



※グラフは「第1に良さ、楽しさだと思うこと」の順でソート

婚姻状況別にみると、既婚者は「子どもや家族を持てる」(46.1%)と「精神的な安らぎの場や支えが得られる」(17.5%)、独身者・結婚意向ありは「好きな人と家族として一緒に暮らせる」(35.3%)がそれぞれ高い。一方、独身者・結婚意向なしでは、「結婚の良さ、楽しさはないと思う」が約2割(21.8%)となっている。

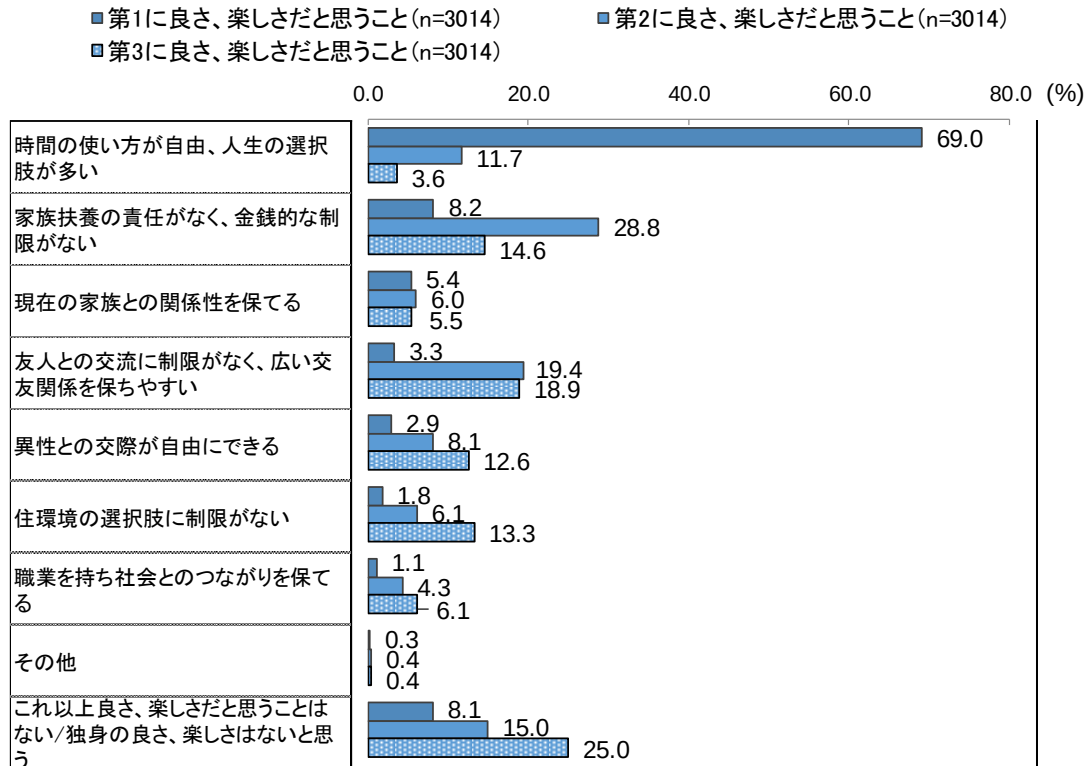
<第1に結婚の良さ、楽しさだと思うこと>



※グラフはTOTALの順でソート

問30_2 独身の良さ、楽しさは何だと思いますか。あなたが思う良さ、楽しさについて、一番目から三番目までそれぞれ選択してください。(回答はそれぞれ1つ)

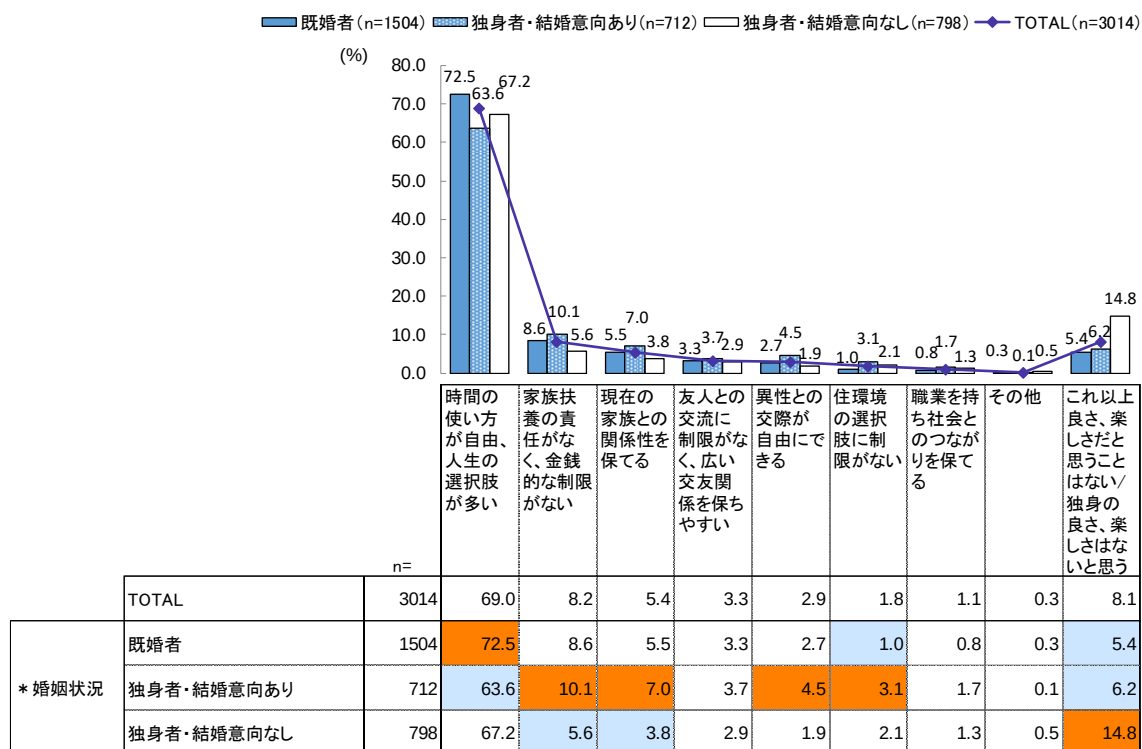
第1に独身の良さ、楽しさだと思うこととしては、「時間の使い方が自由、人生の選択肢が多い」(69.0%)が最も高い。次いで、「家族扶養の責任がなく、金銭的な制限がない」(8.2%)、「現在の家族との関係性を保てる」(5.4%)と続く。



※グラフは「第1に良さ、楽しさだと思うこと」の順でソート

婚姻状況別にみると、既婚者は「時間の使い方が自由、人生の選択肢が多い」(72.5%)、独身者・結婚意向ありは「家族扶養の責任がなく、金銭的な制限がない」(10.1%)と「現在の家族との関係性を保てる」(7.0%)がそれぞれ高い。一方、独身者・結婚意向なしは「独身の良さ、楽しさはないと思う」が1割強(14.8%)となっている。

＜第1に独身の良さ、楽しさだと思うこと＞

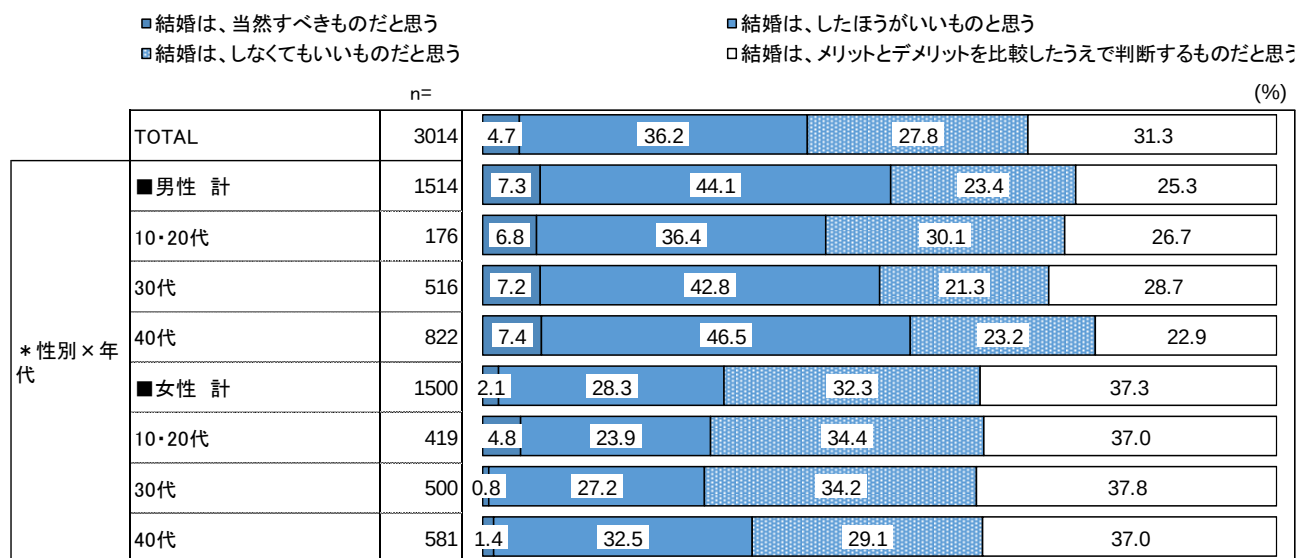


※グラフは TOTAL の順でソート

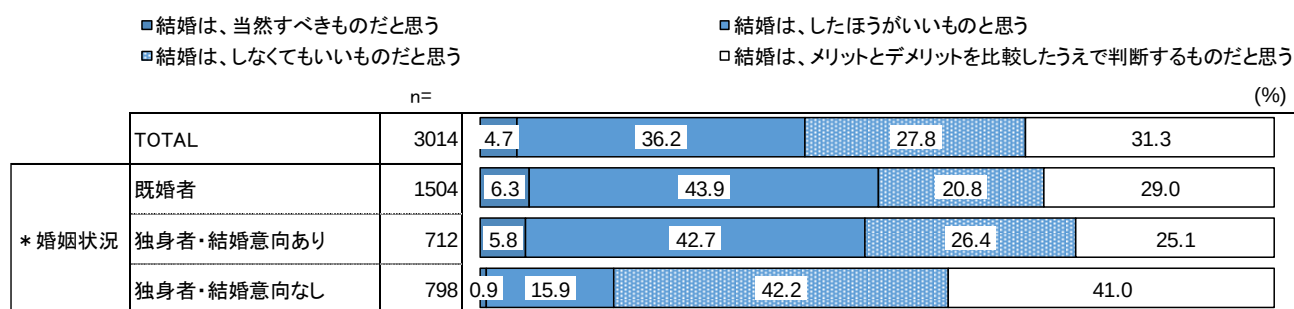
問31 結婚についての考え方について、あなたの意見に近いものを1つ選んでください。
(回答は1つ)

結婚についての考え方としては、「結婚は、したほうがいいものと思う」(36.2%)、「結婚は、メリットとデメリットを比較したうえで判断するものだと思う」(31.3%)が高い。

性年代にみると、男性は「結婚は、したほうがいいものと思う」(44.1%)、女性は「結婚は、メリットとデメリットを比較したうえで判断するものだと思う」(37.3%)がそれぞれ高い。



婚姻状況別にみると、独身者・結婚意向なしでは「結婚は、しなくてもいいものだと思う」(42.2%)、「結婚は、メリットとデメリットを比較したうえで判断するものだと思う」(41.0%)が高い。



(6) 出産や子育てに対する意識と状況

問12 あなたのおつとめの状況をお答えください。結婚されている方（事実婚を含む）は、配偶者（パートナー）についてもお答えください。（回答はそれぞれ1つ）

回答者自身の就労状況を性・年代別にみると、男性の場合、30代～40代では「正規の社員・職員」が7割台（30代：77.7%、40代：74.5%）となっているが、10・20代では56.3%とやや低い割合である。一方、女性の場合、「正規の社員・職員」はいずれの年代も半数以下となっている。

○ あなた自身の状況

■ 正規の社員・職員 ■ パート・アルバイト ■ 派遣・嘱託・契約社員 □ 自営業主・家族従業員 □ 無職・家事 ■ 学生 ■ その他

		n=	(%)							
* 性別	TOTAL	3014	57.0 17.9 4.9 4.6 11.0 3.7 0.8							
	男性	1514	73.4 6.2 3.5 6.3 6.9 2.8 0.8							
	女性	1500	40.3 29.7 6.4 3.0 15.2 4.5 0.9							

		n=	正規の社員・職員	パート・アルバイト	派遣・嘱託・契約社員	自営業主・家族従業員	無職・家事	学生	その他
* 性別×年代	TOTAL	3014	57.0	17.9	4.9	4.6	11.0	3.7	0.8
	■ 男性 計	1514	73.4	6.2	3.5	6.3	6.9	2.8	0.8
	10・20代	176	56.3	10.2	2.3	1.1	6.3	23.9	0.0
	30代	516	77.7	6.8	3.5	4.3	7.2	0.0	0.6
	40代	822	74.5	5.0	3.8	8.6	6.9	0.1	1.1
	■ 女性 計	1500	40.3	29.7	6.4	3.0	15.2	4.5	0.9
	10・20代	419	43.2	20.3	4.5	2.1	13.6	15.5	0.7
	30代	500	44.8	30.0	5.8	2.2	16.0	0.4	0.8
	40代	581	34.4	36.1	8.3	4.3	15.7	0.2	1.0

配偶者の就労状況を性・年代別にみると、男性回答者の配偶者の場合、30代～40代では「パート・アルバイト」（30代：26.0%、40代：39.6%）、「無職・家事」（30代：24.9%、40代：13.6%）の割合が高くなっている。女性回答者の配偶者の場合、いずれの年代でも「正規の社員・職員」が8割を超えている（10・20代：88.2%、30代：90.6%、40代：81.4%）。

○ 配偶者の状況（既婚者のみ）

			■ 正規の社員・職員 ■ パート・アルバイト ■ 派遣・嘱託・契約社員 □ 自営業主・家族従業員 □ 無職・家事 □ 学生 ■ その他						
n=			（%）						
* 性別	TOTAL	1504	62.9 17.6 2.4 7.0 10.0 0.1						
	男性	752	39.9 33.6 3.7 4.4 18.2 0.1						
	女性	752	85.9 1.6 1.1 9.6 0.1						
n=			正規の社員・職員	パート・アルバイト	派遣・嘱託・契約社員	自営業主・家族従業員	無職・家事	学生	その他
* 性別×年代	TOTAL	1504	62.9	17.6	2.4	7.0	10.0	0.0	0.1
	■男性 計	752	39.9	33.6	3.7	4.4	18.2	0.0	0.1
	10・20代	24	58.3	8.3	4.2	0.0	29.2	0.0	0.0
	30代	273	44.7	26.0	2.2	2.2	24.9	0.0	0.0
	40代	455	36.0	39.6	4.6	5.9	13.6	0.0	0.2
	■女性 計	752	85.9	1.6	1.1	9.6	1.7	0.0	0.1
	10・20代	110	88.2	0.9	0.9	8.2	1.8	0.0	0.0
	30代	287	90.6	1.7	1.0	5.6	1.0	0.0	0.0
	40代	355	81.4	1.7	1.1	13.2	2.3	0.0	0.3

回答者自身の就労状況を性・婚姻状況別にみると、「現在、結婚（事実婚を含む）している」と回答した男性は、「正規の社員・職員」（90.3%）が高い。「結婚したことはない」と回答した男性は、「無職・家事」（13.4%）、「学生」（6.2%）が高い。「現在、結婚（事実婚を含む）している」と回答した女性は、「パート・アルバイト」（37.8%）や「無職・家事」（18.9%）が高い。「結婚したことはない」と回答した女性は、既婚者と比べ「正規の社員・職員」が45.5%と高くなっている。

			■ 正規の社員・職員 ■ パート・アルバイト ■ 派遣・嘱託・契約社員 □ 自営業主・家族従業員 □ 無職・家事 ■ 学生 ■ その他							
			n= (%)							
* 性別	TOTAL	3014	57.0 17.9 4.9 4.6 11.0 3.7 0.8							
	男性	1514	73.4 6.2 3.5 6.3 6.9 2.8 0.8							
	女性	1500	40.3 29.7 6.4 3.0 15.2 4.5 0.9							
			正規の社員・職員	パート・アルバイト	派遣・嘱託・契約社員	自営業主・家族従業員	無職・家事	学生	その他	
			n=							
* 性別 × 婚姻状況	TOTAL	3014	57.0	17.9	4.9	4.6	11.0	3.7	0.8	
	■ 男性 計	1514	73.4	6.2	3.5	6.3	6.9	2.8	0.8	
	現在、結婚（事実婚を含む）している	752	90.3	0.9	1.1	6.1	1.2	0.0	0.4	
	結婚していたが、現在は離・死別した	84	65.5	8.3	6.0	10.7	6.0	1.2	2.4	
	結婚したことはない	678	55.8	11.8	5.9	5.9	13.4	6.2	1.0	
	■ 女性 計	1500	40.3	29.7	6.4	3.0	15.2	4.5	0.9	
	現在、結婚（事実婚を含む）している	752	33.2	37.8	5.1	4.1	18.9	0.1	0.8	
	結婚していたが、現在は離・死別した	117	58.1	23.1	6.0	1.7	9.4	0.0	1.7	
	結婚したことはない	631	45.5	21.2	8.1	1.9	11.9	10.6	0.8	

問13 お子さんの人数についてうかがいます。以下のそれぞれにあてはまる人数をご記入ください。

<既婚者の場合>

現在の子どもの数は、1人が26.4%、2人が34.9%、3人が13.1%で、平均すると1.43人である。0人の割合は2割強（23.9%）となっている。

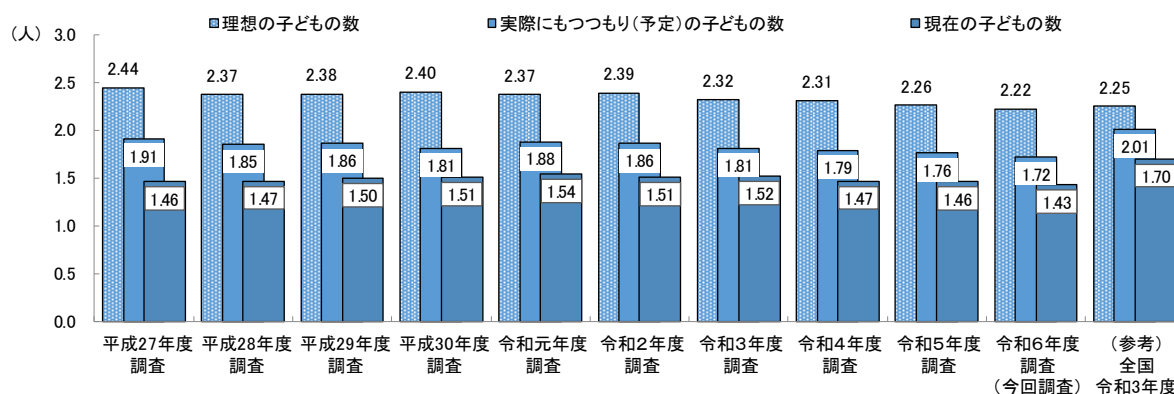
理想の子どもの数は、1人が6.8%、2人が43.8%、3人が34.8%で、平均すると2.22人である。

実際に持つつもり（予定）の子どもの数は、理想の数より3人の割合が低くなる一方、1人の割合が高く、1人が20.6%、2人が46.2%、3人が17.2%、平均すると1.72人である。

	n=	0人	1人	2人	3人	4人	5人以上	(%)	平均値
現在の子どもの数	1504	23.9	26.4	34.9	13.1	1.4	0.3		1.43
理想の子どもの数	1504	9.2	6.8	43.8	34.8	4.1	1.3		2.22
実際に持つつもり(予定)の子どもの数	1504	14.2	20.6	46.2	17.2	1.4	0.4		1.72

なお、平成27～令和6年度調査（今回調査）までの経年変化は以下のとおりである。

平成27年度調査から経年変化をみると、現在の子どもの数は概ね同程度で推移しているが、理想の子どもの数、実際に持つつもり（予定）の子どもの数はやや減少傾向がみられる。

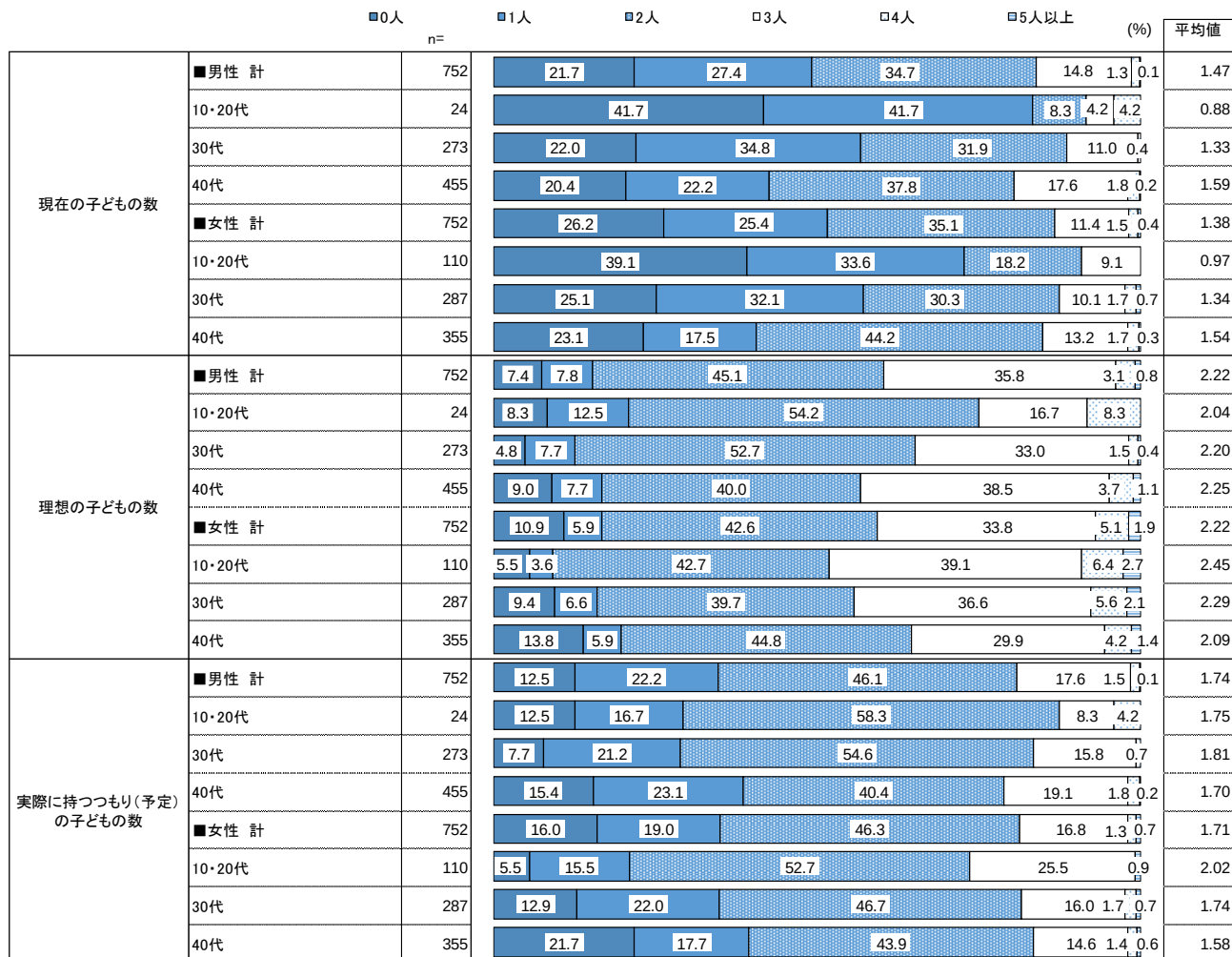


理想の子どもの数	2.44	2.37	2.38	2.40	2.37	2.39	2.32	2.31	2.26	2.22	2.25
実際に持つつもり(予定)の子どもの数	1.91	1.85	1.86	1.81	1.88	1.86	1.81	1.79	1.76	1.72	2.01
現在の子どもの数	1.46	1.47	1.50	1.51	1.54	1.51	1.52	1.47	1.46	1.43	1.70

※全国値は「第16回出生動向基本調査（結婚と出産に関する全国調査）」（国立社会保障・人口問題研究所）より出典

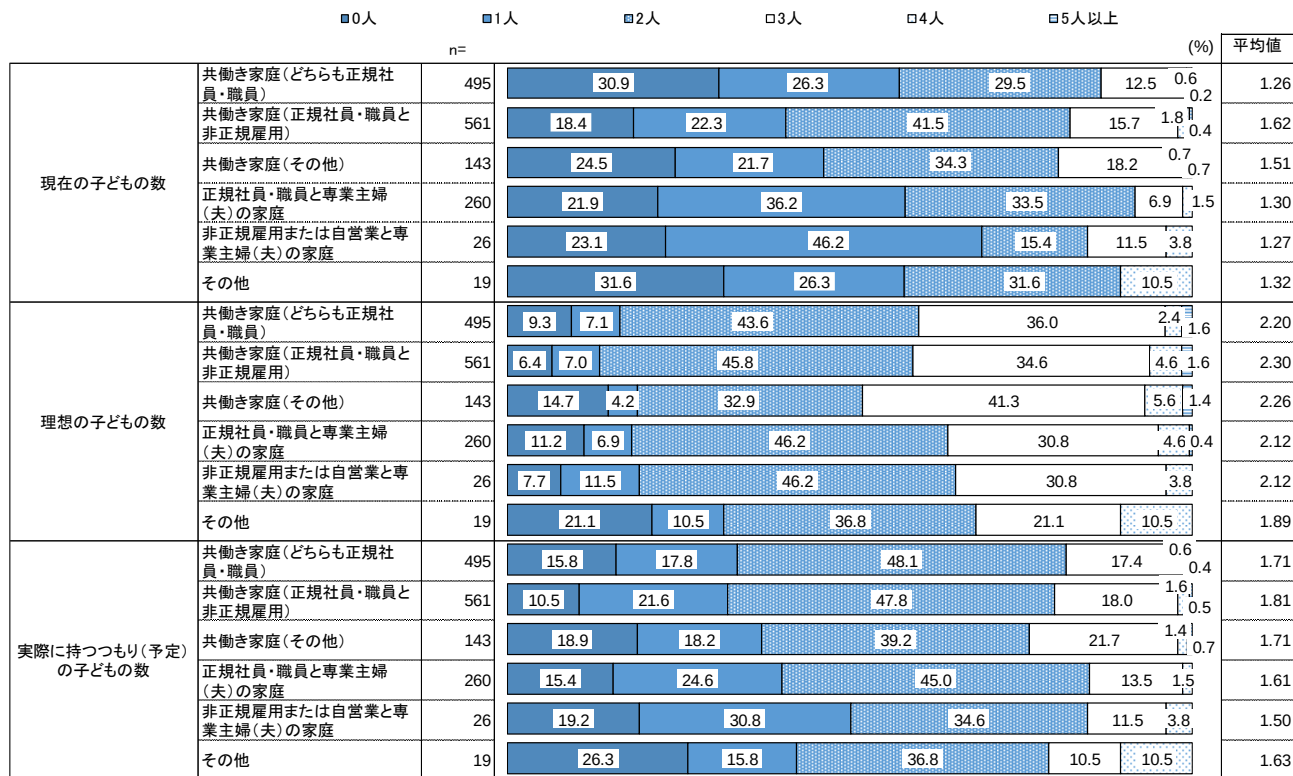
既婚者の性・年代別にみた現在の子どもの数、理想の子どもの数、実際に持つつもり（予定）の子どもの数は、以下のとおりである。

①－１ 性・年代別



既婚者の夫婦の働き方別にみると、現在の子どもの数は、共働き家庭（正規社員・職員と非正規雇用）では平均 1.62 人と多く、共働き家庭（どちらも正規社員・職員）では平均 1.26 人と少ない。

①－２ 夫婦の働き方別

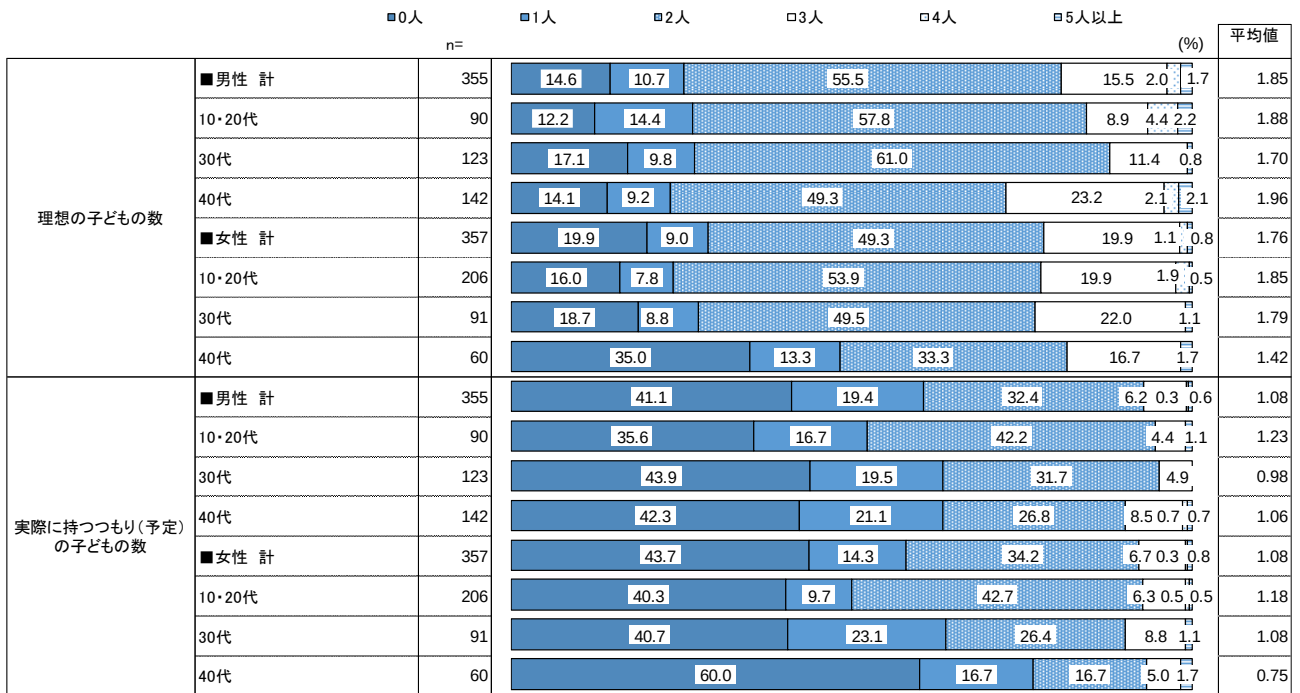


＜独身者のうち結婚予定・意向がある者の場合＞

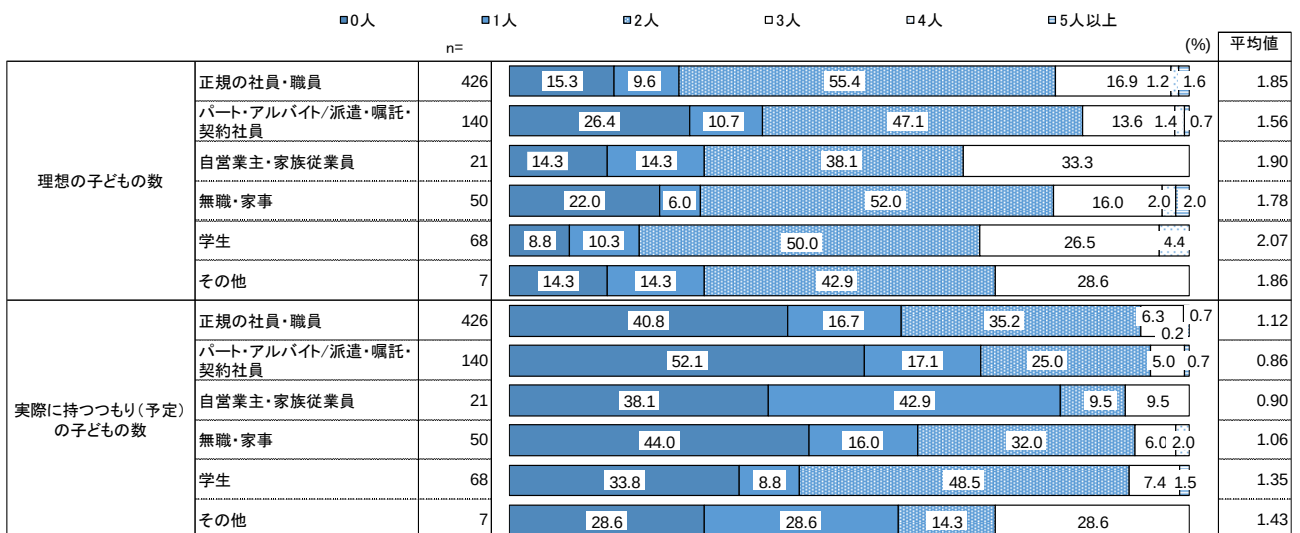
独身者のうち結婚予定・意向がある者を性・年代別にみると、40代女性以外のいずれの年代でも理想の子ども数は2人の割合が高い一方、実際に持つつもり（予定）の子ども数は0人の割合が既婚者に比べ高い。

雇用形態別にみると、パート・アルバイト／派遣・嘱託・契約社員では、理想の子ども数は平均1.56人であるのに対し、実際に持つつもり（予定）の子ども数は平均0.86人と少なくなっている。

②－１ 性・年代別



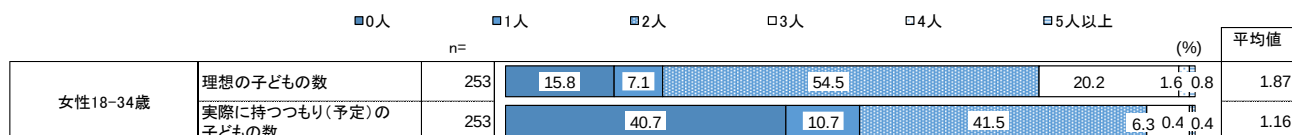
②－２ 雇用形態別



＜女性 18-34 歳の場合＞（希望出生率の算出根拠）

理想の子どもの数は、希望出生率の算出根拠となる「女性 18-34 歳」では、2 人が 54.5%、3 人が 20.2%、平均 1.87 人であった。

実際に持つつもり（予定）の子どもの数は、0 人が 40.7%、1 人が 10.7%、2 人が 41.5%、平均 1.16 人であった。



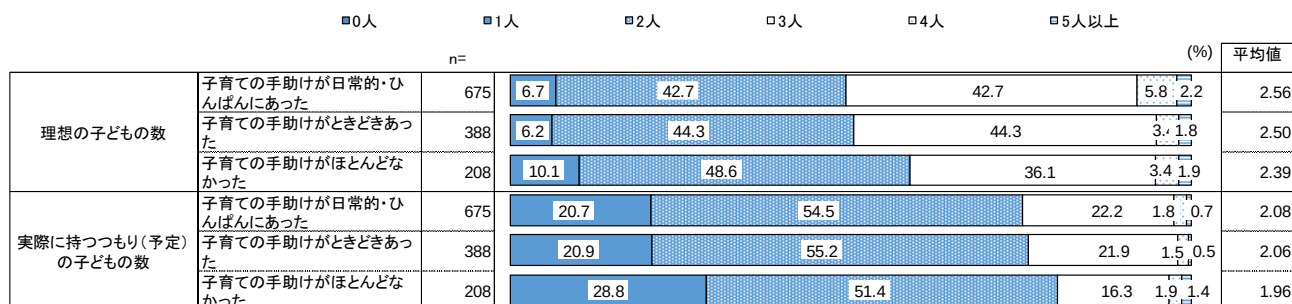
※既婚者、独身者の「結婚意向なし・わからない」は除く。

＜子どもが 1 人以上いる者の場合＞

親からの子育て支援の状況別にみると、いずれかの親から子育ての手助けが「ほとんどなかった」人は、実際に持つつもり（予定）の子どもの数が 1 人の割合が 28.8%と高い。

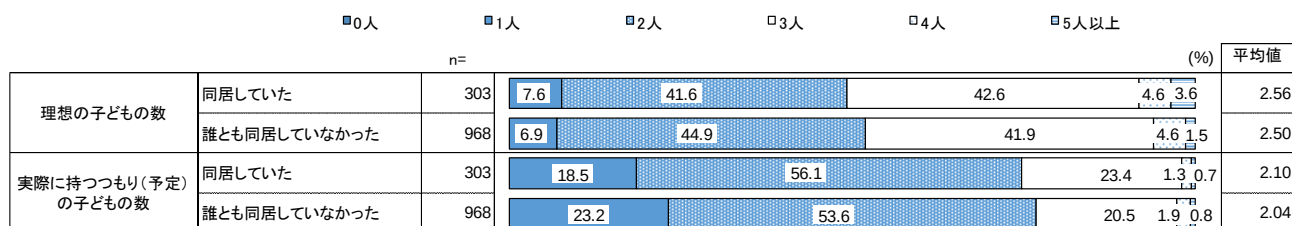
子どもが 3 歳になるまでの期間における親との同居有無別にみると、「同居していた」人は、理想の子どもの数・実際に持つつもり（予定）の子どもの数ともに 3 人以上の割合がやや高いが、親との同居有無では大きな差はみられない。

③ー 1 親からの子育て支援の状況別



※親からの子育て支援は、問 22 の回答をもとに分類した。いずれかの親から「日常的にあった」または「ひんぱんにあった」場合には「子育ての手助けが日常的・ひんぱんにあった」、いずれかの親から「ときどきあった」場合には「子育ての手助けがときどきあった」、いずれの親からも「ほとんどなかった」、または問 21 の回答が親は「いなかった」「わからない」場合には「子育ての手助けがほとんどなかった」としている。

③ー 2 親との同居有無別



※親との同居の有無は、問 21 の回答をもとに分類した。いずれかの親と同居していた場合には「同居していた」、いずれの親とも同居していなかった場合には「誰とも同居していなかった」、または親が「いなかった」「わからない」場合には「誰とも同居していなかった」としている。

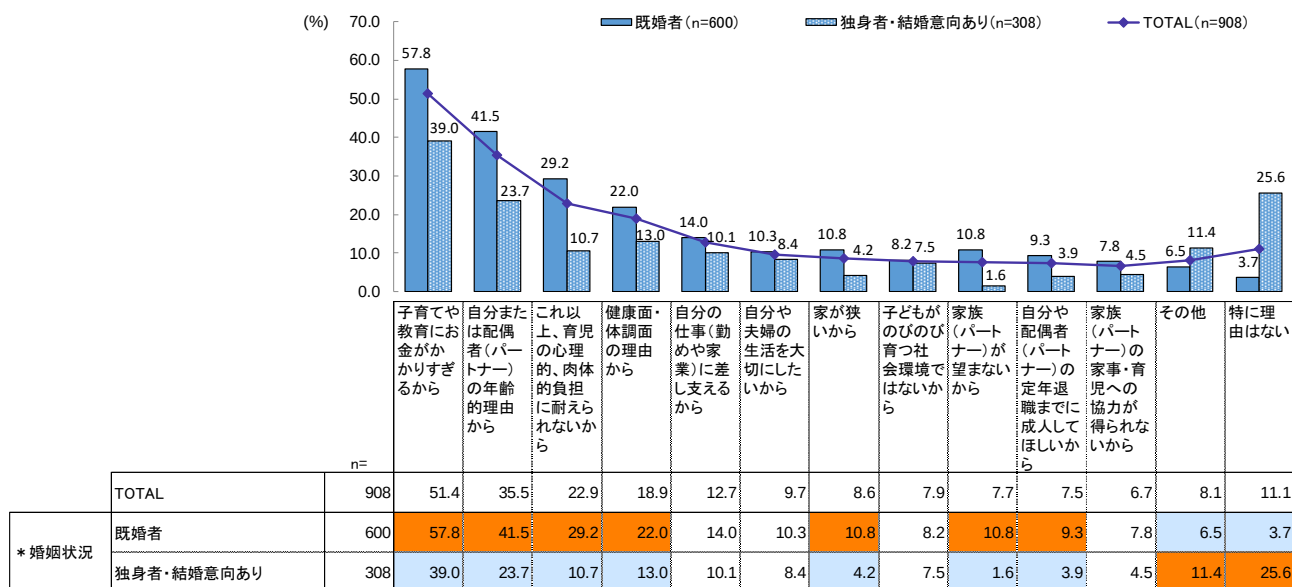
問14 持つつもりの子どもの数が、理想の子どもの数より少ないのはどうしてですか。あてはまる理由をお答えください。(回答はいくつでも)

【回答者：既婚者または独身者のうち結婚予定・意向がある者で、問13で「実際に持つつもり(予定)の子どもの数」が「理想の子どもの数」より少ない人数を回答した者】

実際に持つつもり(予定)の子どもの数が理想の子どもの数よりも少ない理由としては、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」(51.4%)が最も高い。次いで、「自分または配偶者(パートナー)の年齢的理由から」(35.5%)、「これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから」(22.9%)と続く。

婚姻状況別にみると、既婚者は「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」(57.8%)、「自分または配偶者(パートナー)の年齢的理由から」(41.5%)、「これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから」(29.2%)等の上位の理由は、いずれも独身者・結婚意向ありに比べ高くなっている。

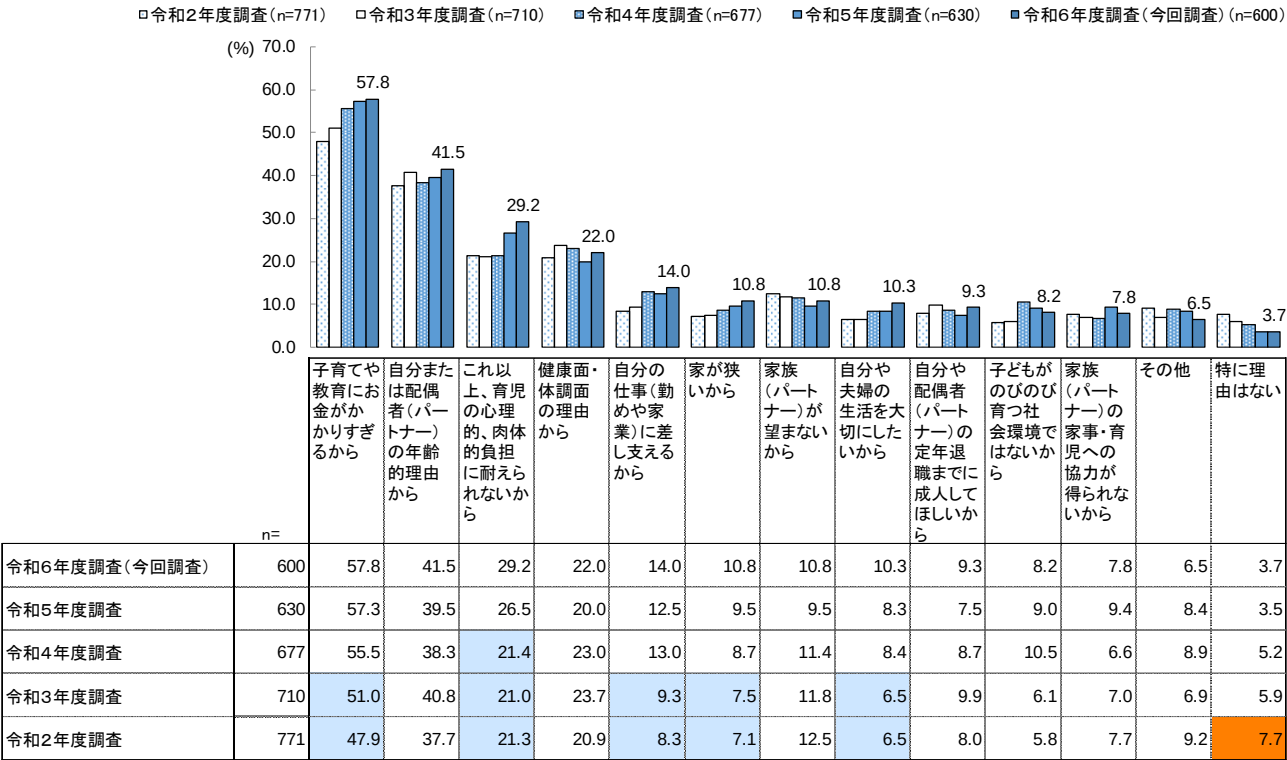
独身者・結婚意向ありでは、既婚者に比べ経済的・年齢的な理由を挙げる割合は低い。「特に理由はない」との回答が25.6%となっている。



※グラフはTOTALの順でソート

既婚者の回答について令和2～6年度調査（今回調査）までの経年変化をみると、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」、「これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから」、「自分の仕事（勤めや家業）に差し支えるから」、「家が狭いから」、「自分や夫婦の生活を大切にしたいから」は、令和2年度と比べるとやや増加している。

＜既婚者の場合＞



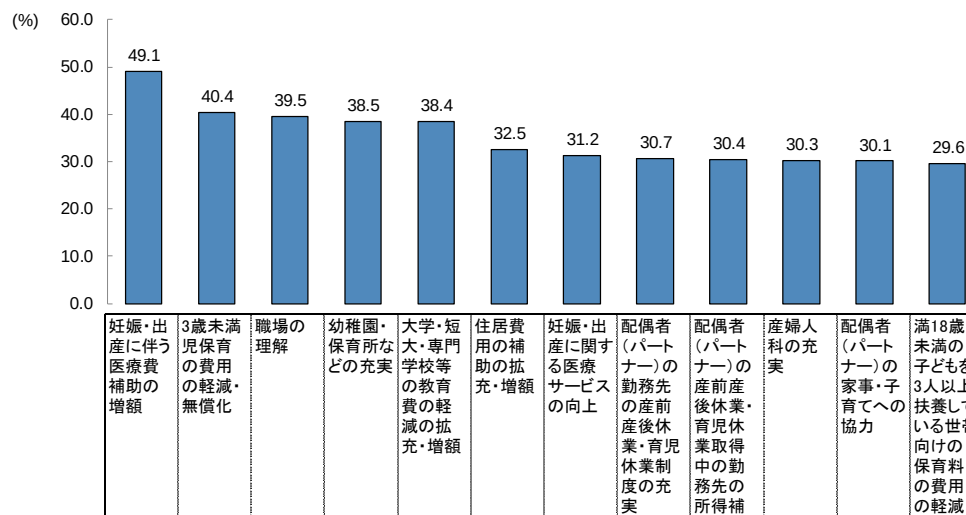
※グラフは今回調査の順でソート

問15 長野県では様々な施策をしていますが、2人、3人と出産し、育てていくためには、今後更にどんなことが必要だと思われますか。（回答はいくつでも）

【回答者：既婚者または独身者のうち結婚予定・意向がある者で、問13で「実際に持つつもり（予定）の子どもの数」が「理想の子どもの数」より少ない人数を回答した者】

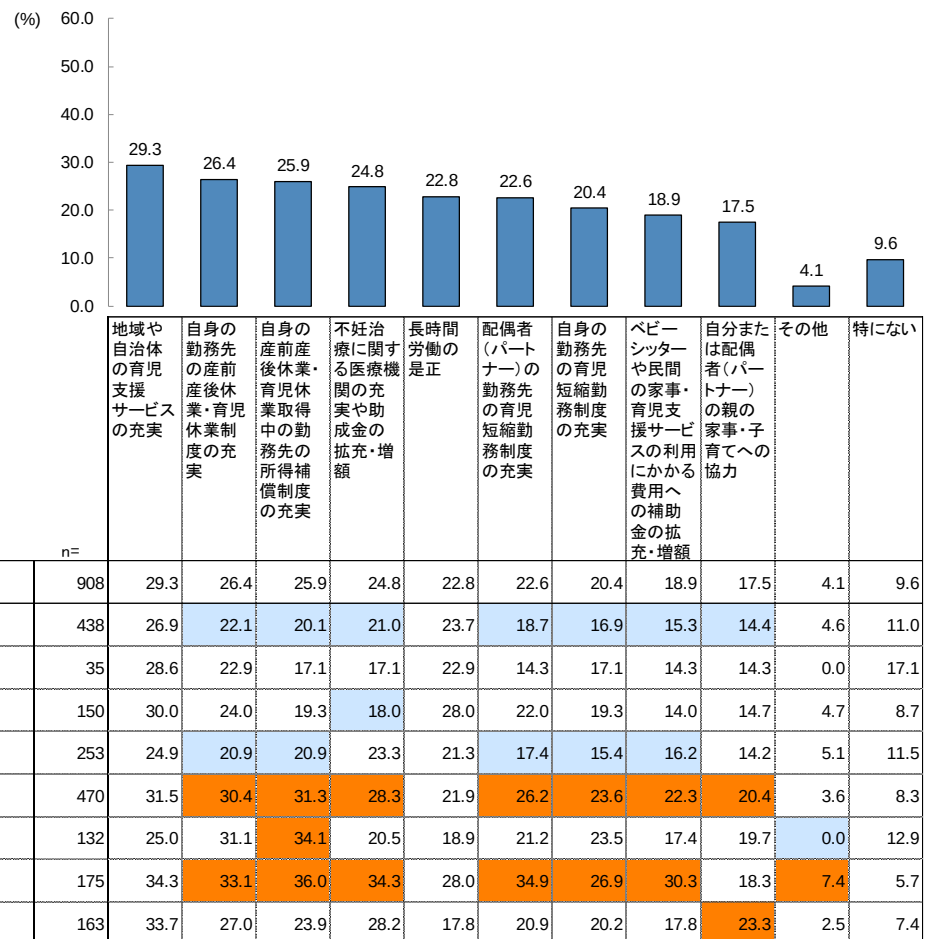
2人、3人と出産し、育てていくために必要だと思うことは、「妊娠・出産に伴う医療費補助の増額」（49.1%）が最も高い。次いで、「3歳未満児保育の費用の軽減・無償化」（40.4%）、「職場の理解」（39.5%）、「幼稚園・保育所などの充実」（38.5%）と続く。

性・年代別にみると、男性30代では「住居費用の補助の拡充・増額」（43.3%）が高い。また、女性の方が男性よりも必要だと思うことを多く挙げており、特に「配偶者（パートナー）の家事・子育てへの協力」（男性20.8%、女性38.7%）、「配偶者（パートナー）の勤務先の産前産後休業・育児休業制度の充実」（男性24.4%、女性36.6%）、「配偶者（パートナー）の産前産後休業・育児休業中の勤務先の所得補償制度の充実」（男性26.9%、女性33.6%）となっており、配偶者（パートナー）自身の協力と配偶者（パートナー）の勤務先の制度の充実を望んでいることがうかがえる。



n=		908	49.1	40.4	39.5	38.5	38.4	32.5	31.2	30.7	30.4	30.3	30.1	29.6
TOTAL		908	49.1	40.4	39.5	38.5	38.4	32.5	31.2	30.7	30.4	30.3	30.1	29.6
* 性別 × 年代	■男性 計	438	43.4	34.2	33.8	35.4	35.6	36.8	26.3	24.4	26.9	21.5	20.8	29.2
	10・20代	35	40.0	42.9	22.9	40.0	45.7	31.4	22.9	20.0	28.6	25.7	17.1	34.3
	30代	150	47.3	41.3	38.0	39.3	32.7	43.3	26.7	26.0	29.3	20.7	22.0	34.7
	40代	253	41.5	28.9	32.8	32.4	36.0	33.6	26.5	24.1	25.3	21.3	20.6	25.3
	■女性 計	470	54.5	46.2	44.9	41.5	41.1	28.5	35.7	36.6	33.6	38.5	38.7	30.0
	10・20代	132	54.5	50.8	40.2	49.2	40.9	32.6	37.1	35.6	33.3	26.5	36.4	34.1
	30代	175	53.7	54.3	49.1	42.9	41.1	33.1	36.6	44.6	41.7	43.4	35.4	32.0
	40代	163	55.2	33.7	44.2	33.7	41.1	20.2	33.7	28.8	25.2	42.9	44.2	24.5

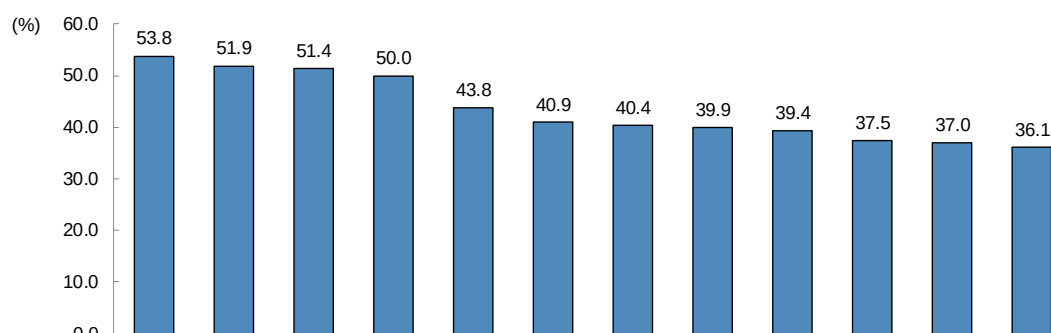
(前表のつづき)



問 14 で「これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから」と回答した者の場合、「妊娠・出産に伴う医療費補助の増額」(53.8%) が最も高い。次いで、「3 歳未満児保育の費用の軽減・無償化」(51.9%)、「大学・短大・専門学校等の教育費の軽減の拡充・増額」(51.4%) と続く。

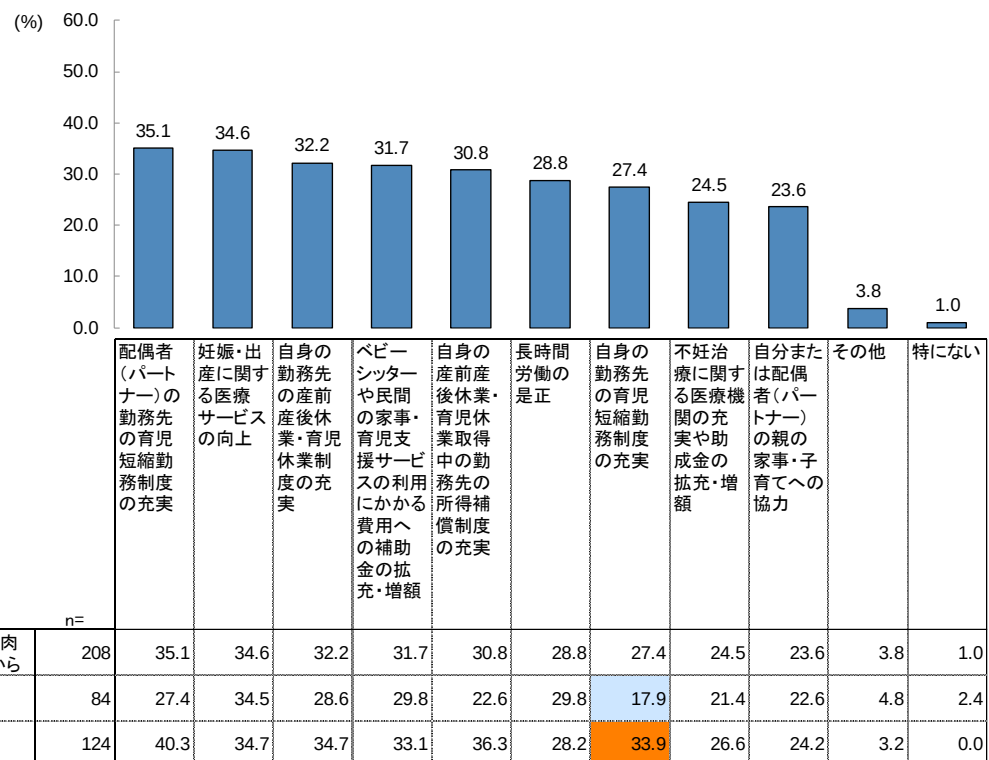
性別にみると、「配偶者（パートナー）の家事・子育てへの協力」、「配偶者（パートナー）の勤務先の産前産後休業・育児休業制度の充実」、「産婦人科の充実」、「自身の勤務先の育児短縮勤務制度の充実」は、男性よりも女性の方が高くなっている。一方、「住居費用の補助の拡充・増額」は女性よりも男性の方が高い。

<問 14 で「これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから」と回答した者の場合>



	n=	妊娠・出産に伴う医療費補助の増額	3歳未満児保育の費用の軽減・無償化	大学・短大・専門学校等の教育費の軽減の拡充・増額	職場の理解	幼稚園・保育所などの充実	住居費用の補助の拡充・増額	配偶者（パートナー）の勤務先の産前産後休業・育児休業制度の充実	配偶者（パートナー）の産前産後休業・育児休業取得中の勤務先の所得補償制度の充実	配偶者（パートナー）の家事・子育てへの協力	地域や自治体の育児支援サービスの充実	満18歳未満の子どもを3人以上扶養している世帯向けの保育料の費用の軽減	産婦人科の充実
これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから	208	53.8	51.9	51.4	50.0	43.8	40.9	40.4	39.9	39.4	37.5	37.0	36.1
男性	84	50.0	48.8	44.0	42.9	42.9	52.4	31.0	34.5	27.4	36.9	42.9	27.4
女性	124	56.5	54.0	56.5	54.8	44.4	33.1	46.8	43.5	47.6	37.9	33.1	41.9

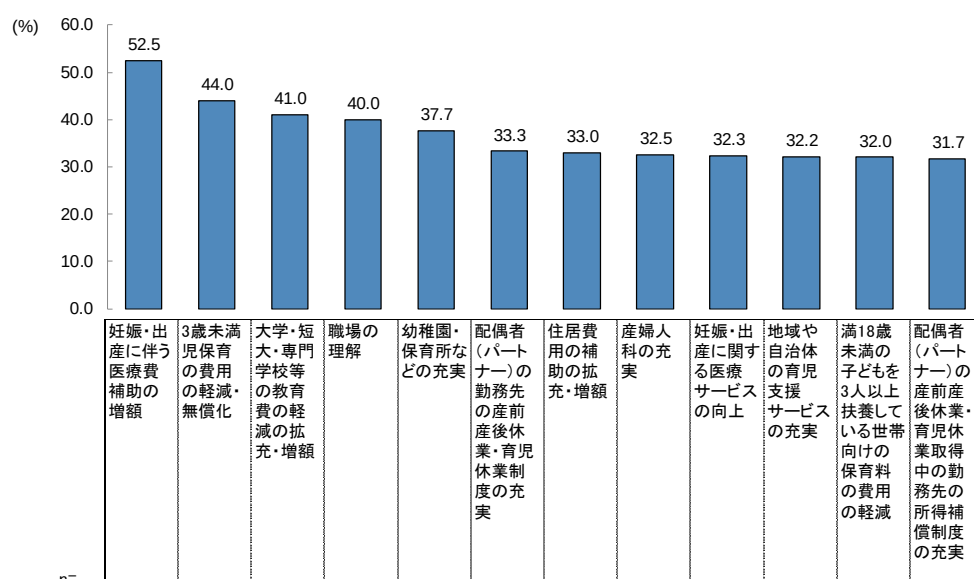
(前表のつづき)



既婚者の場合、「妊娠・出産に伴う医療費補助の増額」(52.5%)が最も高い。次いで、「3歳未満児保育の費用の軽減・無償化」(44.0%)、「大学・短大・専門学校等の教育費の軽減の拡充・増額」(41.0%)と続く。

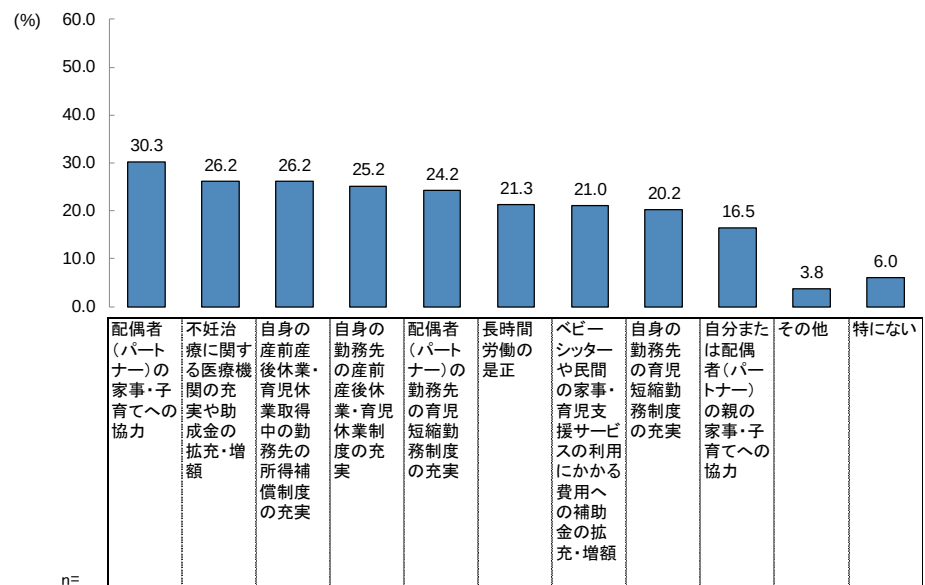
性・年代別にみると、女性10代～30代では「3歳未満児保育の費用の軽減・無償化」(10・20代：61.4%、30代：60.2%)が高い。女性30代～40代では「産婦人科の充実」(30代：43.6%、40代：43.2%)が高い。男性30代では「3歳未満児保育の費用の軽減・無償化」(53.7%)、「住居費費用の補助の拡充・増額」(47.4%)が高く、金銭的な施策が必要と感じていることがうかがえる。

<既婚者の場合>



		n=												
TOTAL		600	52.5	44.0	41.0	40.0	37.7	33.3	33.0	32.5	32.3	32.2	32.0	31.7
* 性別 × 年代	■男性 計	284	48.2	39.1	37.7	34.9	36.3	26.8	39.8	22.5	29.2	31.0	32.0	28.9
	10・20代	5	80.0	60.0	40.0	20.0	60.0	20.0	40.0	20.0	60.0	40.0	40.0	20.0
	30代	95	53.7	53.7	36.8	37.9	43.2	30.5	47.4	24.2	29.5	36.8	38.9	31.6
	40代	184	44.6	31.0	38.0	33.7	32.1	25.0	35.9	21.7	28.3	27.7	28.3	27.7
	■女性 計	316	56.3	48.4	44.0	44.6	38.9	39.2	26.9	41.5	35.1	33.2	32.0	34.2
	10・20代	44	61.4	61.4	40.9	31.8	38.6	40.9	31.8	29.5	43.2	31.8	45.5	36.4
	30代	133	57.1	60.2	45.9	51.1	45.9	51.1	36.1	43.6	37.6	33.8	35.3	46.6
	40代	139	54.0	33.1	43.2	42.4	32.4	27.3	16.5	43.2	30.2	33.1	24.5	21.6

(前表のつづき)



		n=											
TOTAL		600	30.3	26.2	26.2	25.2	24.2	21.3	21.0	20.2	16.5	3.8	6.0
* 性別 × 年代	■男性 計	284	21.5	23.2	20.4	21.8	20.4	22.5	16.9	16.2	14.1	3.9	6.0
	10・20代	5	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30代	95	22.1	18.9	20.0	26.3	24.2	25.3	16.8	17.9	13.7	4.2	3.2
	40代	184	21.7	26.1	21.2	20.1	18.5	21.7	17.4	15.8	14.7	3.8	7.6
	■女性 計	316	38.3	28.8	31.3	28.2	27.5	20.3	24.7	23.7	18.7	3.8	6.0
	10・20代	44	31.8	27.3	38.6	25.0	25.0	13.6	25.0	27.3	13.6	0.0	11.4
	30代	133	36.1	32.3	39.1	32.3	38.3	26.3	32.3	28.6	16.5	6.8	3.8
	40代	139	42.4	25.9	21.6	25.2	18.0	16.5	17.3	18.0	22.3	2.2	6.5

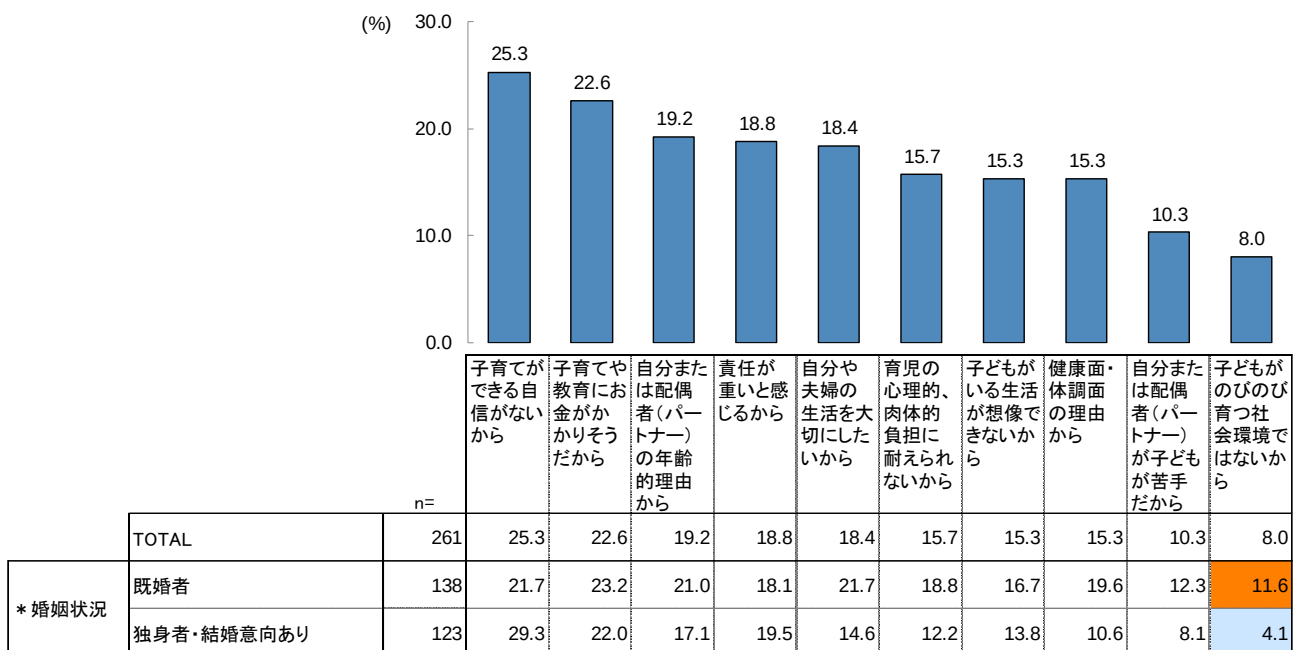
問16 子どもを希望しない理由、子どもを持たないかもしれないと思う理由は何ですか。

(回答はいくつでも)

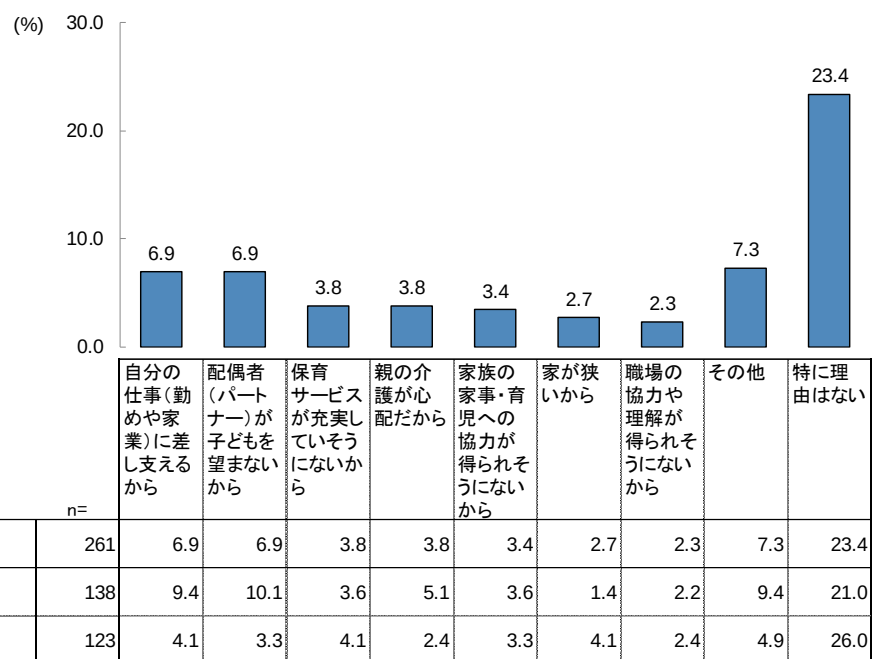
【回答者：既婚者または独身者のうち結婚予定・意向がある者で、問13で「理想の子どもの数」を0人と回答した者】

子どもを希望しない理由、子どもを持たないかもしれないと思う理由は、「子育てができる自信がないから」(25.3%)が最も高い。次いで、「子育てや教育にお金がかかりそうだから」(22.6%)、「自分または配偶者(パートナー)の年齢的理由から」(19.2%)と続く。

婚姻状況別にみると、既婚者では「子どもがのびのび育つ社会環境ではないから」が11.6%と高くなっている。



(前表のつづき)

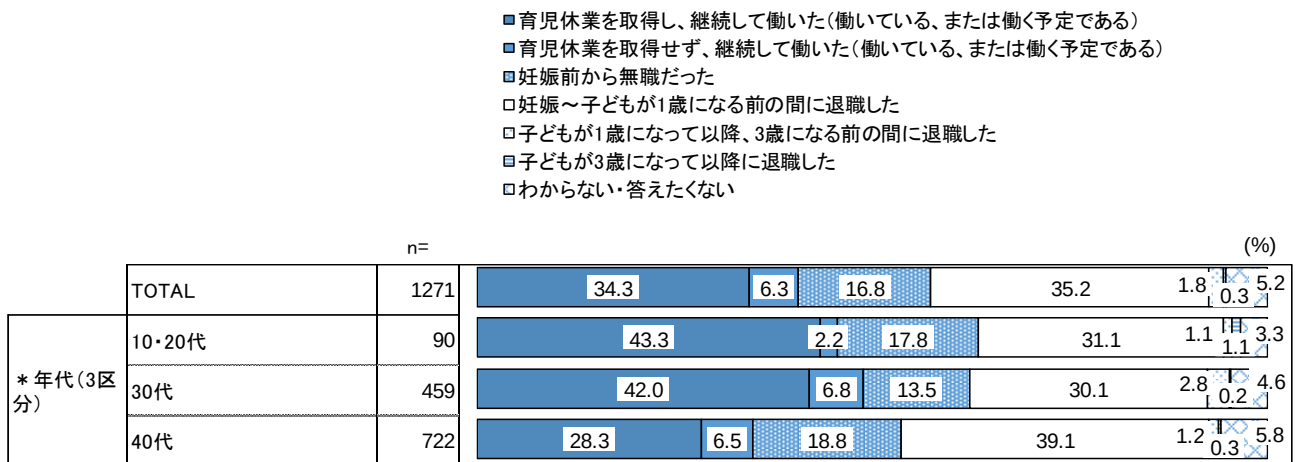


問17 女性の場合：1人目のお子さんを出産したときの仕事についてお答えください。
 男性の場合：1人目のお子さんが産まれたときの配偶者（パートナー）の仕事についてお答えください。

（回答は1つ）【回答者：子どもが1人以上いる者】

1人目の子どもが生まれたときの女親の仕事の状況については、「育児休業を取得し、継続して働いた（働いている、または働く予定である）」（34.3%）、「妊娠～子どもが1歳になる前の間に退職した」（35.2%）が高い。

年代別にみると、30代は「育児休業を取得し、継続して働いた（働いている、または働く予定である）」（42.0%）が高い一方、40代は「妊娠～子どもが1歳になる前の間に退職した」（39.1%）が高い。



平成30年度調査と比較すると、令和6年度調査（今回調査）はいずれの年代も出産後就業継続の割合が高くなっている。

- 育児休業を取得し、継続して働いた（働いている、または働く予定である）
- 育児休業を取得せず、継続して働いた（働いている、または働く予定である）
- 妊娠～子どもが1歳になる前の間に退職した
- 子どもが1歳になって以降、3歳になる前の間に退職した
- 子どもが3歳になって以降に退職した
- 妊娠前から無職だった
- わからない・答えたくない

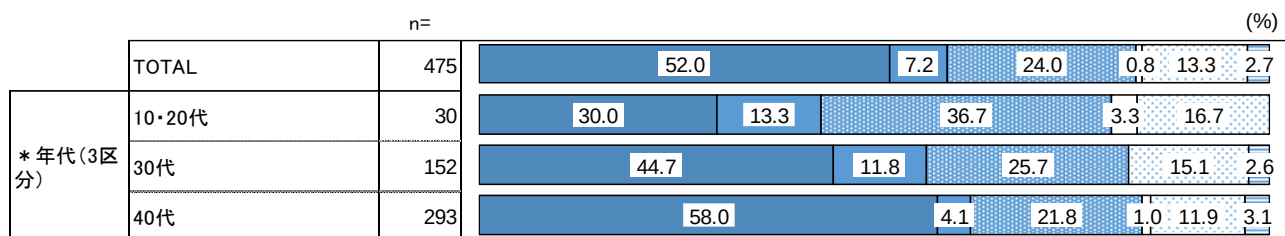
n=			(%)
TOTAL	令和6年度調査（今回調査）	1271	出産後就業継続 40.6% 出産後無職 54.1% 34.3 6.3 35.2 1.8 0.3 16.8 5.2 出産前有職 77.9%
	平成30年度調査	1591	出産後就業継続 29.4% 出産後無職 64.0% 23.9 5.5 40.2 1.3 0.4 22.1 6.6 出産前有職 71.3%
10・20代	令和6年度調査（今回調査）	90	出産後就業継続 45.5% 出産後無職 51.1% 43.3 2.2 31.1 1.1 1.1 17.8 3.3 出産前有職 78.8%
	平成30年度調査	91	出産後就業継続 36.3% 出産後無職 53.9% 33.0 3.3 41.8 1.1 1.1 11.0 9.9 出産前有職 79.2%
30代	令和6年度調査（今回調査）	459	出産後就業継続 48.8% 出産後無職 46.6% 42.0 6.8 30.1 2.8 0.2 13.5 4.6 出産前有職 81.9%
	平成30年度調査	561	出産後就業継続 29.9% 出産後無職 64.7% 26.0 3.9 41.7 1.6 0.5 20.9 5.3 出産前有職 73.7%
40代	令和6年度調査（今回調査）	722	出産後就業継続 34.8% 出産後無職 59.4% 28.3 6.5 39.1 1.2 0.3 18.8 5.8 出産前有職 75.4%
	平成30年度調査	939	出産後就業継続 28.4% 出産後無職 64.6% 21.7 6.7 39.1 1.2 0.4 23.9 7.0 出産前有職 69.1%

問18 1人目のお子さんの妊娠・出産・育児の時期に仕事を辞めた一番の理由は何ですか。(回答は1つ)
【回答者：出産・育児の時期に仕事を辞めた者】

1人目の子どもの妊娠・出産・育児の時期に仕事を辞めた一番の理由としては、「家事・育児に専念するため、自発的に辞めた」(52.0%)、「仕事を続けたかったが、仕事と育児の両立が難しそうだった」(24.0%)が高い。

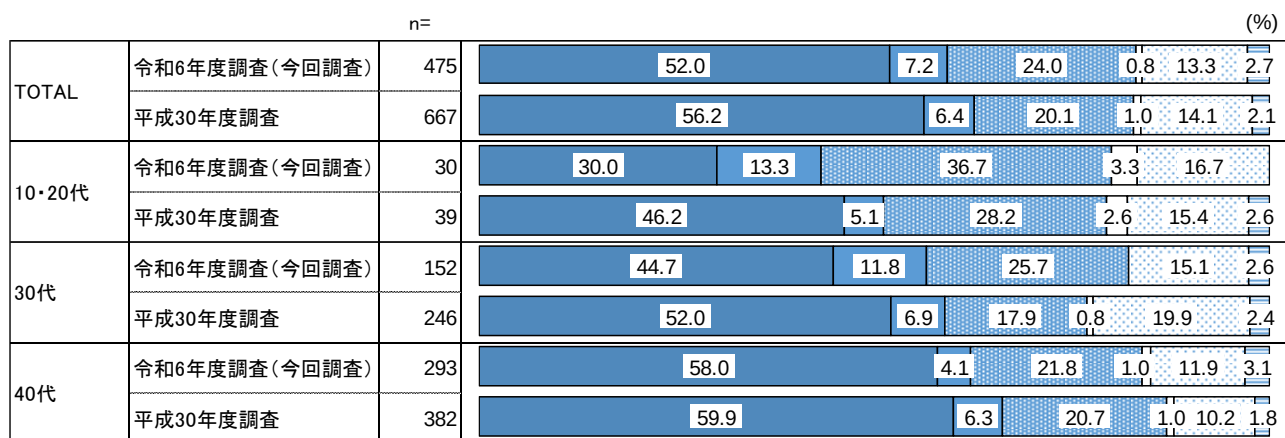
年代別にみると、30代は「結婚・出産・育児を機に辞めたが、理由は結婚・出産・育児等に直接関係ない」(11.8%)、40代は「家事・育児に専念するため、自発的に辞めた」(58.0%)が高い。

- 家事・育児に専念するため、自発的に辞めた
- 結婚・出産・育児を機に辞めたが、理由は結婚・出産・育児等に直接関係ない
- 仕事を続けたかったが、仕事と育児の両立が難しそうだった
- 子をもつ前と仕事内容や責任等が変わり、やりがいを感じられなくなった(なりそうだった)
- その他
- 特にない



平成30年度調査と比較すると、令和6年度調査(今回調査)はいずれの年代も「家事・育児に専念するため、自発的に辞めた」の割合が低く、「仕事を続けたかったが、仕事と育児の両立が難しそうだった」の割合が高くなっている。

- 家事・育児に専念するため、自発的に辞めた
- 結婚・出産・育児を機に辞めたが、理由は結婚・出産・育児等に直接関係ない
- 仕事を続けたかったが、仕事と育児の両立が難しそうだった
- 子をもつ前と仕事内容や責任等が変わり、やりがいを感じられなくなった(なりそうだった)
- その他
- 特にない



問19 どのようなバランスで育児と仕事を両立したいですか。(回答は1つ)

【回答者：子どもが1人以上いる者】

育児と仕事の両立のバランスについては、「仕事と育児は半々で、配偶者（パートナー）や家族などと協力をしながら両立したい」（33.1%）、「育児メインで、仕事とはできる限り両立し、一定の収入は得たい」（26.2%）、「仕事メインで、育児は配偶者（パートナー）や家族、制度のサポートを借りながら両立したい」（22.4%）が高い。

性・年代別にみると、男性 30 代～40 代は「仕事メインで、育児は配偶者（パートナー）や家族、制度のサポートを借りながら両立したい」（30 代：35.0%、40 代：41.9%）、女性 30 代～40 代は「育児メインで、仕事とはできる限り両立し、一定の収入は得たい」（30 代：41.8%、40 代：39.3%）が高い。

- 仕事メインで、育児は配偶者（パートナー）や家族、制度のサポートを借りながら両立したい
- 仕事と育児は半々で、配偶者（パートナー）や家族などと協力をしながら両立したい
- 育児メインで、仕事とはできる限り両立し、一定の収入は得たい
- 育児メインで、仕事とはできる限り両立し、収入にはこだわらず、社会とのつながりを維持したい
- 育児に専念したい
- その他
- 特にない

n=			n=								(%)
* 性別	TOTAL	1271	22.4	33.1	26.2	6.4	4.3	0.5	7.1		
	男性	630	39.0	33.5	12.5	3.5	2.1	0.2	9.2		
	女性	641	6.1	32.8	39.6	9.2	6.6	0.8	5.0		

n=			仕事メインで、 育児は配偶者 （パートナー） や家族、制度 のサポートを 借りながら両 立したい	仕事と育児は 半々で、配偶 者（パート ナー）や家族 などと協力を しながら両立 したい	育児メインで、 仕事とはでき る限り両立し、 一定の収入は 得たい	育児メインで、 仕事とはでき る限り両立し、 収入にはこだわ らず、社会と のつながりを 維持したい	育児に専念し たい	その他	特にない
* 性別 × 年代	TOTAL	1271	22.4	33.1	26.2	6.4	4.3	0.5	7.1
	■ 男性 計	630	39.0	33.5	12.5	3.5	2.1	0.2	9.2
	10・20代	16	25.0	37.5	18.8	0.0	6.3	0.0	12.5
	30代	220	35.0	38.6	13.6	3.2	1.4	0.0	8.2
	40代	394	41.9	30.5	11.7	3.8	2.3	0.3	9.6
	■ 女性 計	641	6.1	32.8	39.6	9.2	6.6	0.8	5.0
	10・20代	74	9.5	28.4	33.8	10.8	9.5	0.0	8.1
	30代	239	5.4	33.5	41.8	9.6	5.0	0.8	3.8
	40代	328	5.8	33.2	39.3	8.5	7.0	0.9	5.2

夫婦の働き方別にみると、共働き家庭（どちらも正規社員・職員）では「仕事と育児は半々で、配偶者（パートナー）や家族などと協力をしながら両立したい」が48.0%と高い。

- 仕事メインで、育児は配偶者（パートナー）や家族、制度のサポートを借りながら両立したい
- 仕事と育児は半々で、配偶者（パートナー）や家族などと協力をしながら両立したい
- 育児メインで、仕事とはできる限り両立し、一定の収入は得たい
- 育児メインで、仕事とはできる限り両立し、収入にはこだわらず、社会とのつながりを維持したい
- 育児に専念したい
- その他
- 特にない

n=

(%)

	TOTAL	1144	22.6	33.6	26.1	6.3	4.5	0.4	6.6
* 夫婦の働き方	共働き家庭（どちらも正規社員・職員）	342	24.9	48.0		20.8	2.3	0.6	3.5
	共働き家庭（正規社員・職員と非正規雇用）	458	22.1	29.9	28.2	7.9	4.4	0.9	6.8
	共働き家庭（その他）	108	19.4	26.9	35.2	3.7	3.7	11.1	
	正規社員・職員と専業主婦（夫）の家庭	203	22.7	21.7	26.6	9.9	10.3	8.9	
	非正規雇用または自営業と専業主婦（夫）の家庭	20	20.0	20.0	30.0	10.0	15.0	5.0	
	その他	13	7.7	46.2	7.7	15.4	7.7	15.4	

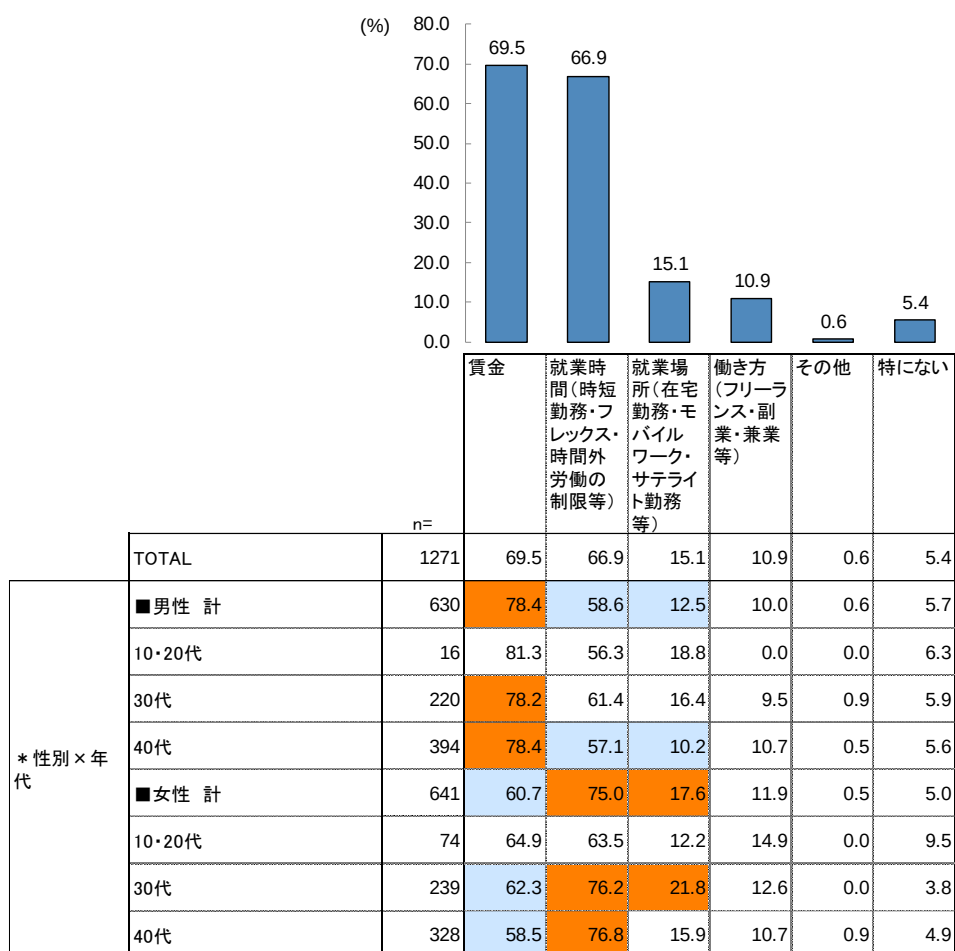
		n=	仕事メインで、育児は配偶者（パートナー）や家族、制度のサポートを借りながら両立したい	仕事と育児は半々で、配偶者（パートナー）や家族などと協力をしながら両立したい	育児メインで、仕事とはできる限り両立し、一定の収入は得たい	育児メインで、仕事とはできる限り両立し、収入にはこだわらず、社会とのつながりを維持したい	育児に専念したい	その他	特にない
	TOTAL	1144	22.6	33.6	26.1	6.3	4.5	0.4	6.6
* 夫婦の働き方	共働き家庭（どちらも正規社員・職員）	342	24.9	48.0	20.8	2.3	0.6	0.0	3.5
	共働き家庭（正規社員・職員と非正規雇用）	458	22.1	29.9	28.2	7.9	4.4	0.9	6.8
	共働き家庭（その他）	108	19.4	26.9	35.2	3.7	3.7	0.0	11.1
	正規社員・職員と専業主婦（夫）の家庭	203	22.7	21.7	26.6	9.9	10.3	0.0	8.9
	非正規雇用または自営業と専業主婦（夫）の家庭	20	20.0	20.0	30.0	10.0	15.0	5.0	0.0
	その他	13	7.7	46.2	7.7	15.4	7.7	0.0	15.4

問20 円満な家庭生活をおくるうえで優先する労働条件は何ですか。(回答は2つまで)

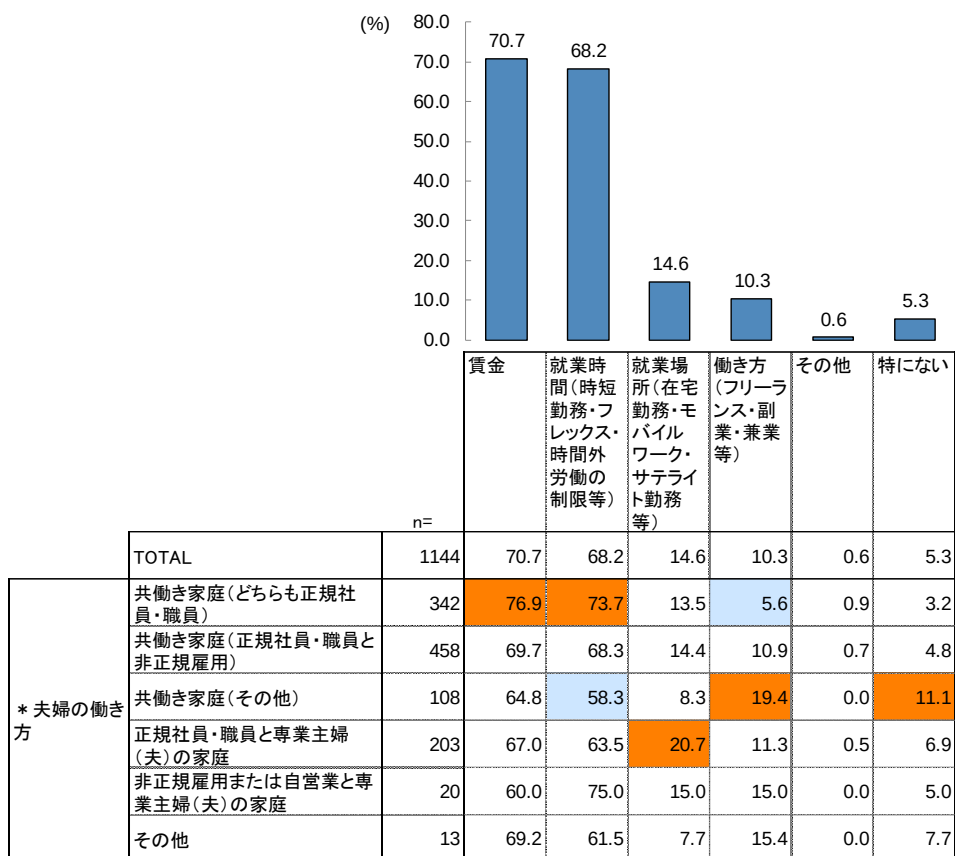
【回答者：子どもが1人以上いる者】

円満な家庭生活をおくるうえで優先する労働条件としては、「賃金」(69.5%)が最も高い。次いで、「就業時間(時短勤務・フレックス・時間外労働の制限等)」(66.9%)、「就業場所(在宅勤務・モバイルワーク・サテライト勤務等)」(15.1%)と続く。

性・年代別にみると、男性30代～40代では「賃金」が高い(30代：78.2%、40代：78.4%)。また、女性30代～40代では「就業時間(時短勤務・フレックス・時間外労働の制限等)」が高い(30代：76.2%、40代：76.8%)。



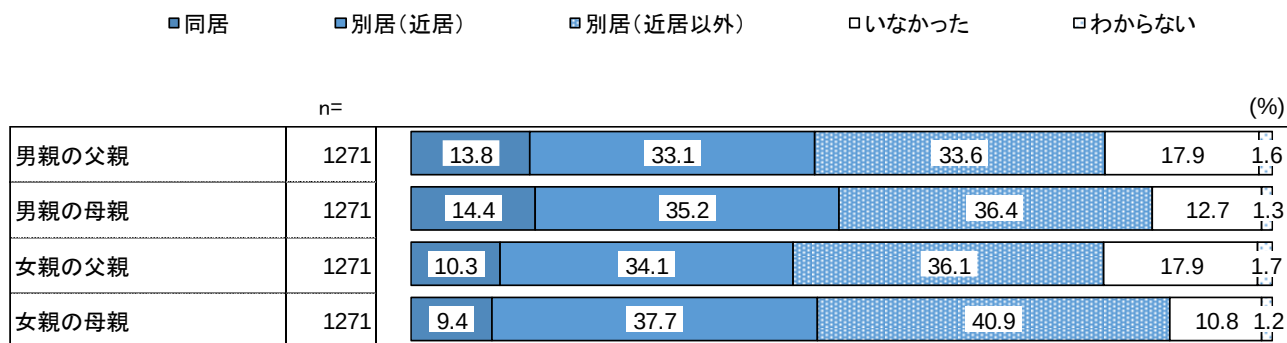
夫婦の働き方別にみると、共働き家庭（どちらも正規社員・職員）は「賃金」（76.9%）、「就業時間（時短勤務・フレックス・時間外労働の制限等）」（73.7%）、正規社員・職員と専業主婦（夫）の家庭は「就業場所（在宅勤務・モバイルワーク・サテライト勤務等）」（20.7%）、共働き家庭（その他）は「働き方（フリーランス・副業・兼業等）」（19.4%）が高い。



問21 お子さんが3歳になるまでの間、あなたや配偶者（パートナー）のご両親と同居していましたか。
（回答はそれぞれ1つ） 【回答者：子どもが1人以上いる者】

男親の親と同居していた者は1割強となっており（父親：13.8%、母親：14.4%）、徒歩で30分程度の別居（近居）は3割を超えている（父親：33.1%、母親：35.2%）。

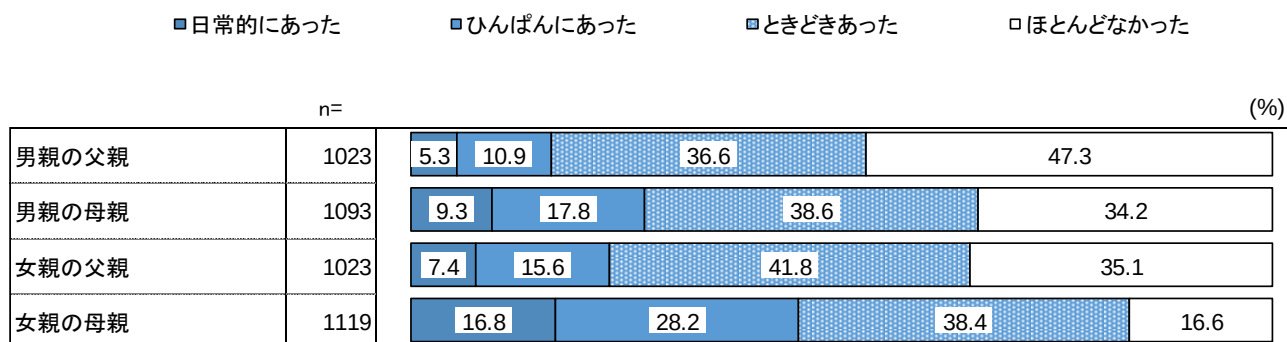
女親の親と同居していた者は約1割となっており（父親：10.3%、母親：9.4%）、徒歩で30分程度の別居（近居）は3割を超えている（父親：34.1%、母親：37.7%）。



※回答者あるいは回答者の配偶者が男性の場合は「男親」とし、回答者あるいは回答者の配偶者が女性の場合は「女親」として、それぞれの父親、母親について集計を行った。

問22 お子さんが3歳になるまでの間、あなたや配偶者（パートナー）のご両親からの子育ての手助けはありましたか。もっともあてはまる状況についてお答えください。（回答はそれぞれ1つ）
【回答者：親が健在であった者】

女親の母親からは、手助けが「ほとんどなかった」は16.6%で、8割強（83.4%）は手助けがあったと回答している。男親の母親からは、手助けが「ほとんどなかった」が34.2%であり、女親の父親と似た傾向となっている。一方、男親の父親からは、手助けは「ほとんどなかった」が約半数（47.3%）となっている。



※回答者あるいは回答者の配偶者が男性の場合は「男親」とし、回答者あるいは回答者の配偶者が女性の場合は「女親」として、それぞれの父親、母親について集計を行った。

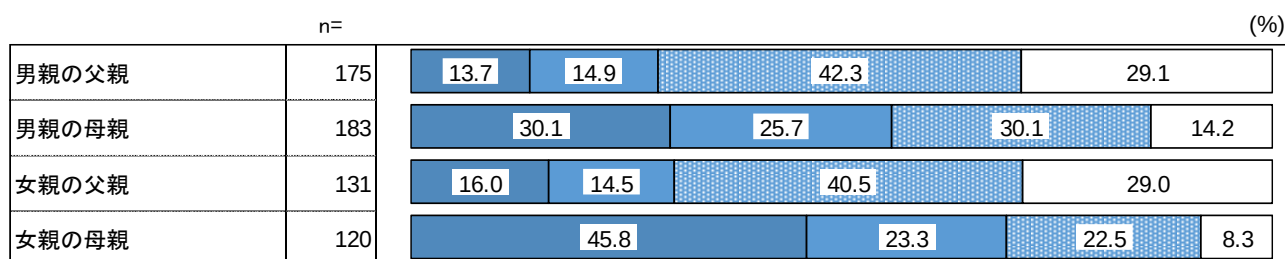
同居の場合、手助けが「日常的にあった」は、女親の母親が 45.8%、男親の母親が 30.1%とそれぞれ高い。

別居（近居）の場合、女親の母親からの手助けが「日常的にあった」は 21.3%、「ひんぱんにあった」は 37.2%となっている。

別居（近居以外）の場合、女親の母親からの手助けが「ひんぱんにあった」は 21.0%と高い。また、女親の母親からの手助けは 45.2%、女親の父親からの手助けは 40.3%が「ときどきあった」としている。

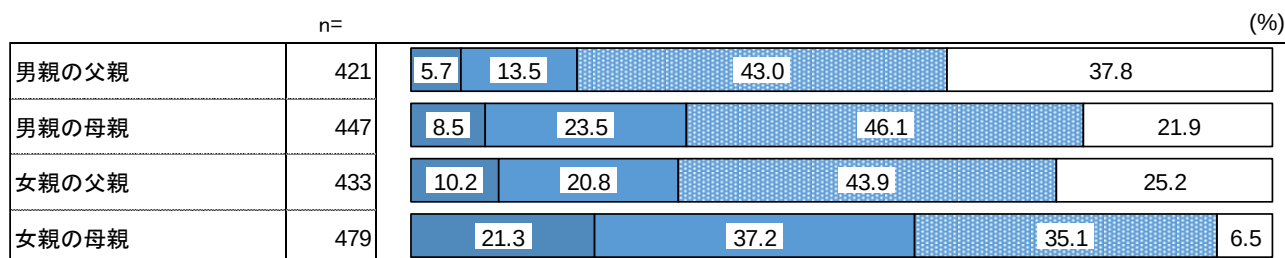
① 同居

■日常的にあった ■ひんぱんにあった ■ときどきあった □ほとんどなかった



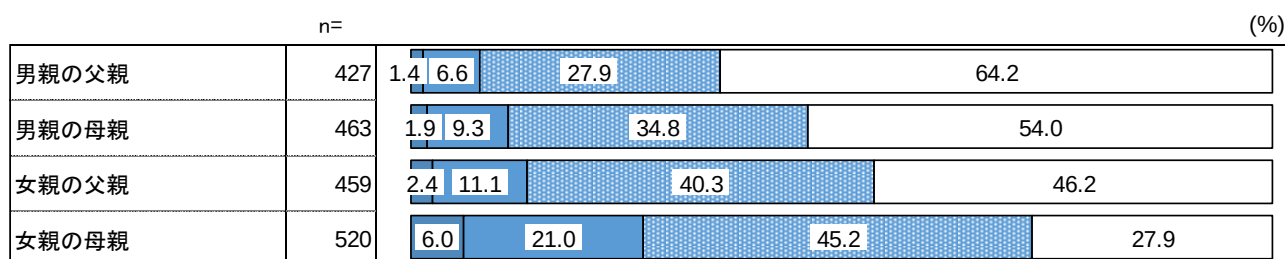
② 別居（近居）

■日常的にあった ■ひんぱんにあった ■ときどきあった □ほとんどなかった



③ 別居（近居以外）

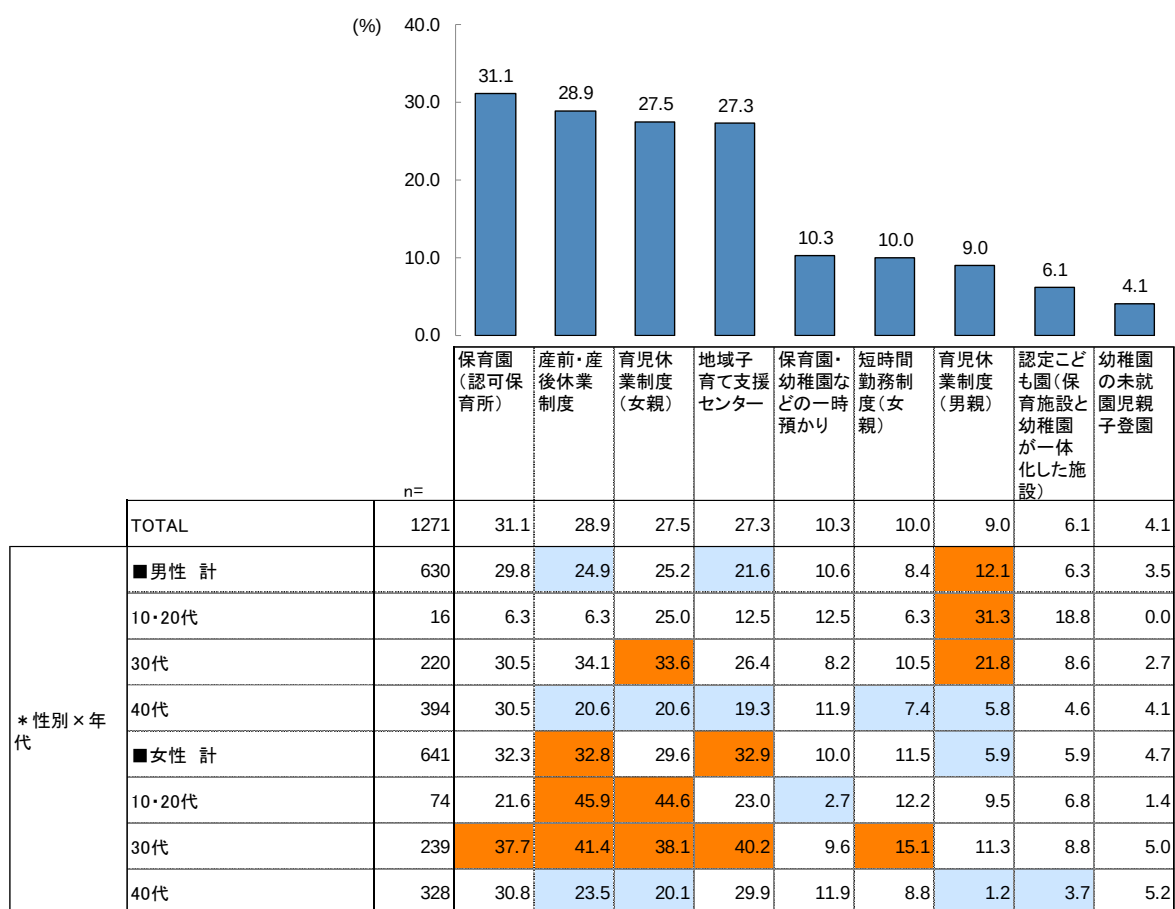
■日常的にあった ■ひんぱんにあった ■ときどきあった □ほとんどなかった



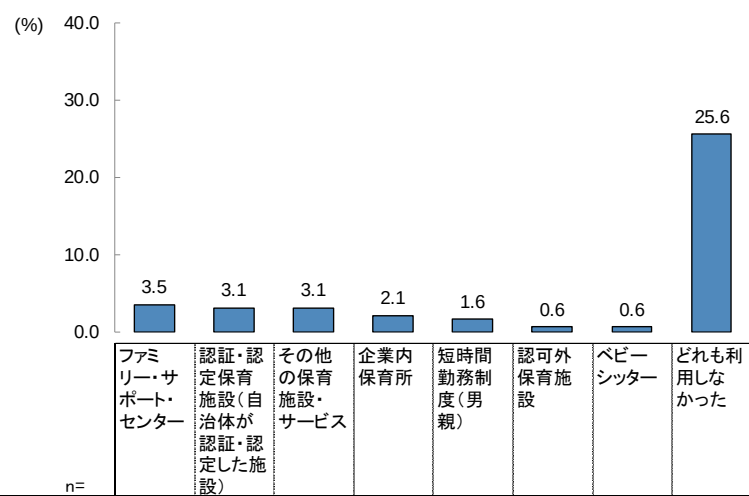
問23 お子さんが3歳になるまでの間、以下の制度や施設を利用しましたか。あてはまる状況についてお答えください。(回答はいくつでも) 【回答者：子どもが1人以上いる者】

利用した制度・施設は「保育園（認可保育所）」(31.1%) が最も高い。次いで、「産前・産後休業制度」(28.9%)、「育児休業制度（女親）」(27.5%) と続く。「育児休業制度（男親）」は 9.0%にとどまっている。

性・年代別にみると、男性 30 代では「育児休業制度（女親）」(33.6%)、「育児休業制度（男親）」(21.8%) が高い。また、女性 10 代～30 代では「産前・産後休業制度」(10・20 代：45.9%、30 代：41.4%)、「育児休業制度（女親）」(10・20 代：44.6%、30 代 38.1%) が高い。そのほか、女性 30 代では「地域子育て支援センター」(40.2%)、「保育園（認可保育所）」(37.7%)、「短時間勤務制度（女親）」(15.1%) も高くなっている。一方、男性 40 代では「どれも利用しなかった」が 32.2%と高くなっている。

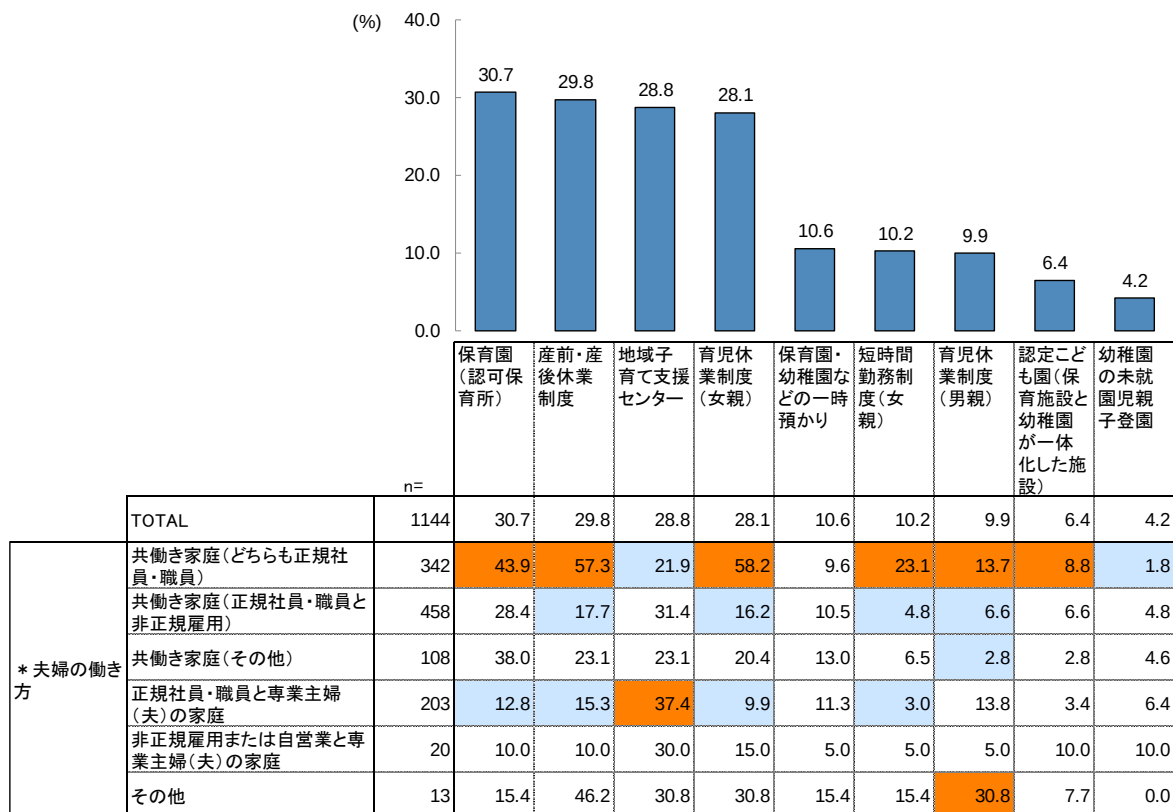


(前表のつづき)

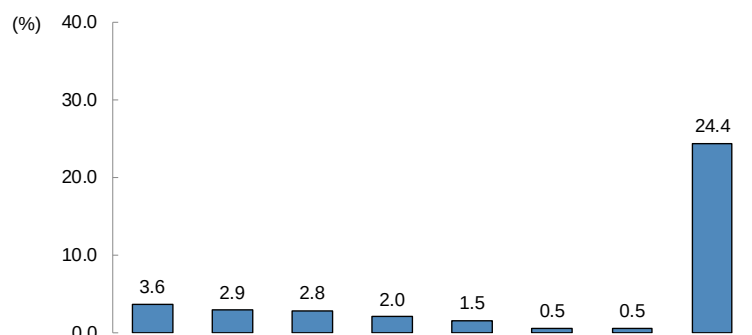


		n=								
TOTAL		1271	3.5	3.1	3.1	2.1	1.6	0.6	0.6	25.6
* 性別 × 年代	■男性 計	630	4.1	3.0	2.4	2.4	2.5	0.0	0.8	27.8
	10・20代	16	6.3	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	6.3	12.5
	30代	220	5.0	3.6	2.7	3.6	2.3	0.0	1.4	20.9
	40代	394	3.6	2.8	2.3	1.8	2.3	0.0	0.3	32.2
	■女性 計	641	2.8	3.3	3.7	1.9	0.6	1.2	0.3	23.6
	10・20代	74	2.7	5.4	1.4	4.1	0.0	2.7	0.0	25.7
	30代	239	2.5	1.7	4.6	0.8	1.3	0.8	0.0	16.3
	40代	328	3.0	4.0	3.7	2.1	0.3	1.2	0.6	28.4

夫婦の働き方別にみると、共働き家庭（どちらも正規社員・職員）では、「育児休業制度（女親）」（58.2%）、「産前・産後休業制度」（57.3%）、「保育園（認可保育所）」（43.9%）が高い。正規社員・職員と専業主婦（夫）の家庭では、「地域子育て支援センター」（37.4%）が高くなっている。また、「どれも利用しなかった」は正規社員・職員と専業主婦（夫）の家庭（35.5%）と共働き家庭（正規社員・職員と非正規雇用）（27.9%）で高い。



(前表のつづき)

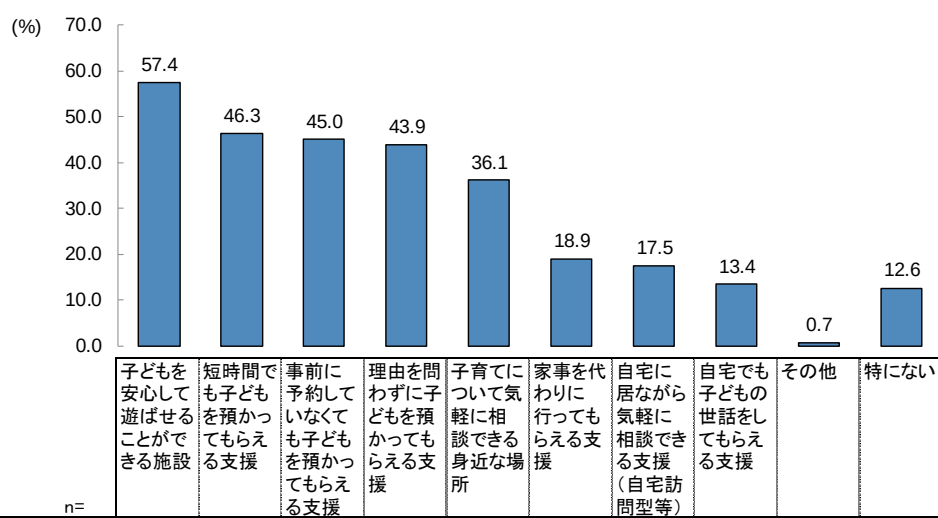


		n=	ファミリー・サポート・センター	認証・認定保育施設(自治体が認証・認定した施設)	その他の保育施設・サービス	企業内保育所	短時間勤務制度(男親)	認可外保育施設	ベビーシッター	どれも利用しなかった
TOTAL		1144	3.6	2.9	2.8	2.0	1.5	0.5	0.5	24.4
* 夫婦の働き方	共働き家庭(どちらも正規社員・職員)	342	3.2	4.4	2.6	3.5	1.5	0.6	0.6	11.4
	共働き家庭(正規社員・職員と非正規雇用)	458	4.6	3.1	3.1	1.7	1.7	0.7	0.4	27.9
	共働き家庭(その他)	108	2.8	0.0	3.7	0.0	0.0	0.9	0.9	26.9
	正規社員・職員と専業主婦(夫)の家庭	203	3.0	1.5	2.0	1.5	2.0	0.0	0.5	35.5
	非正規雇用または自営業と専業主婦(夫)の家庭	20	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0
	その他	13	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	23.1

問24 幼稚園や保育園を利用することなく家庭内で未就学児の子育てをするときに、どんな支援があるとよい（あるとよかった）と思うかお答えください。（回答はいくつでも）
【回答者：子どもが1人以上いる者】

家庭内で未就学児の子育てをするときにあるとよいと思う支援は、「子どもを安心して遊ばせることができる施設」（57.4%）が最も高い。次いで、「短時間でも子どもを預かってもらえる支援」（46.3%）、「事前に予約していなくても子どもを預かってもらえる支援」（45.0%）と続く。

性・年代別にみると、女性30代～40代は多くの項目でほかの性・年代に比べて高く、特に女性30代で「子どもを安心して遊ばせることができる施設」（69.9%）が高い。

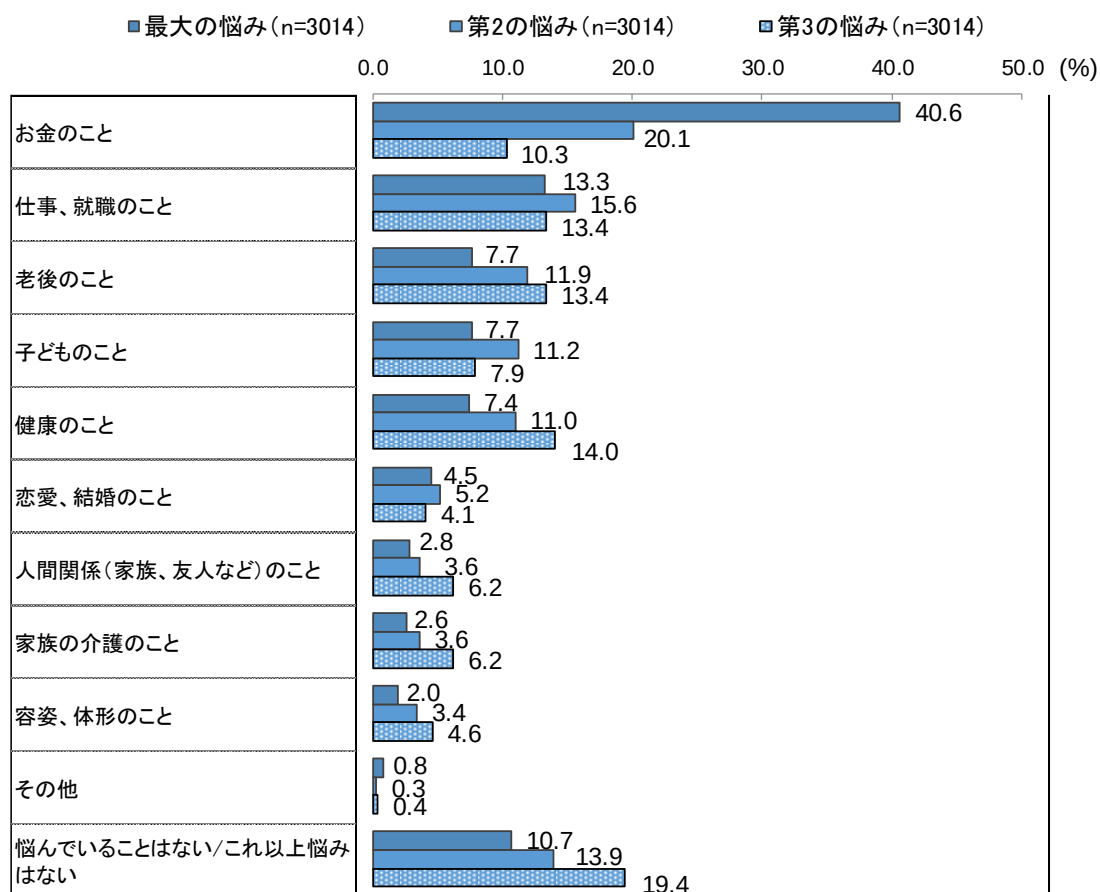


		n=	子どもを安心して遊ばせることができる施設	短時間でも子どもを預かってもらえる支援	事前に予約していなくても子どもを預かってもらえる支援	理由を問わずに子どもを預かってもらえる支援	子育てについて気軽に相談できる身近な場所	家事を代わりに行ってもらえる支援	自宅に居ながら気軽に相談できる支援（自宅訪問型等）	自宅でも子どもの世話をしてくれる支援	その他	特にない
TOTAL		1271	57.4	46.3	45.0	43.9	36.1	18.9	17.5	13.4	0.7	12.6
* 性別×年代	■男性 計	630	52.5	39.7	36.7	36.2	31.7	17.1	16.7	11.9	0.5	14.9
	10・20代	16	37.5	18.8	18.8	31.3	12.5	18.8	6.3	6.3	0.0	12.5
	30代	220	57.7	39.5	40.5	38.6	31.4	17.3	15.9	15.0	0.0	14.5
	40代	394	50.3	40.6	35.3	35.0	32.7	17.0	17.5	10.4	0.8	15.2
	■女性 計	641	62.2	52.7	53.2	51.5	40.4	20.6	18.3	14.8	0.9	10.3
	10・20代	74	40.5	39.2	39.2	40.5	28.4	17.6	14.9	9.5	1.4	20.3
	30代	239	69.9	55.6	54.0	54.4	41.8	22.2	19.2	16.7	0.8	6.7
	40代	328	61.6	53.7	55.8	51.8	42.1	20.1	18.3	14.6	0.9	10.7

(7) 悩み・不安とその解決方法

問27 現在どのようなことに悩み、不安を抱えていますか。最大の悩み、第2の悩み、第3の悩みをそれぞれお答えください。(回答はそれぞれ1つ)

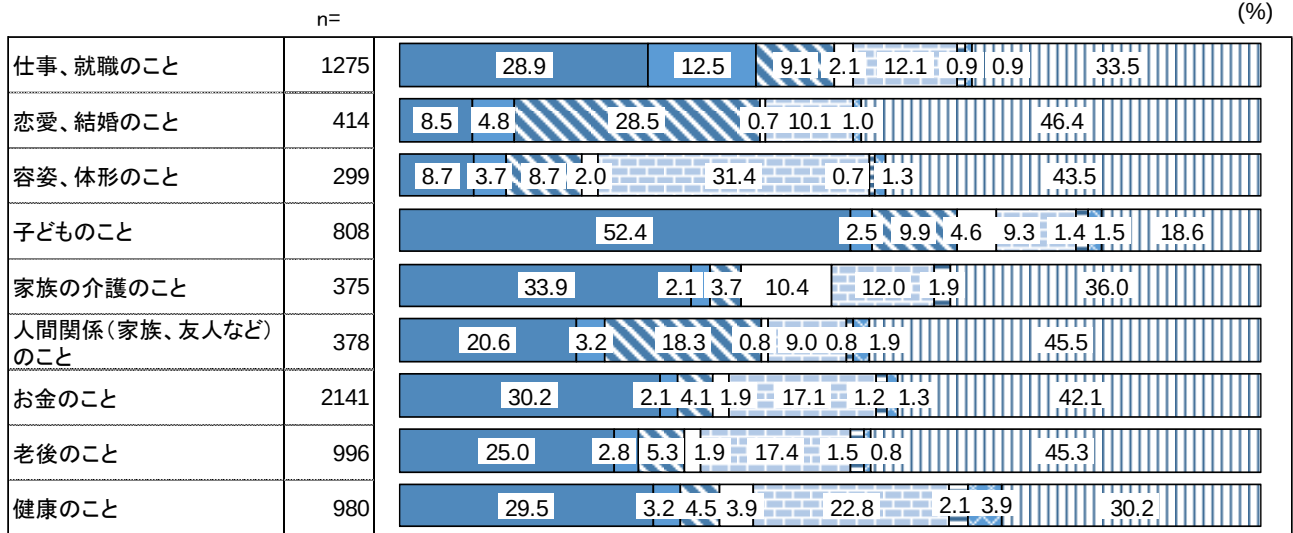
現在抱えている悩みや不安について最大のこととしては、「お金のこと」(40.6%)が最も高い。次いで、「仕事、就職のこと」(13.3%)、「老後のこと」、「子どものこと」(いずれも7.7%)と続く。



問28 不安や悩みを抱えている場合、どのような方法で解決しようとするのが最も多いですか。
前問で回答された不安・悩みごとに、それぞれお答えください。(回答はそれぞれ1つ)
【回答者：現在、悩みや不安がある者】

悩み・不安の解決方法としては、「家族に相談」は「子どものこと」(52.4%)、「家族の介護のこと」(33.9%)、「お金のこと」(30.2%)で高い。「インターネットで解決策を情報収集」は「容姿、体形のこと」(31.4%)、「健康のこと」(22.8%)で高く、「友達に相談」は「恋愛、結婚のこと」(28.5%)で高い。

- 家族に相談
- 友達に相談
- インターネットで解決策を情報収集
- その他
- 職場の人に相談
- 行政などの機関に相談
- 書籍で解決策を情報収集
- 問題の解決に向けて動かない(または動けない)ことが多い



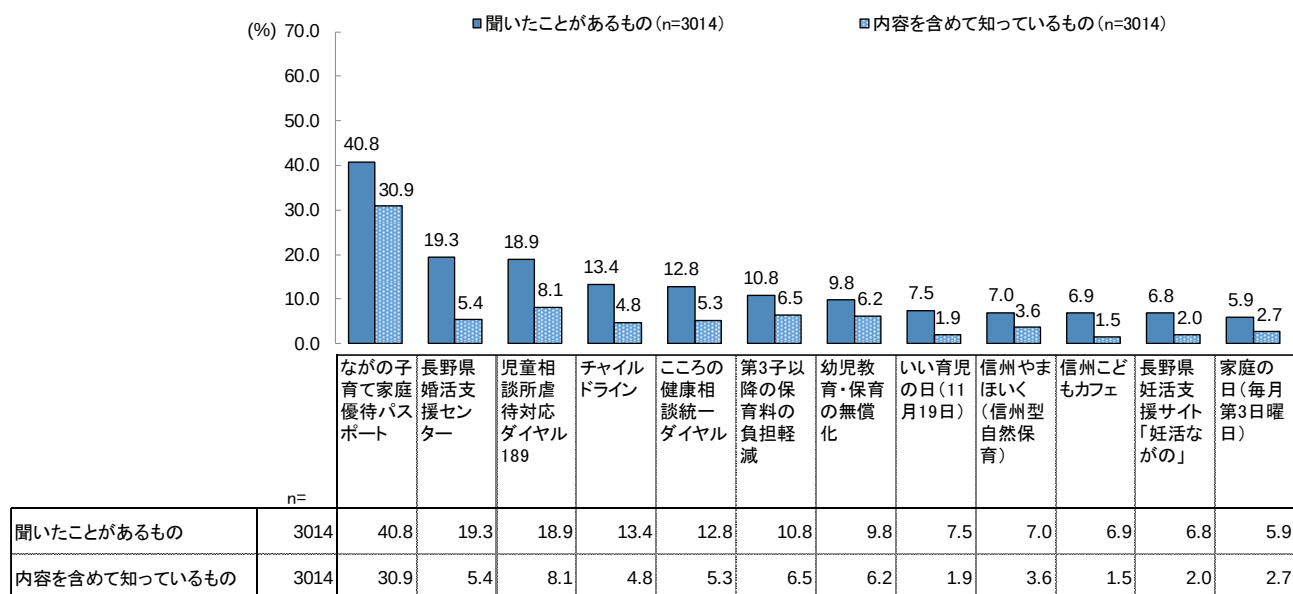
	n=	家族に相談	職場の人に相談	友達に相談	行政などの機関に相談	インターネットで解決策を情報収集	書籍で解決策を情報収集	その他	問題の解決に向けて動かない(または動けない)ことが多い
仕事、就職のこと	1275	28.9	12.5	9.1	2.1	12.1	0.9	0.9	33.5
恋愛、結婚のこと	414	8.5	4.8	28.5	0.7	10.1	0.0	1.0	46.4
容姿、体形のこと	299	8.7	3.7	8.7	2.0	31.4	0.7	1.3	43.5
子どものこと	808	52.4	2.5	9.9	4.6	9.3	1.4	1.5	18.6
家族の介護のこと	375	33.9	2.1	3.7	10.4	12.0	1.9	0.0	36.0
人間関係(家族、友人など)のこと	378	20.6	3.2	18.3	0.8	9.0	0.8	1.9	45.5
お金のこと	2141	30.2	2.1	4.1	1.9	17.1	1.2	1.3	42.1
老後のこと	996	25.0	2.8	5.3	1.9	17.4	1.5	0.8	45.3
健康のこと	980	29.5	3.2	4.5	3.9	22.8	2.1	3.9	30.2

(8) 結婚・子育て・若者支援の認知と意見・要望

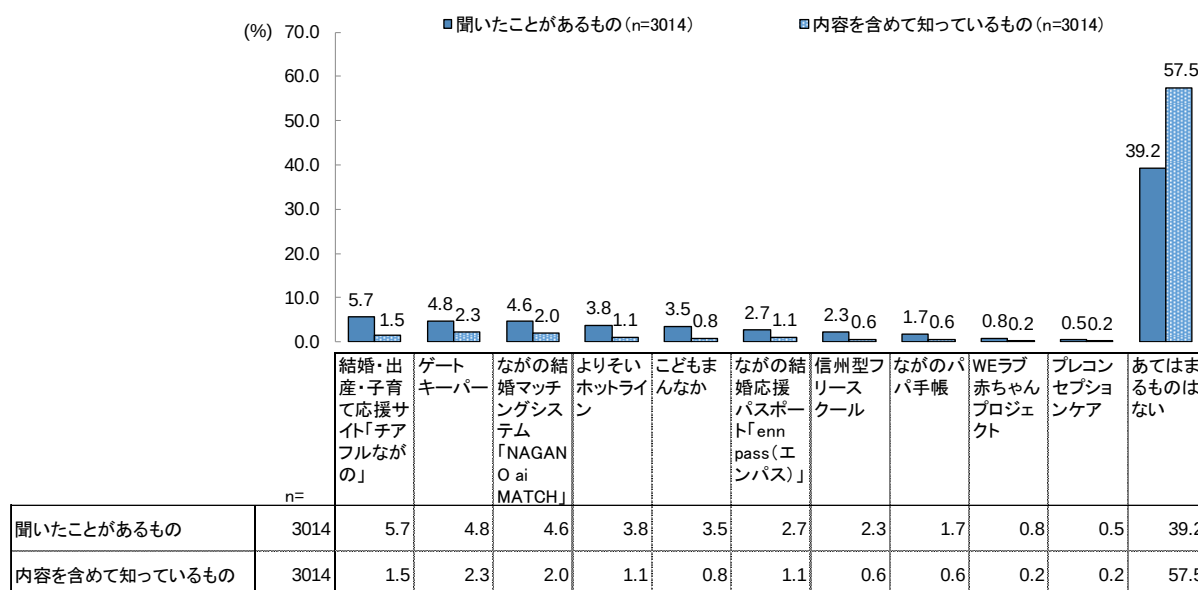
問34 次の結婚・子育て支援や若者支援の取組等のうち、あなたが聞いたことがあるもの、内容も含めて知っているものはどれですか。(回答はそれぞれいくつでも)

結婚・子育て支援や若者支援の取組のうち、聞いたことがあるものとしては、「ながの子育て家庭優待パスポート」(40.8%)が最も高い。次いで、「長野県婚活支援センター」(19.3%)、「児童相談所虐待対応ダイヤル189」(18.9%)と続く。

内容を含めて知っているものは、「ながの子育て家庭優待パスポート」(30.9%)が最も高い。



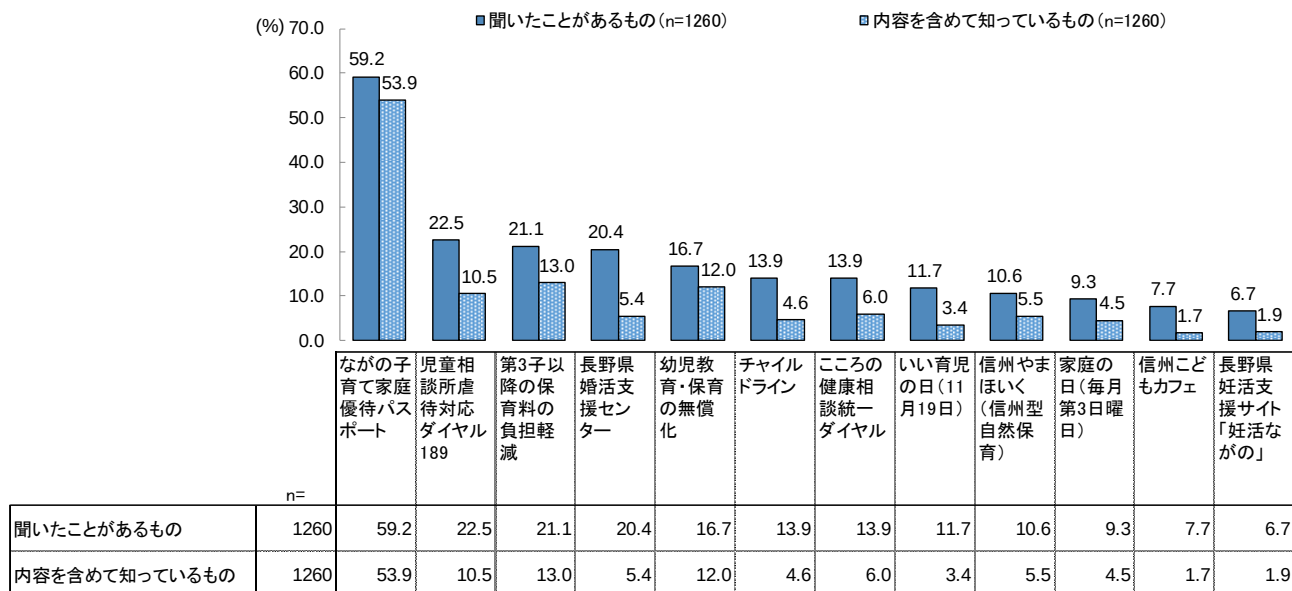
(上表のつづき)



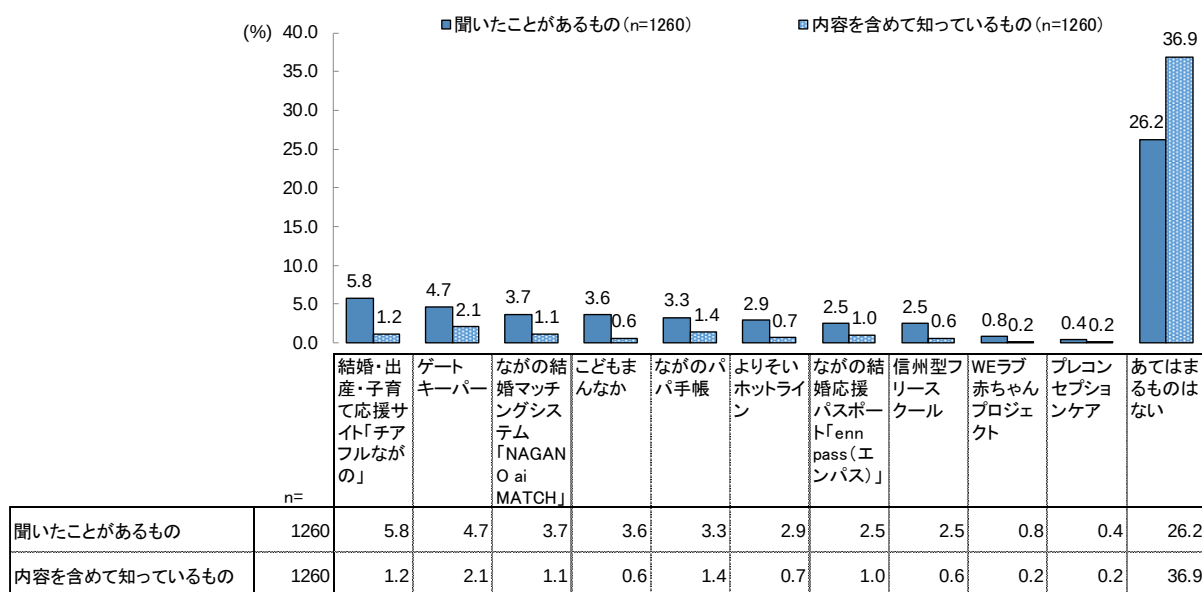
※グラフは「聞いたことがあるもの」の順でソート

既婚者・結婚経験者（離・死別者）のうち、子どもがいる者の場合、「ながの子育て家庭優待パスポート」を「聞いたことがある」は59.2%、「内容を含めて知っている」は53.9%であった。

<既婚者・結婚経験者（離・死別者）のうち、子どもがいる者の場合>



(上表のつづき)



※グラフは「聞いたことがあるもの」の順でソート

問35 結婚・子育て・若者支援に関して県への要望などがあれば、ご自由にお書きください。

結婚・子育て支援や若者支援について自由回答で聞いたところ、数多くの回答が寄せられた。本報告書では紙面の都合上すべてを掲載することはできないが、その一部を紹介することとする。掲載にあたっては、代表的・具体的な内容等を、できる限り原文に近い表記で掲載している。

【相談・情報に関すること】

- ・ 若者が結婚に前向きになれるように、結婚に成功した人の話を聞ける機会を増やしてほしいです。（男性 40 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 子どもの教育や婚活などへの制度（金銭支援）の情報を発信してほしい。（男性 10・20 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない）
- ・ 妊娠や出産の際に受け取れるお金の制度などを分かりやすく情報を発信してほしい。（女性 10・20 代、既婚者、子どもはいない）
- ・ 不妊治療による相談窓口や、不妊治療におけるお金の負担をどういう制度があって減らせるのか聞きたい。または、子供ができなかった人達でも幸せにどう暮らしているか知りたい。（女性 30 代、既婚者、子どもはいない）
- ・ 子育て中の親達が気軽に利用できるサービスをもっと周知させてほしい。（女性 40 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 養育、教育各費用に関する支援、補助等の金制度を紙の通知でも情報提供をしてほしい。紙の削減とは言いますが、必ずしも全員が情報取得に動いているわけではないので、必要なものだと思います。（男性 40 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 子育てについて相談しやすい環境がほしい。メールなどで問い合わせができる機関。すでに存在しているのであれば、もっと情報発信してほしい。特に自分のような父親に伝わるように。（男性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 子供の教育についての勉強会。（女性 10・20 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない）
- ・ 若い世代が家庭のことで相談できる場が足りていないと感じる。個人的に悩むだけ悩んで本人が病んでしまうから、もっと気軽に相談できるシステムを設けてほしい。（女性 30 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない）

【施設や設備に関すること】

- ・ 天気に左右されない、子どもの遊び場や屋内施設を充実してほしい。（女性 10・20 代、既婚者、子どもはいない）
- ・ 遊ぶ場所がない。近くの公園がなくなった。ボール遊びや自由に遊べる環境がない。もっと作ってほしい。（女性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 家の近くに公園など子どもが遊べる施設がないので、公園がどこにあるかすぐ分かるマップなどがほしい。（女性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 自分が子供の頃は近所に遊具が公園または公会堂にあったが今はない。子供の遊ぶ所広い場所が近くにあればよい。（男性 40 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 暑い日に屋内で子供が遊べる施設を充実させてほしい。使っていないときの体育館、運動施設などの開放なども。（女性 40 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 小学生以上になって遊べそうな場所が少ない。夏は酷暑で公園などでは遊ばせにくい。（女性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 産後ケア施設を作ってほしい。子供が室内でのびのび遊べる場所を作ってほしい。（女性 30 代、既婚者、子どもがいる）

- ・小児科病院が少なすぎるため患者が集中し、具合が悪い中何時間も待たなければならないのがとても辛いです。（女性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・こどもの通園通学する道路、歩道等の整備。（男性 30 代、既婚者、子どもがいる）

【結婚支援全般に関すること】

- ・女性無料で、1 人でも参加しやすい街コンをたくさん企画してほしい。そういう広告をわかりやすいところに掲示してほしい。（女性 10・20 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない）
- ・出会いの場がほしいが金銭的になかなか高く行けないので、行政の方で少し負担して頂ければそういうイベントにも行けると思います。（男性 30 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない）
- ・婚活などのイベントがあっても、県が広すぎて自動車がない人にとっては移動のハードルが高くて参加をためらってしまう。（女性 30 代、独身者・結婚意向なし、子どもはいない）
- ・地域の婚活のサポートがあったとしても、近隣の住民がサポートに当たるため、言いづらく登録しづらい。（女性 40 代、独身者・結婚意向なし、子どもがいる）
- ・結婚できる人が増えるように地方に若い女性が帰ってくれる環境を作してほしい。（男性 30 代、既婚者、子どもはいない）
- ・市区町村単位だけでなく県単位でも結婚助成金のようなものがあると嬉しいなと思います。（女性 10・20 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない）
- ・補助金の充実。結婚や移住、妊活、不妊治療など。（女性 10・20 代、既婚者、子どもはいない）
- ・ながのアイマッチを利用したことがあるが、なかなか選択肢が狭くマッチングに結び付かず、AI もうまく活用できなかったのもので、趣味嗜好から AI が判断する相手を選んでもらいたい。（女性 40 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない）

【出産支援全般に関すること】

- ・妊娠・出産に伴う医療費の補助。補助券の金額をいつもオーバーしていました。（女性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・「子供を産んだらお金がもらえる」よりも、いま現時点でお金がないとなかなか出産は難しいと思う。また無痛分娩を無料で受けられるなど、出産のサポートが必要だと思う。（女性 10・20 代、独身者・結婚意向なし、子どもはいない）
- ・出産費用や、出産後の暫くの金銭的補助があれば、子供を産みやすい環境になると思う。また会社の理解も必要になる。（男性 40 代、既婚者、子どもはいない）
- ・体外受精などの補助金の年齢制限をあげてほしい。（男性 40 代、既婚者、子どもはいない）
- ・不妊治療を無償化してほしい。一定より収入が少ない家庭に出産、育休中の収入補償があればよい。（女性 40 代、既婚者、子どもがいる）
- ・不妊治療ができる医療機関を増やしてほしい。また、出産も無痛分娩ができる医療機関を増やしてほしい。（女性 30 代、既婚者、子どもはいない）
- ・無痛分娩がどこに住んでいても選択肢に入るようにしてほしい。（女性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・そもそも産婦人科が少なすぎる。無痛分娩に力を入れて産婦人科がもっとほしい。（女性 10・20 代、既婚者、子どもはいない）
- ・産後ケアをもっと充実させてほしい。（女性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・出産への給付金をもっと充実させてほしい。出産しやすい環境、育休の取りやすい環境を作してほしい。（女性 10・20 代、既婚者、子どもはいない）
- ・育てる不安を解消する制度も重要ですが、産む方の制度の拡充もお願いしたい。不妊治療に関する負担を軽減するとよいと思う。（男性 40 代、既婚者、子どもはいない）

【若者支援全般に関すること】

- ・女性の働き先なくして若者(特に女性)の流出は防げない。女性専用の就職ガイドなど積極的に用意してほしい。(男性 40 代、既婚者、子どもがいる)
- ・20 代や 30 代の消費意欲が旺盛な世代が十分な収入を得られるような就業先の斡旋。(男性 10・20 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない)
- ・もっと収入があれば結婚出産を選択肢に入れる若者が増えると思う。賃金を上げてほしい。(女性 30 代、独身者・結婚意向なし、子どもはいない)
- ・仕事の大変さに比べて賃金が高い職種が多いため結婚や子を持つことへ抵抗がある人が多い。大多数を占める低所得者への支援が不可欠。(男性 40 代、独身者・結婚意向なし、子どもはいない)
- ・若い人が都心に出ていなくても仕事や暮らし方を自由に選択でき、様々な生き方を受け入れられる環境になってほしい。(女性 40 代、独身者・結婚意向なし、子どもはいない)
- ・医療費の無償化。大学資金の援助。正社員とパートとの賃金の格差をなくすことを県でサポートしてほしい。(女性 30 代、既婚者、子どもがいる)
- ・若者にも公営住宅が利用しやすいようにしていただきたいと思います。(男性 40 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない)

【仕事と子育ての両立支援に関すること】

- ・子育てしている女性がもっと働きやすい環境。例えば、職場復帰しやすい制度や時短勤務など盛んにした方がよいと思う。(女性 30 代、独身者・結婚意向なし、子どもはいない)
- ・子どもを自分の手で安心して育てたいので、育休や病気の子どもを看病するための休みが普通に取れるとよいと思います。県職員が積極的にそういった制度を使って啓発したり、推進している企業には補助金を出したりして進めてほしいです。(女性 30 代、既婚者、子どもがいる)
- ・託児所のある会社に補助金を出すなど、託児所のある就労場所を拡大していただけるとありがたいです。(女性 30 代、既婚者、子どもがいる)
- ・保育園で子どもが熱を出したときなどに、直ぐに病児保育に移行できる仕組みを作してほしい。安心して仕事ができるためのバックアップを充実させるべき。(男性 40 代、既婚者、子どもがいる)
- ・事前登録なしに病気の治りかけの時に子どもを預ける場所がほしい。(女性 40 代、既婚者、子どもがいる)
- ・保育所の充実。待機児童を減らしてほしい。仕事をしないと子供を保育園に入れられない、育休中に上の子が保育園に行けないのはおかしいと思う。(女性 30 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない)
- ・どんな家庭でも児童館(学童)を利用できるようにしてほしい。(女性 30 代、既婚者、子どもがいる)
- ・子ども関係で仕事を休んだ時に職場のサポート体制が充実していると休みやすい。(男性 40 代、既婚者、子どもがいる)
- ・職場で育休、産休、時短勤務の裏で代わりに働いている人たちがなかなか休みを取れなかったり、長時間勤務になったりしているため、そのような陰でサポートしている人たちに何かの恩恵があればよいと思う。(女性 40 代、既婚者、子どもはいない)

【子育て支援全般に関すること】

- ・保育園を無償化してほしい。特に未満児保育料は多額の費用がかかっており、時短勤務で職場復帰するよりも、保育園に入れず育児休業給付金を受給していた方が特であるとさえ思える。(男性 30 代、既婚者、子どもがいる)

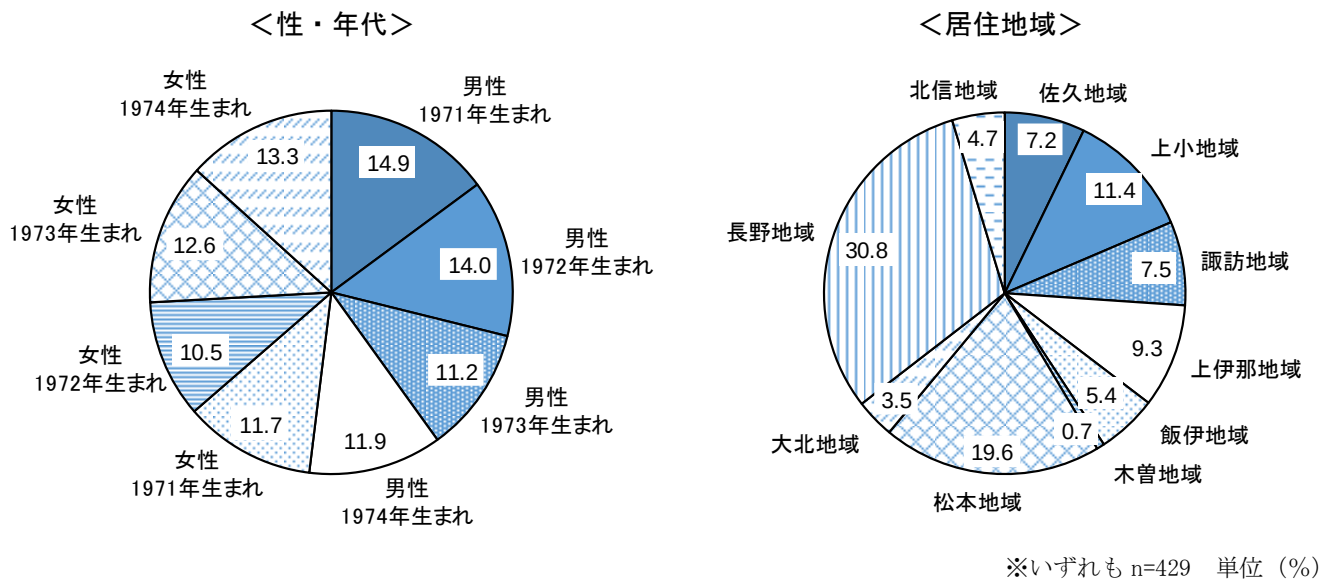
- ・ 未満児の保育料が高い。収入に応じてなのは分かるが基準を下げてほしい。高校の授業料の無償化はありがたいが、その他で結構かかるため援助がほしい。低所得者のみではなく、中間世帯にも支援してほしい。（女性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 第二子以降を出産しても 3 歳未満児が保育園を利用できるようにしてほしい。（女性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 第三子の優遇事項を早く推進してほしい。（男性 40 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 高校まで医療費をなしにしてほしい。（男性 10・20 代、既婚者、子どもはいない）
- ・ 子供の大学までの学費や給食費無料にしてほしい。（男性 40 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 1 人目から子育て世帯への経済支援を充実させてほしい。（男性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 子育て支援と言えば未就学の子供、という捉え方しかされないが、小学生中学生の子を持つ親も必死で子育てをしているので、小中学生を持つ世帯にも支援をしてほしい。（女性 40 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 近くに頼れる親等の人がいない家庭をサポートする制度を作してほしい。（男性 40 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 子育てしやすい住宅設備やサポートが充実した市町村営（県営も含む）の一戸建てやアパートなどがあるとよい。買い物代行サービスや宅配サービスなど IT 技術を駆使した地域や店舗との連携を模索しながら、子育ての負担が軽減できるサービスなどがあるとよい。（男性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 子育てパスポートを使う機会が意外と少ないので、加盟店や使える条件をもっと増やしてほしい。（男性 30 代、既婚者、子どもがいる）

【その他】

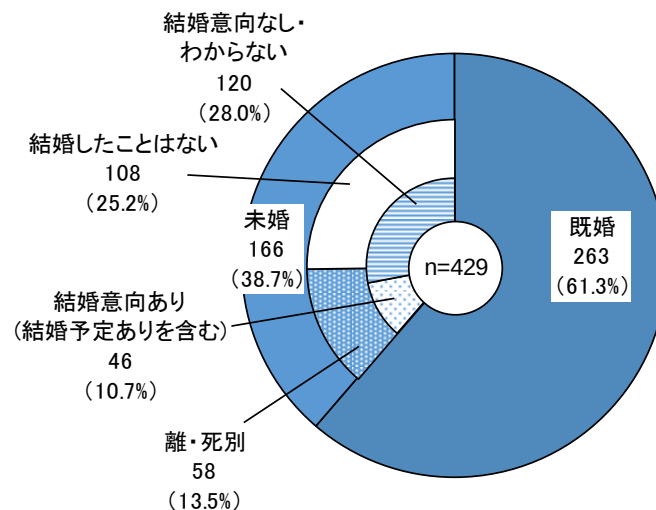
- ・ 結婚するかしないかも含めて多様性を認める社会にしてほしい。結婚して子供を産むことが当然であるという風潮を作らないでほしい。様々な事情を抱えた人があるので。（女性 30 代、独身者・結婚意向なし、子どもはいない）
- ・ 結婚はあくまでも儀式で、結婚しなくても出会いがあり、子供を安心して育てられる制度を重視してほしい。（男性 40 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない）
- ・ 子供がいない新婚夫婦にも何かメリットがあれば嬉しい。お食事券の配布など。（女性 30 代、既婚者、子どもはいない）
- ・ 子育てをしている人だけではなく、独身の若者にも何か支援をしてほしい。長野県は若者が楽しめる場所がなければ、交通機関も不便すぎて住みにくい。（女性 10・20 代、独身者・結婚意向なし、子どもはいない）
- ・ 氷河期世代への支援がもっとほしかった。就職や、結婚、出産などで取り残された気がする。（女性 40 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない）
- ・ 子供に発達障がいがあり義務教育のうちは何とかなりそうだがその先がどうしたらよいのか、相談場所などが知りたい。（女性 40 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 障がい児が生まれたときのサポート（心理的なものを含む）がもっと必要と思います。病院にだいぶサポートしてもらいましたが、特に就園前は、行政の支援は費用助成以外、ないも同然と感じました。（女性 40 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 片親でも両親が揃っていても同じ環境で学べる補助をしてほしい。（女性 40 代、独身者・結婚意向なし、子どもがいる）

Ⅱ. 第2次ベビーブーム世代に係る調査

(1) 回答者の基本属性



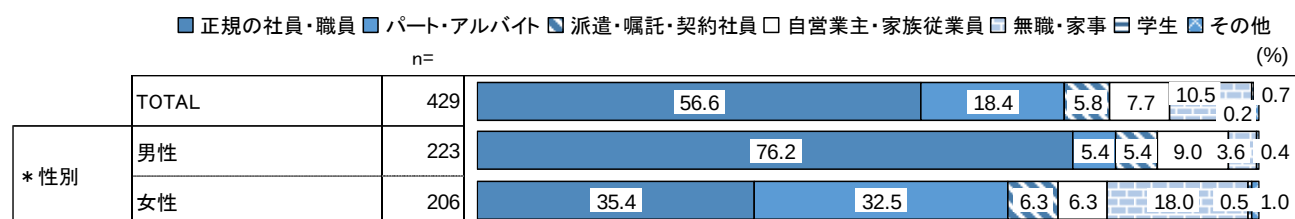
＜回答者の結婚等に対する意向・実態＞



問12 あなたのおつとめの状況をお答えください。結婚されている方（事実婚を含む）は、配偶者（パートナー）についてもお答えください。（回答はそれぞれ1つ）

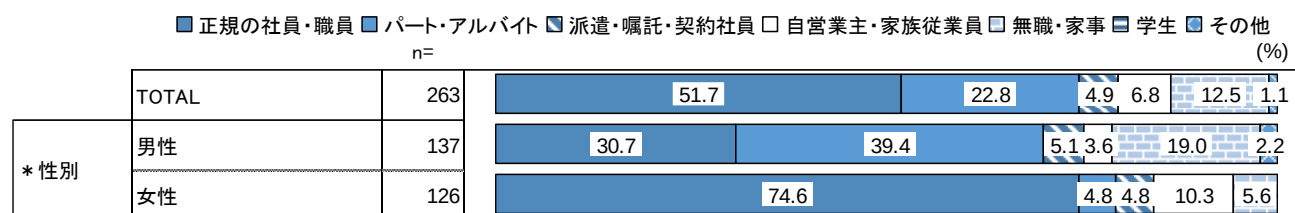
回答者自身の就労状況を性別にみると、男性は「正規の社員・職員」が76.2%、女性は「正規の社員・職員」が35.4%、「パート・アルバイト」が32.5%となっている。

○ あなた自身の状況



配偶者の就労状況を性別にみると、男性回答者の配偶者の場合、「パート・アルバイト」が39.4%、「正規の社員・職員」が30.7%となっている。女性回答者の配偶者の場合、「正規の社員・職員」が74.6%となっている。

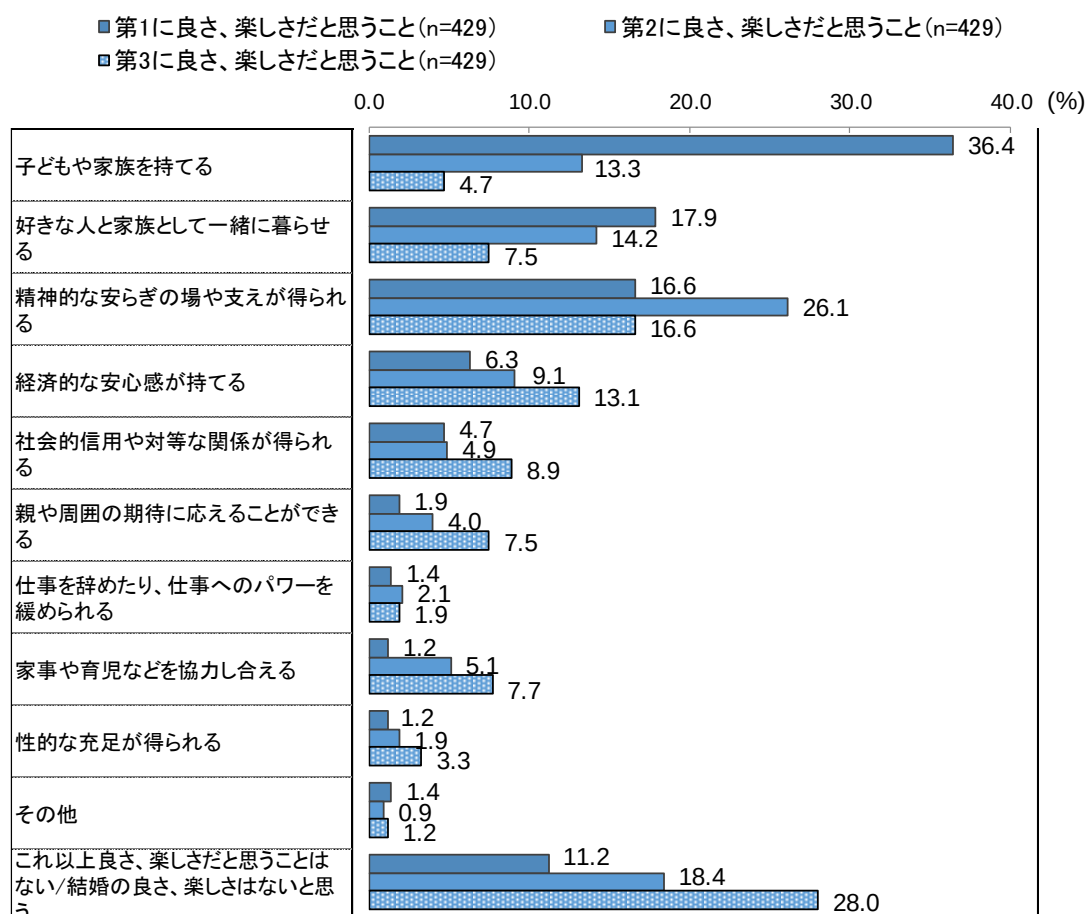
○ 配偶者の状況（既婚者のみ）



(2) 結婚に対する意識

問30_1 結婚の良さ、楽しさは何だと思いますか。あなたが思う良さ、楽しさについて、一番目から三番目までそれぞれ選択してください。(回答はそれぞれ1つ)

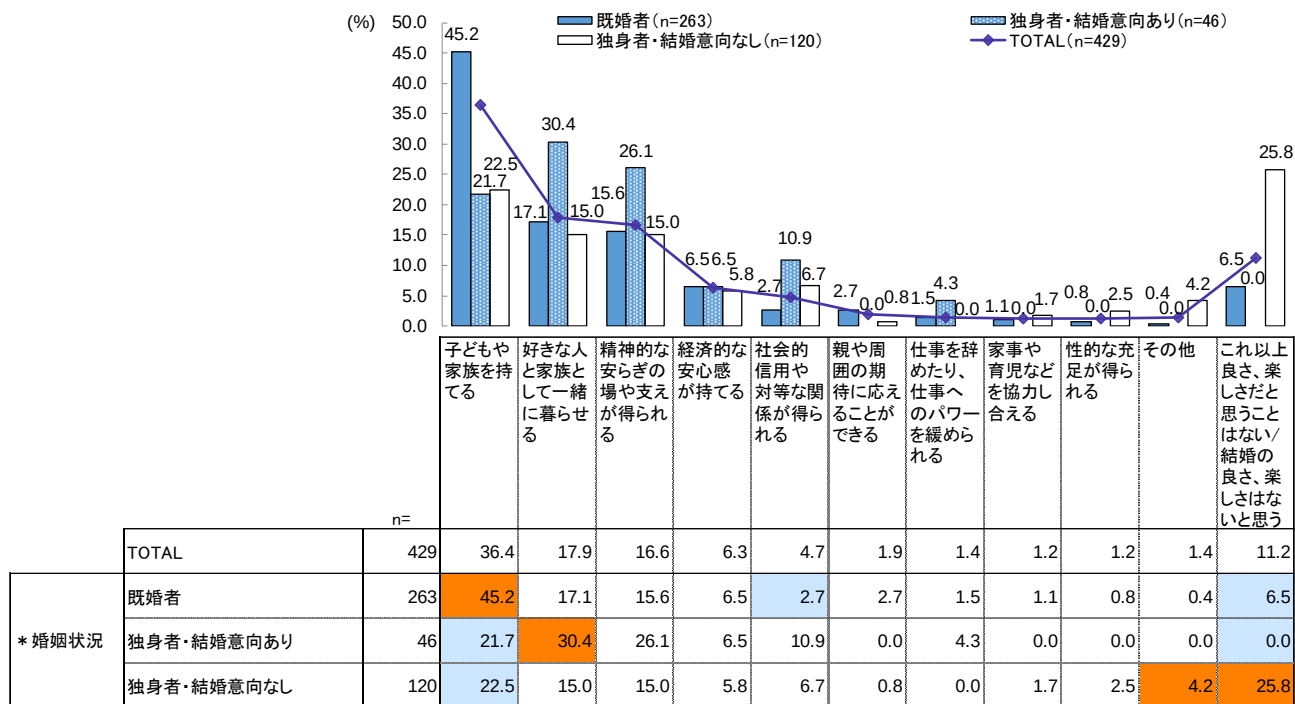
第1に結婚の良さ、楽しさだと思うこととしては、「子どもや家族を持てる」(36.4%)が最も高い。次いで、「好きな人と家族として一緒に暮らせる」(17.9%)、「精神的な安らぎの場や支えが得られる」(16.6%)と続く。



※グラフは「第1に良さ、楽しさだと思うこと」の順でソート

婚姻状況別にみると、既婚者は「子どもや家族を持てる」(45.2%)、独身者・結婚意向ありは「好きな人と家族として一緒に暮らせる」(30.4%)、独身者・結婚意向なしは「結婚の良さ、楽しさはないと思う」(25.8%)が高い。

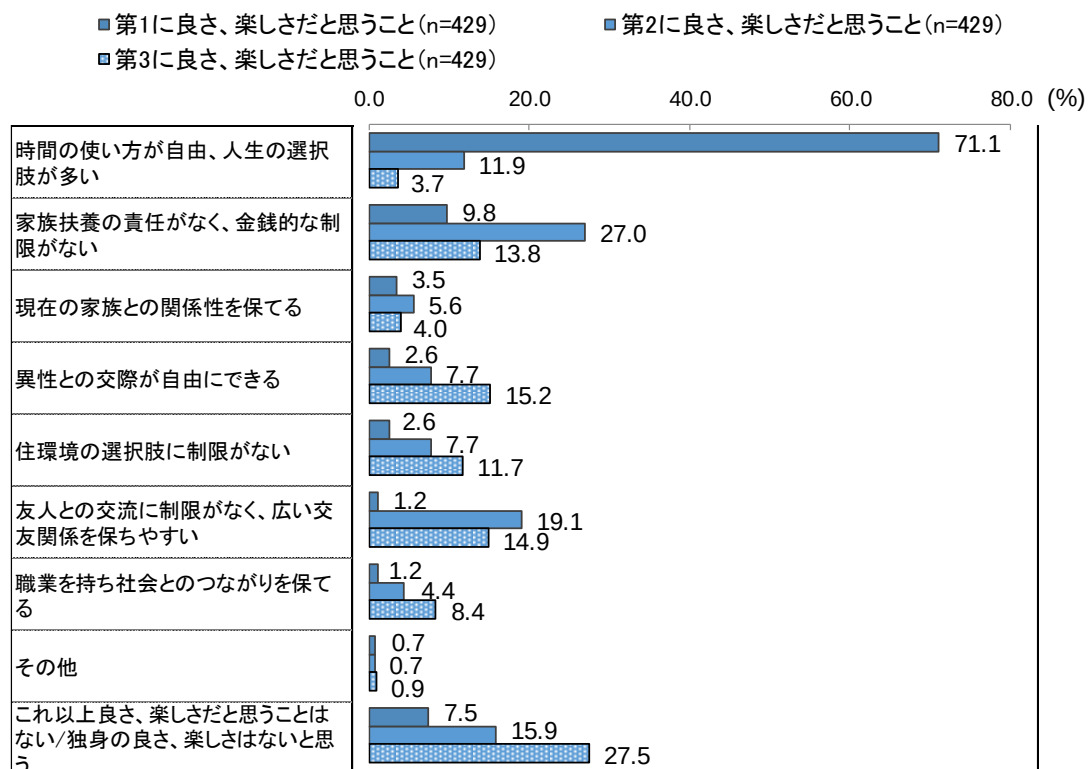
<第1に結婚の良さ、楽しさだと思うこと>



※グラフはTOTALの順でソート

問30_2 独身の良さ、楽しさは何だと思いますか。あなたが思う良さ、楽しさについて、一番目から三番目までそれぞれ選択してください。(回答はそれぞれ1つ)

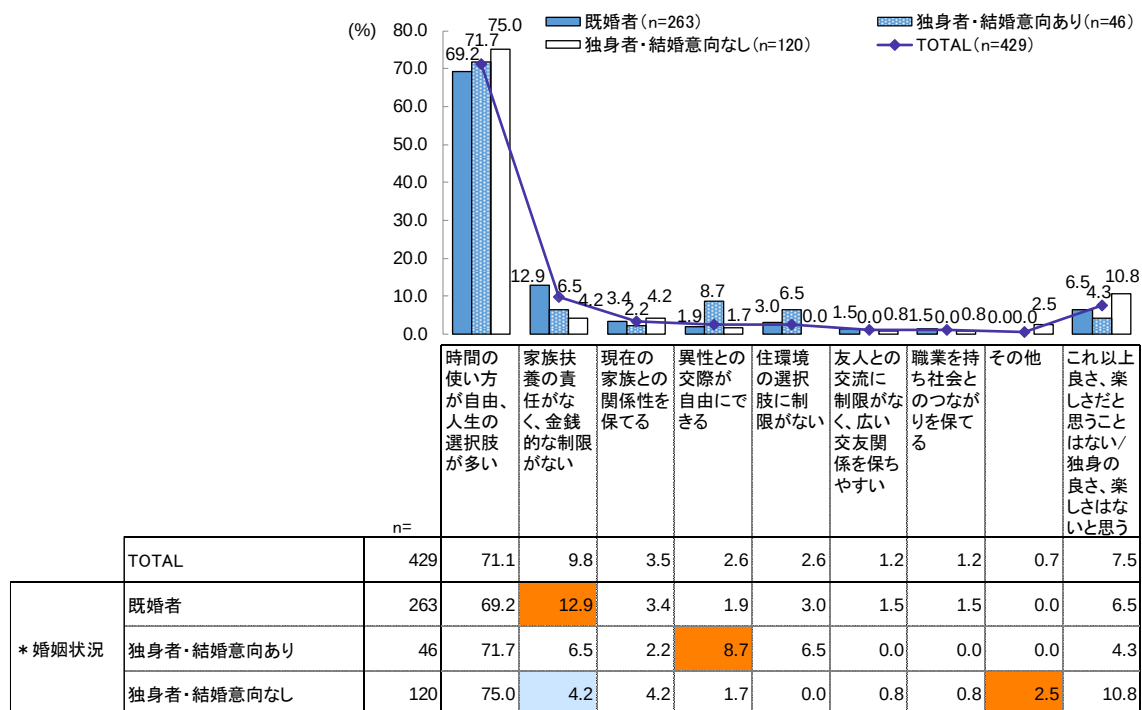
第1に独身の良さ、楽しさだと思うこととしては、「時間の使い方が自由、人生の選択肢が多い」(71.1%)が最も高い。次いで、「家族扶養の責任がなく、金銭的な制限がない」(9.8%)、「現在の家族との関係性を保てる」(3.5%)と続く。



※グラフは「第1に良さ、楽しさだと思うこと」の順でソート

婚姻状況別にみると、「家族扶養の責任がなく、金銭的な制限がない」は、既婚者では 12.9%と高く、独身者・結婚意向なしでは 4.2%と低い。また、独身者・結婚意向ありは「異性との交際が自由ができる」(8.7%) が高くなっている。

＜第 1 に独身の良さ、楽しさだと思うこと＞

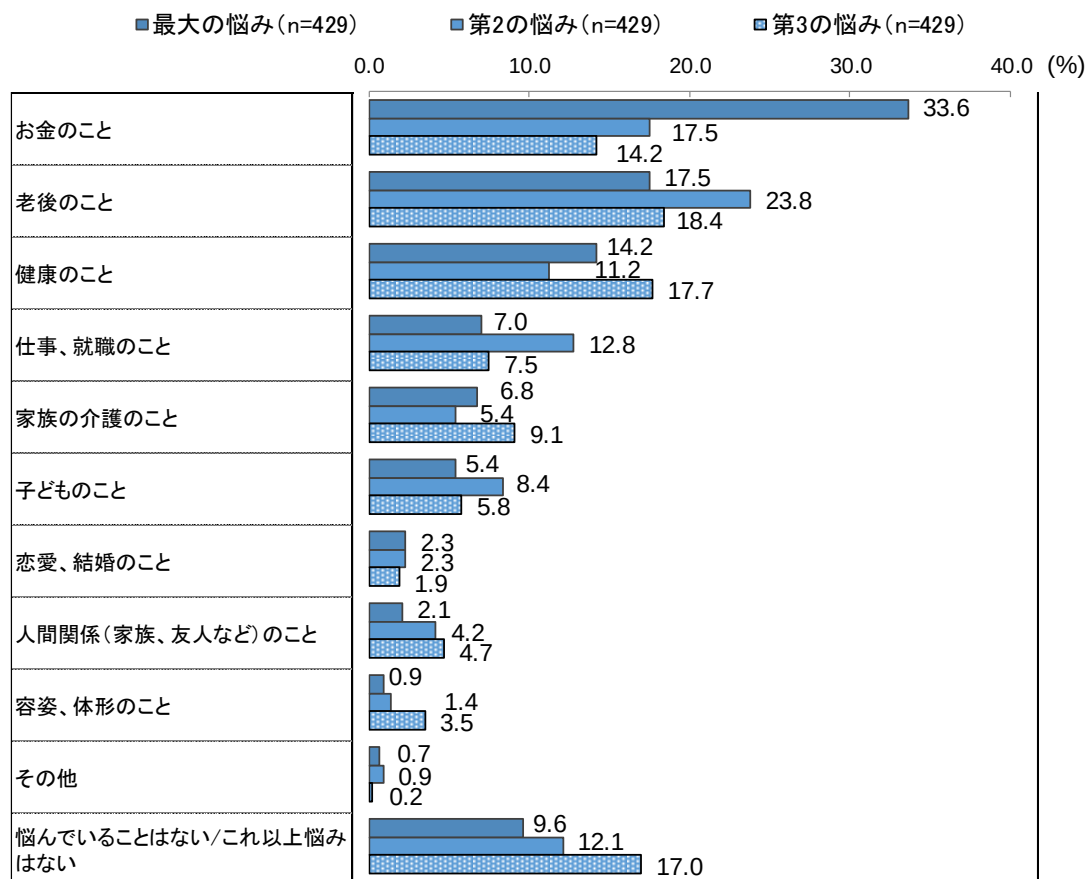


※グラフは TOTAL の順でソート

(3) 悩み・不安とその解決方法

問27 現在どのようなことに悩み、不安を抱えていますか。最大の悩み、第2の悩み、第3の悩みをそれぞれお答えください。(回答はそれぞれ1つ)

現在抱えている最大の悩みや不安なこととしては、「お金のこと」(33.6%)が最も高い。次いで、「老後のこと」(17.5%)、「健康のこと」(14.2%)と続く。

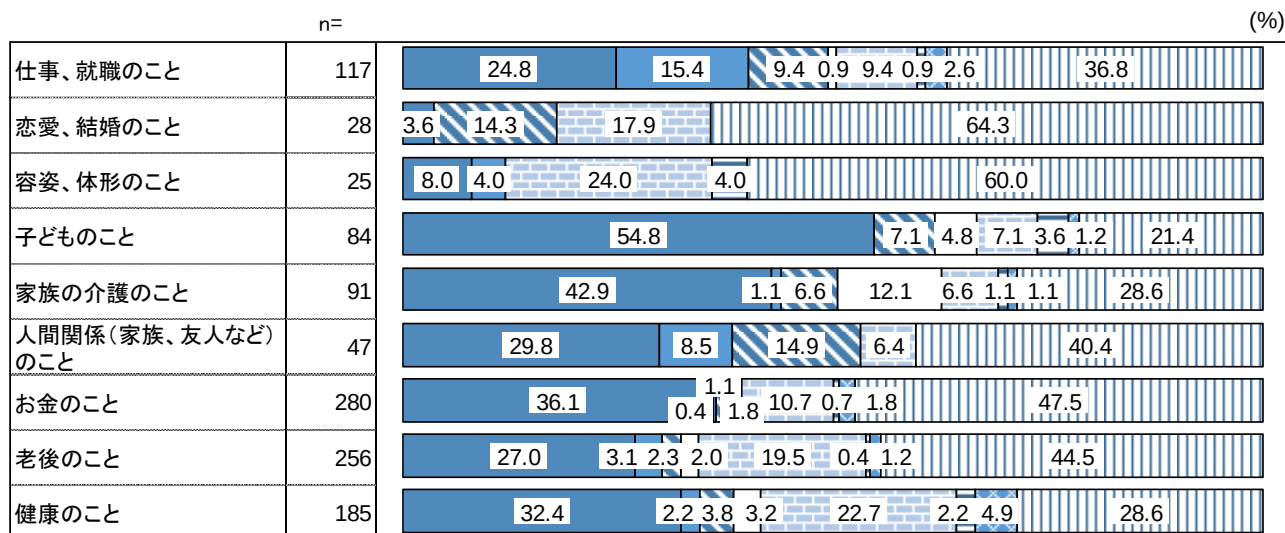


※グラフは「最大の悩み」の順でソート

問28 不安や悩みを抱えている場合、どのような方法で解決しようとするのが最も多いですか。
前問で回答された不安・悩みごとに、それぞれお答えください。(回答はそれぞれ1つ)
【回答者：現在、悩みや不安がある者】

悩み・不安の解決方法としては、「家族に相談」は「子どものこと」(54.8%)、「家族の介護のこと」(42.9%)、「お金のこと」(36.1%)で高い。「インターネットで解決策を情報収集」は「健康のこと」(22.7%)、「老後のこと」(19.5%)、「職場の人に相談」は「仕事、就職のこと」(15.4%)、「友達に相談」は「人間関係(家族、友人など)のこと」(14.9%)で高い。

- 家族に相談
- 友達に相談
- インターネットで解決策を情報収集
- その他
- 職場の人に相談
- 行政などの機関に相談
- 書籍で解決策を情報収集
- 問題の解決に向けて動かない(または動けない)ことが多い



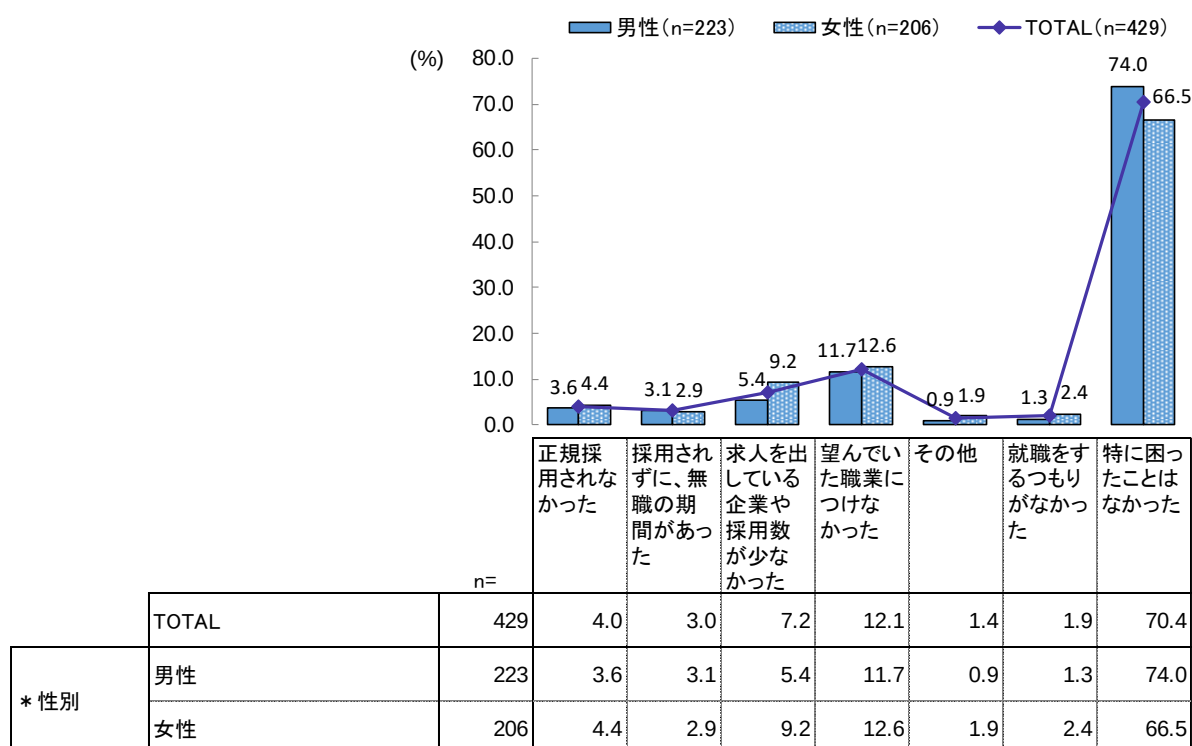
	n=	家族に相談	職場の人に相談	友達に相談	行政などの機関に相談	インターネットで解決策を情報収集	書籍で解決策を情報収集	その他	問題の解決に向けて動かない(または動けない)ことが多い
仕事、就職のこと	117	24.8	15.4	9.4	0.9	9.4	0.9	2.6	36.8
恋愛、結婚のこと	28	3.6	0.0	14.3	0.0	17.9	0.0	0.0	64.3
容姿、体形のこと	25	8.0	4.0	0.0	0.0	24.0	4.0	0.0	60.0
子どものこと	84	54.8	0.0	7.1	4.8	7.1	3.6	1.2	21.4
家族の介護のこと	91	42.9	1.1	6.6	12.1	6.6	1.1	1.1	28.6
人間関係(家族、友人など)のこと	47	29.8	8.5	14.9	0.0	6.4	0.0	0.0	40.4
お金のこと	280	36.1	0.4	1.1	1.8	10.7	0.7	1.8	47.5
老後のこと	256	27.0	3.1	2.3	2.0	19.5	0.4	1.2	44.5
健康のこと	185	32.4	2.2	3.8	3.2	22.7	2.2	4.9	28.6

(4) 過去と現在の就労に関する困りごと

問25_1 初めて就職する際に困ったことはありましたか。もっともあてはまることを1つお答えください。(回答は1つ)

初めて就職する際に困ったこととしては、「望んでいた職業につけなかった」(12.1%)が最も高い。次いで、「求人を出している企業や採用数が少なかった」(7.2%)、「正規採用されなかった」(4.0%)が続く。「特に困ったことはなかった」は70.4%であった。

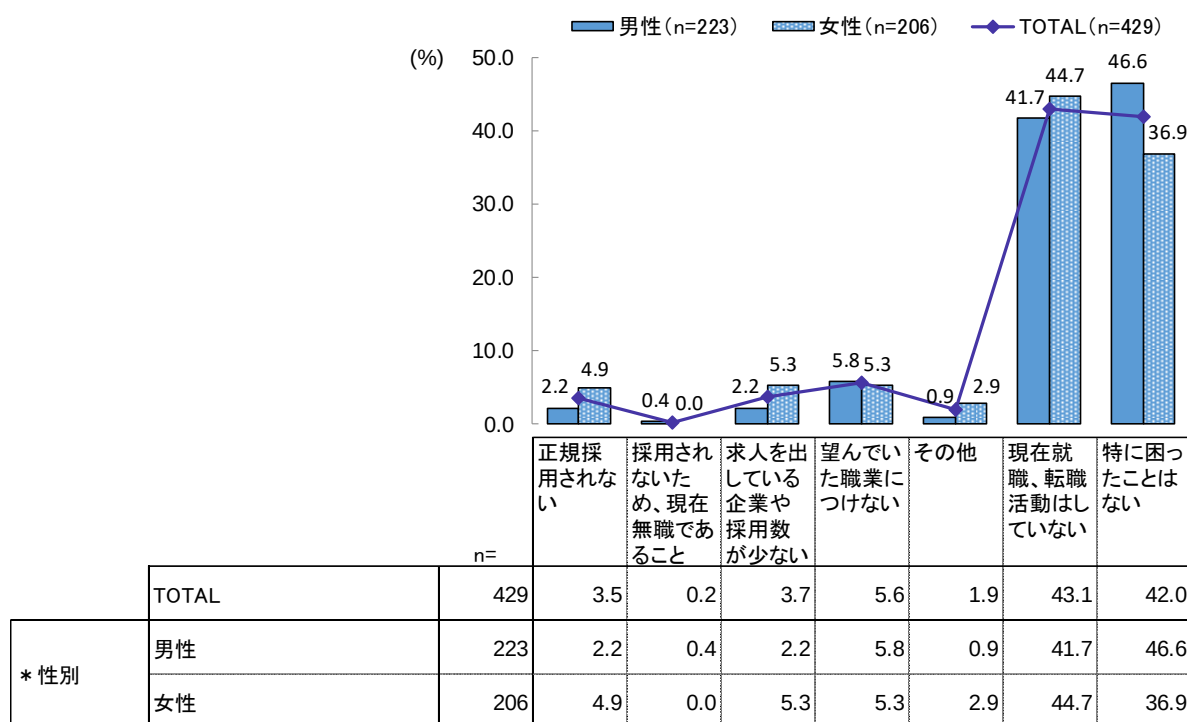
性別にみても同様の傾向がみられるが、男性では「特に困ったことはない」が74.0.%と、女性に比べて高い。



問25_2 現在就職、転職活動をしていて困っていることはありますか。もっともあてはまることを1つお答えください。(回答は1つ)

現在就職、転職活動をしていて困っていることとしては、「望んでいた職業につけない」(5.6%)が最も高い。次いで、「求人を出している企業や採用数が少ない」(3.7%)、「正規採用されない」(3.5%)が続く。「特に困ったことはない」は42.0%であった。

性別にみても同様の傾向がみられるが、男性では「特に困ったことはない」が46.6%と、女性に比べて高い。

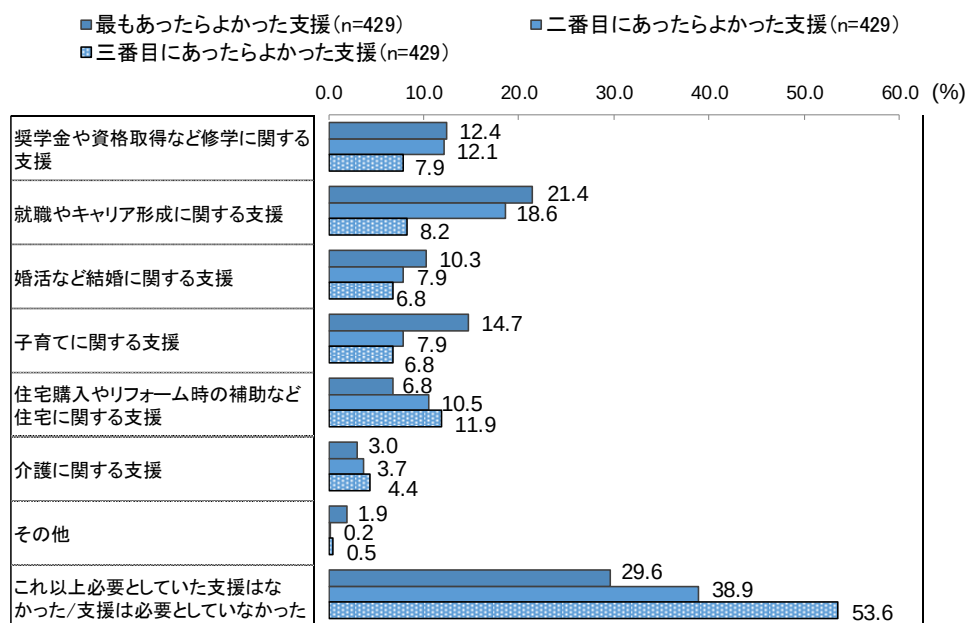


(5) 過去と現在の必要としている行政からの支援

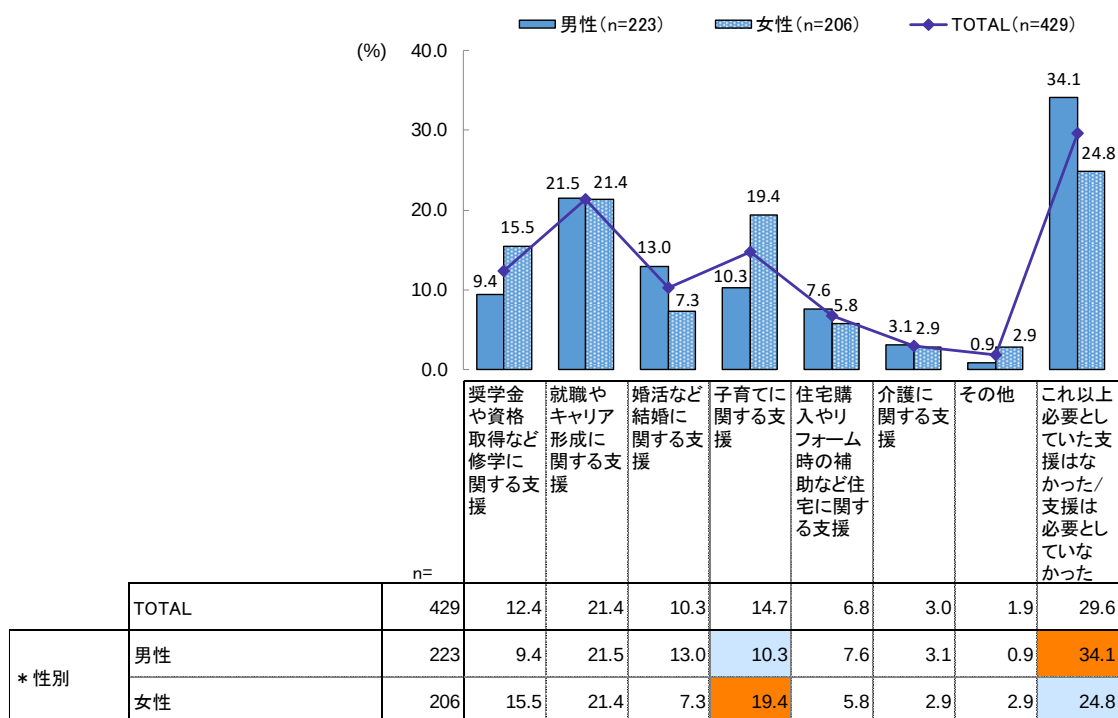
問32 ご自身が20代のうちにあったらよかったと思う行政からの支援は何ですか。(回答はそれぞれ1つ)

20代のうちに最もあったらよかったと思う行政からの支援としては、「就職やキャリア形成に関する支援」(21.4%)が最も高い。次いで、「子育てに関する支援」(14.7%)、「奨学金や資格取得など修学に関する支援」(12.4%)が続く。

性別にみると、男女ともに「就職やキャリア形成に関する支援」が高い(男性:21.5%、女性:21.4%)。また、女性では「子育てに関する支援」(19.4%)、「修学に関する支援」(15.5%)が男性に比べて高くなっている。



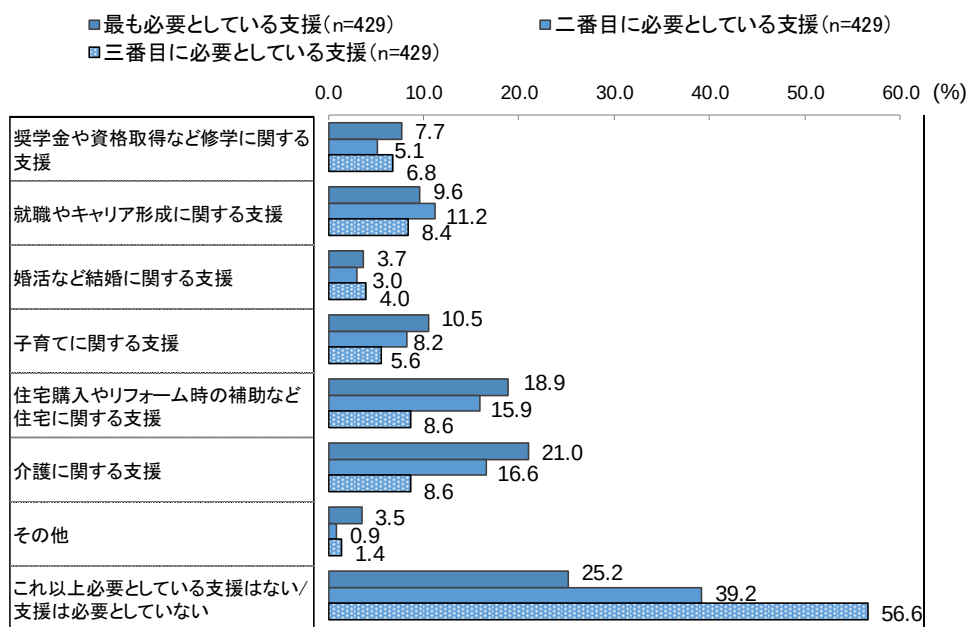
<20代のうちに最もあったらよかったと思う行政からの支援>



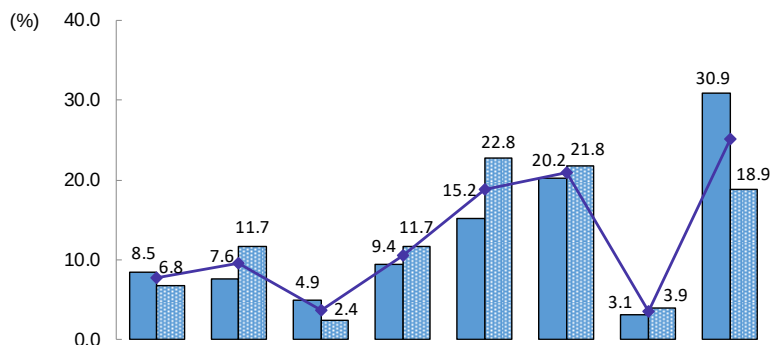
問33 現在必要としている行政からの支援は何ですか。(回答はそれぞれ1つ)

現在最も必要としている行政からの支援としては、「介護に関する支援」(21.0%)が最も高い。次いで、「住宅購入やリフォーム時の補助など住宅に関する支援」(18.9%)、「子育てに関する支援」(10.5%)が続く。

性別にみると、男女ともに「介護に関する支援」(男性：20.2%、女性：21.8%)、「住宅に関する支援」(男性：15.2%、女性：22.8%)が高い。「住宅に関する支援」は特に女性で高くなっている。



<現在、最も必要としている行政からの支援>



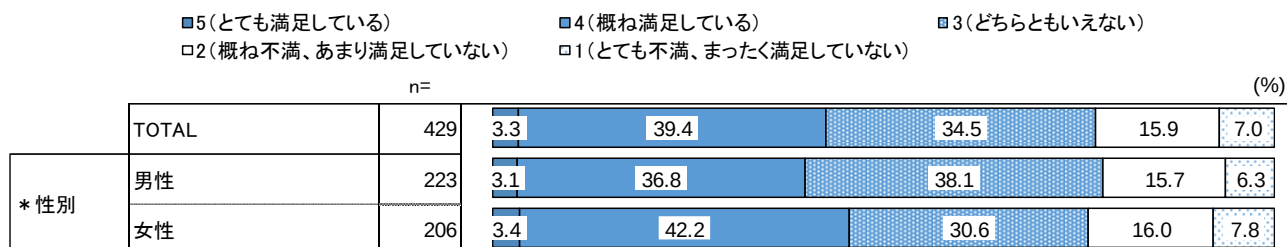
		n=	奨学金や資格取得など修学に関する支援	就職やキャリア形成に関する支援	婚活など結婚に関する支援	子育てに関する支援	住宅購入やリフォーム時の補助など住宅に関する支援	介護に関する支援	その他	これ以上必要としている支援はない/支援は必要としていない
* 性別	TOTAL	429	7.7	9.6	3.7	10.5	18.9	21.0	3.5	25.2
	男性	223	8.5	7.6	4.9	9.4	15.2	20.2	3.1	30.9
	女性	206	6.8	11.7	2.4	11.7	22.8	21.8	3.9	18.9

(6) 現在の幸福度、満足度

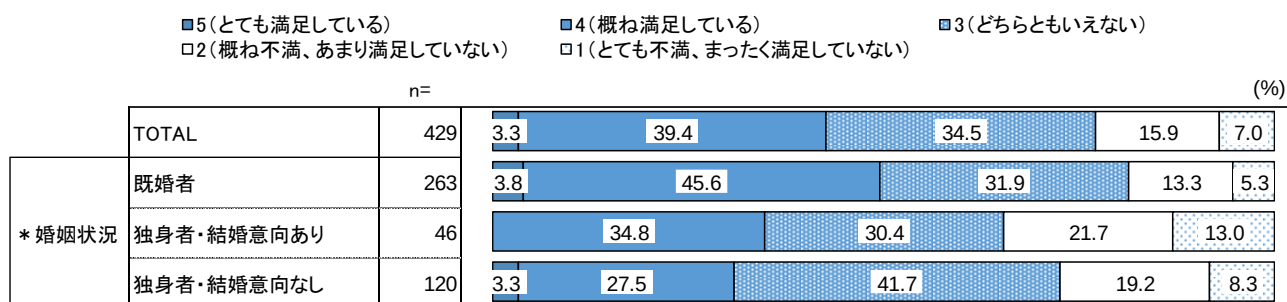
問26 現在の生活の幸福度、満足度を5段階評価で教えてください。(回答は1つ)

現在の生活の幸福度、満足度については、「満足している」(「5(とても満足している)」+「4(概ね満足している)」)は42.7%となっている。

性別にみると、「満足している」は男性39.9%、女性45.6%と女性の方が高くなっている。



婚姻状況別にみると、「満足している」は既婚者49.4%、独身者・結婚意向あり34.8%、独身者・結婚意向なし30.8%となっており、既婚者の幸福度・満足度が高くなっている。



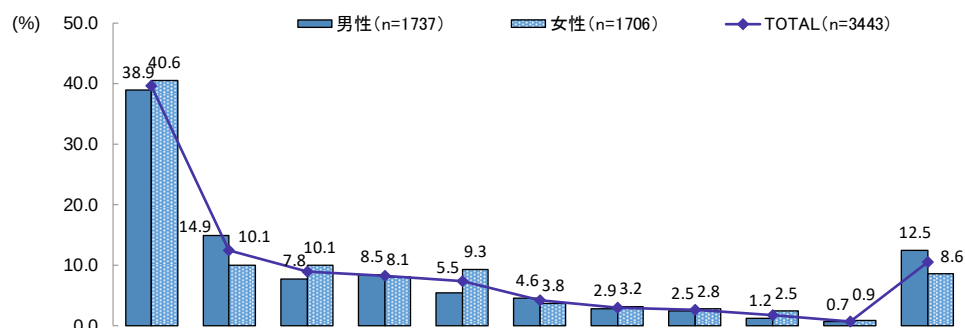
Ⅲ. 調査間の比較

(1) 悩み・不安なこと

問27 現在どのようなことに悩み、不安を抱えていますか。最大の悩み、第2の悩み、第3の悩みをそれぞれお答えください。(回答はそれぞれ1つ)

現在抱えている最大の悩みや不安について、性・年代別にみると、男女ともに、10・20代では「仕事、就職のこと」(男性:21.0%、女性:16.9%)、第2次ベビーブーム世代では「老後のこと」(男性:15.7%、女性19.4%)、「健康のこと」(男性:13.5%、女性15.0%)が他の年代に比べ高い。また、女性10代～30代では「お金のこと」(10・20代:44.6%、30代:45.2%)が高い。

<最大の悩みや不安>



		n=											い
TOTAL		3443	39.7	12.5	8.9	8.3	7.4	4.2	3.1	2.7	1.8	0.8	10.6
* 性別 × 年代 (4区分)	■男性 計	1737	38.9	14.9	7.8	8.5	5.5	4.6	2.9	2.5	1.2	0.7	12.5
	10・20代	176	38.1	21.0	1.1	6.8	2.3	9.1	0.0	3.4	1.7	1.1	15.3
	30代	516	43.2	14.9	3.3	7.6	6.2	7.0	1.4	2.5	1.4	0.6	12.0
	40代	846	36.8	14.4	10.2	8.5	6.6	2.7	3.8	2.5	1.2	0.8	12.5
	第2次ベビーブーム世代	223	35.0	11.2	15.7	13.5	2.2	2.7	5.8	2.2	0.4	0.0	11.2
	■女性 計	1706	40.6	10.1	10.1	8.1	9.3	3.8	3.2	2.8	2.5	0.9	8.6
	10・20代	419	44.6	16.9	1.9	5.3	4.3	6.4	1.0	3.6	3.8	1.0	11.2
	30代	500	45.2	10.4	7.8	6.6	10.6	5.2	1.6	2.2	2.4	1.0	7.0
	40代	604	36.3	7.6	14.4	9.3	12.3	1.3	5.0	3.0	2.0	0.7	8.3
	第2次ベビーブーム世代	206	32.0	2.4	19.4	15.0	8.7	1.9	7.8	1.9	1.5	1.5	7.8

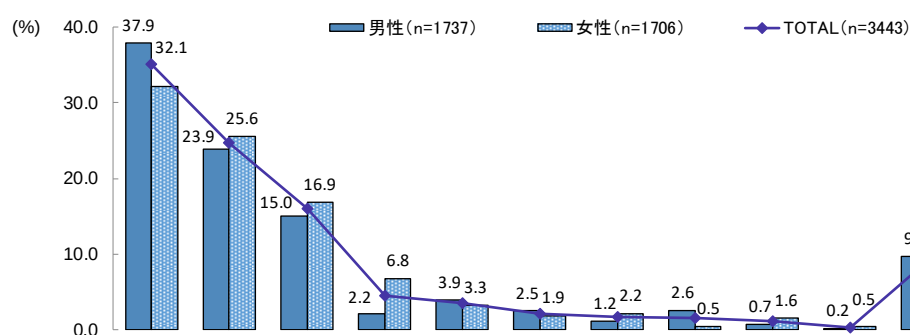
※グラフはTOTALの順でソート

(2) 結婚に対する意識

問30_1 結婚の良さ、楽しさは何だと思いますか。あなたが思う良さ、楽しさについて、一番目から三番目までそれぞれ選択してください。(回答はそれぞれ1つ)

第1に結婚の良さ、楽しさだと思うことについて、性・年代別にみると、男性40代では「子どもや家族を持てる」(40.9%)、女性40代では「精神的な安らぎの場や支えが得られる」(20.5%)が高くなっている。また、男性10・20代と女性10代～30代では「好きな人と家族として一緒に暮らせる」がそれぞれ高い(男性10・20代:33.0%、女性10・20代:34.8%、女性30代:28.8%)。「経済的な安心感が持てる」は女性で高く、特に第2次ベビーブーム世代では10.2%と高い。

<第1に良さ、楽しさだと思うこと>

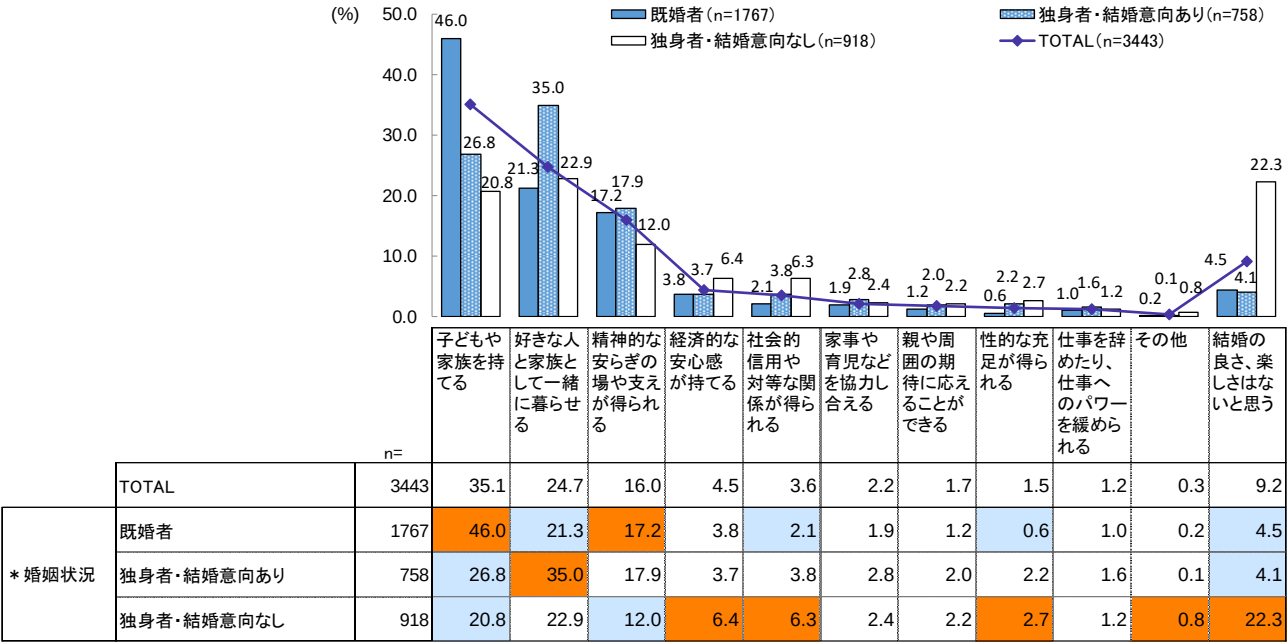


		n=	子どもや家族を持てる	好きな人と家族として一緒に暮らせる	精神的な安らぎの場や支えが得られる	経済的な安心感が持てる	社会的信用や対等な関係が得られる	家事や育児などを協力し合える	親や周囲の期待に応えることができる	性的な充足が得られる	仕事を辞めたり、仕事へのパワーを緩められる	その他	結婚の良さ、楽しさはないと思う
TOTAL		3443	35.1	24.7	16.0	4.5	3.6	2.2	1.7	1.5	1.2	0.3	9.2
* 性別×年代(4区分)	■男性 計	1737	37.9	23.9	15.0	2.2	3.9	2.5	1.2	2.6	0.7	0.2	9.7
	10・20代	176	26.7	33.0	10.2	3.4	6.8	4.0	0.0	2.8	1.7	0.0	11.4
	30代	516	35.9	25.4	16.9	2.1	4.1	3.1	1.0	1.9	0.4	0.0	9.3
	40代	846	40.9	22.6	14.9	1.9	3.0	2.1	1.5	3.0	0.8	0.2	9.1
	第2次ベビーブーム世代	223	40.4	17.9	16.1	2.7	5.4	1.3	0.9	2.2	0.4	0.4	12.1
	■女性 計	1706	32.1	25.6	16.9	6.8	3.3	1.9	2.2	0.5	1.6	0.5	8.6
	10・20代	419	24.6	34.8	13.1	4.3	2.4	3.6	1.9	0.7	1.0	0.2	13.4
	30代	500	30.8	28.8	16.6	6.4	4.2	1.8	2.6	0.6	1.6	0.0	6.6
	40代	604	38.2	18.4	20.5	7.8	2.8	1.0	1.7	0.3	2.0	0.5	6.8
	第2次ベビーブーム世代	206	32.0	18.0	17.0	10.2	3.9	1.0	2.9	0.0	2.4	2.4	10.2

※グラフはTOTALの順でソート

婚姻状況別にみると、既婚者は「子どもや家族を持てる」(46.0%)と「精神的な安らぎの場や支えが得られる」(17.2%)、独身者・結婚意向ありは「好きな人と家族として一緒に暮らせる」(35.0%)、独身者・結婚意向なしは「結婚の良さ、楽しさはないと思う」(22.3%)が高い。

＜第1に良さ、楽しさだと思うこと＞

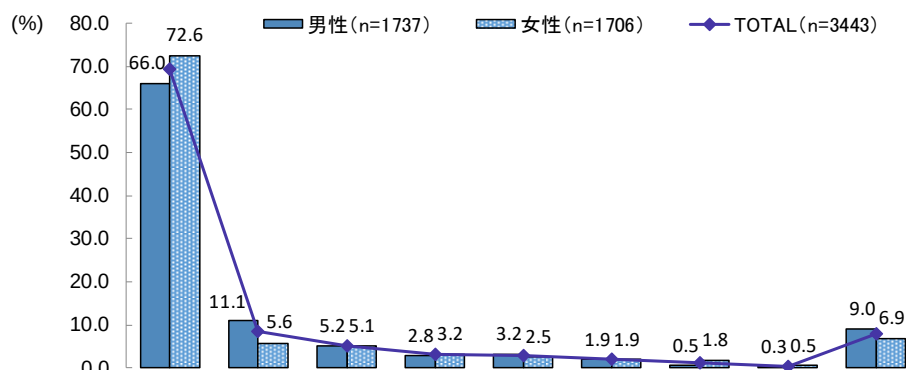


※グラフはTOTAL の順でソート

問30_2 独身の良さ、楽しさは何だと思いますか。あなたが思う良さ、楽しさについて、一番目から三番目までそれぞれ選択してください。(回答はそれぞれ1つ)

第1に独身の良さ、楽しさだと思うことについて、性・年代別にみると、女性40代では「時間の使い方が自由、人生の選択肢が多い」(78.8%)、男性40代では「家族扶養の責任がなく、金銭的な制限がない」(12.2%)が高い。

＜第1に良さ、楽しさだと思うこと＞

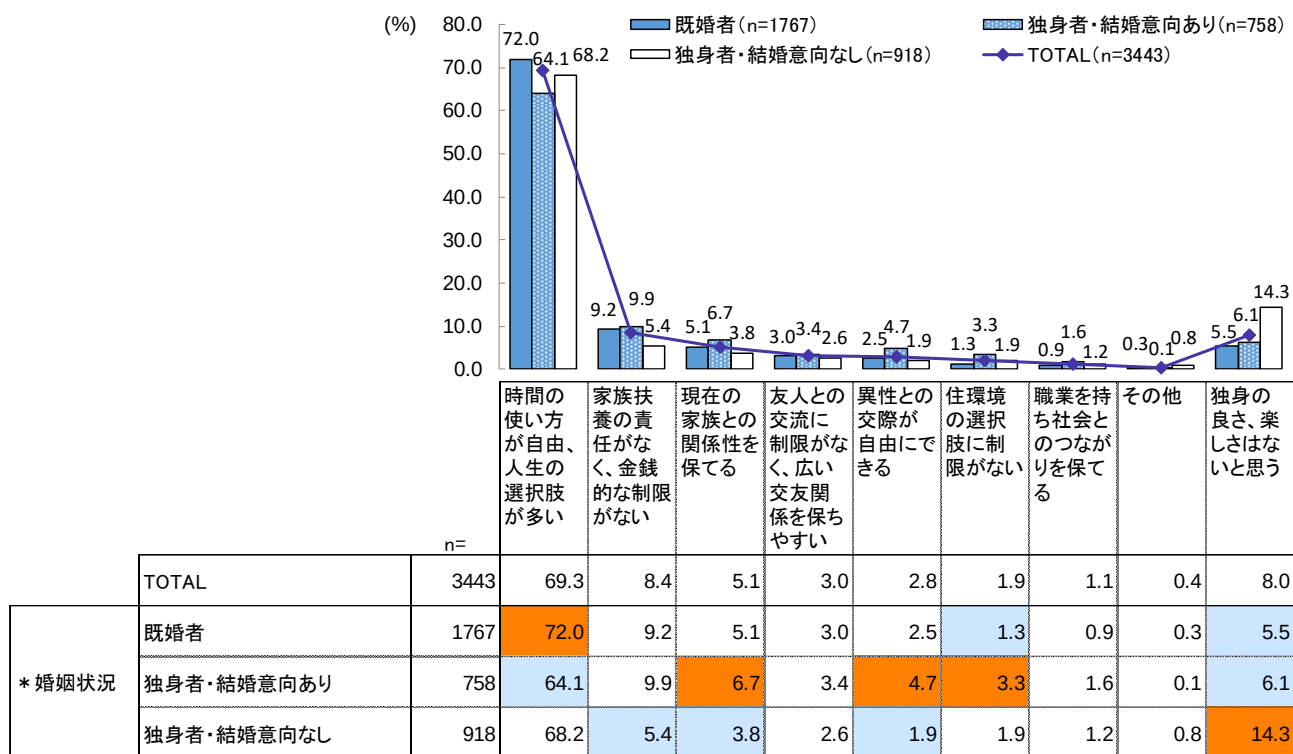


n=			時間の 使い方が自由、 人生の 選択肢が多い	家族扶 養の責 任がなく、金銭 的な制限 がない	現在の 家族との 関係性を 保てる	友人との 交流に 制限がなく、広い 交友関係を保ち やすい	異性との 交際が 自由にで きる	住環境 の選択 肢に制 限がない	職業を持 ち社会と のつなが りを保て る	その他	独身の 良さ、楽 しさはないと思う	
TOTAL			3443	69.3	8.4	5.1	3.0	2.8	1.9	1.1	0.4	8.0
* 性別×年代(4区分)	■男性 計		1737	66.0	11.1	5.2	2.8	3.2	1.9	0.5	0.3	9.0
	10・20代		176	59.7	8.0	6.8	4.5	4.5	3.4	1.7	0.0	11.4
	30代		516	70.2	10.5	5.2	2.7	1.4	1.9	0.4	0.0	7.8
	40代		846	64.5	12.2	5.4	2.8	3.8	1.3	0.4	0.6	9.0
	第2次ベビーブーム世代		223	69.1	10.8	2.2	0.9	4.0	2.7	0.4	0.0	9.9
	■女性 計		1706	72.6	5.6	5.1	3.2	2.5	1.9	1.8	0.5	6.9
	10・20代		419	62.8	5.5	4.5	5.5	3.8	3.8	2.1	0.5	11.5
	30代		500	72.8	5.6	6.0	4.0	2.8	0.8	2.0	0.2	5.8
	40代		604	78.8	4.5	5.1	1.7	2.0	1.2	1.2	0.3	5.3
	第2次ベビーブーム世代		206	73.3	8.7	4.9	1.5	1.0	2.4	1.9	1.5	4.9

※グラフはTOTALの順でソート

婚姻状況別にみると、既婚者は「時間の使い方が自由、人生の選択肢が多い」(72.0%)、独身者・結婚意向ありは「現在の家族との関係性を保てる」(6.7%)、独身者・結婚意向なしは「独身の良さ、楽しさはないと思う」(14.3%)が高い。

<第1に良さ、楽しさだと思うこと>



※グラフはTOTALの順でソート

附属資料

I. 調査項目一覧

設問番号	調査項目	I. 長野県民の結婚・出産・子育てに関する意識調査	II. 第2次ベビーブーム世代に係る調査
問1	性別	○	○
問2	年齢	○	○
問3	居住地域	○	○
問4	現在の婚姻状況	○	○
問5	結婚意向	○	○
問6	結婚を考えたときに気になること	○	
問7	独身でいる理由	○	
問8	適当な相手にめぐり会わない理由	○	
問9	「婚活」として行っていること、今後行いたいこと	○	
問10	「婚活」を行っていない理由	○	
問11	夫婦が知り合ったきっかけ	○	
問12	就労状況	○	○
問13	子どもの人数（現在・理想・予定）	○	
問14	持つつもりの子どもの数が理想の子どもの数よりも少ない理由	○	
問15	2人、3人と出産・育てていくために必要だと思うこと	○	
問16	子どもを希望しない理由	○	
問17	1人目の子どもを出産したときの女親の仕事の状況	○	
問18	仕事を辞めた理由	○	
問19	理想とする育児と仕事のバランス	○	
問20	円満な家庭生活を送るうえで優先する労働条件	○	
問21	親との同居／別居	○	
問22	親からの子育ての手助けの状況	○	
問23	利用した制度・施設	○	
問24	家庭内で未就学児の子育て時にあるとよい支援	○	
問25_1	初めて就職する際に困ったこと		○
問25_2	就職、転職活動をしていて困っていること		○
問26	現在の生活の幸福度、満足度		○
問27	悩み・不安なこと	○	○
問28	悩み・不安の解決方法	○	○
問29	結婚と幸せの関係についてのイメージ	○	
問30_1	結婚の良さ、楽しさ	○	○
問30_2	独身の良さ、楽しさ	○	○
問31	結婚についての考え方	○	
問32	20代のうちにあったらよかったと思う行政からの支援		○
問33	現在必要としている行政からの支援		○
問34	結婚・子育て・若者支援の認知	○	
問35	結婚・子育て・若者支援に関する県への意見・要望	○	

Ⅱ. 調査票

本調査

長野県民の結婚・出産・子育てに関するアンケート

このアンケートは、以前のアンケートで長野県にお住まいとご回答された方を対象にお送りしています。

このアンケートには、結婚・出産・子育ての状況や考えをうかがう内容が含まれています。長野県にお住まいの皆様のご意見をおうかがいし、今後の事業に役立てることを目的として行うものです。アンケートの回答はすべて個人が特定できないように処理をしたうえで使用させていただきます。

趣旨をご理解のうえ、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

アンケートであなたご自身やあなたのご家族についておうかがいする場合があります。

7月1日時点の状況でお答えください。

共通パート

問1 あなたの戸籍上の性別をお答えください。(回答は1つ)

1 男性

2 女性

問2 あなたの年齢をお答えください。

歳

問3 あなたがお住まいの地域をお答えください。(回答は1つ)

- | | | |
|----|---------|---|
| 1 | <佐久地域> | 小諸市、佐久市、小海町、佐久穂町、川上村、南牧村、南相木村、北相木村、軽井沢町、御代田町、立科町 |
| 2 | <上小地域> | 上田市、東御市、長和町、青木村 |
| 3 | <諏訪地域> | 岡谷市、諏訪市、茅野市、下諏訪町、富士見町、原村 |
| 4 | <上伊那地域> | 伊那市、駒ヶ根市、辰野町、箕輪町、飯島町、南箕輪村、中川村、宮田村 |
| 5 | <飯伊地域> | 飯田市、松川町、高森町、阿南町、阿智村、平谷村、根羽村、下條村、売木村、天龍村、泰阜村、喬木村、豊丘村、大鹿村 |
| 6 | <木曽地域> | 上松町、南木曽町、木曽町、木祖村、王滝村、大桑村 |
| 7 | <松本地域> | 松本市、塩尻市、安曇野市、麻績村、生坂村、山形村、朝日村、筑北村 |
| 8 | <大北地域> | 大町市、池田町、松川村、白馬村、小谷村 |
| 9 | <長野地域> | 長野市、須坂市、千曲市、坂城町、小布施町、高山村、信濃町、飯綱町、小川村 |
| 10 | <北信地域> | 中野市、飯山市、山ノ内町、木島平村、野沢温泉村、栄村 |
| 11 | この中にはない | |

問4 あなたの現在の婚姻状況をお答えください。(回答は1つ)

1 現在、結婚（事実婚を含む）している

3 結婚したことはない

2 結婚していたが、現在は離・死別した

独身者パート <問4で2、3と回答した人に>

【ここからは「独身の方」に、結婚や現在の生活などについてうかがいます。】

問5 結婚について、あなたのお気持ちに最も近いものをお答えください。(回答は1つ)

- | | | | |
|---|--------------|---|------------|
| 1 | すでに結婚する予定がある | 4 | いずれは結婚したい |
| 2 | すぐにでも結婚したい | 5 | 結婚するつもりはない |
| 3 | 2・3年以内に結婚したい | 6 | わからない |

問6 (問5で1～4と回答した人に)

あなたが結婚を考えたとき、次の中ではどのようなことが気になりますか。(回答はいくつでも)

- | | |
|----|-------------------------|
| 1 | お金を自由に使えるか |
| 2 | 職業を自由に選べるか |
| 3 | 仕事(または学業)の時間を自由に取れるか |
| 4 | 余暇や遊びの時間を自由に取れるか |
| 5 | 住む場所が制約されないか |
| 6 | 自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか |
| 7 | ファッションや食べ物などの好みが制約されないか |
| 8 | 相手の両親とうまく付き合えるか |
| 9 | 自由な人生設計ができるか |
| 10 | 自分に子育てができるか |
| 11 | 結婚生活を送るために十分な収入が確保できるか |
| 12 | その他 具体的に：() |
| 13 | 特に気になることはない |

問7 (問5で2～5と回答した人に)

あなたが現在独身でいる理由は、次の中から選ぶとすればどれですか。最大の理由、第2の理由、第3の理由をそれぞれお答えください。(回答はそれぞれ1つ)

- (1) 最大の理由
(2) 第2の理由
(3) 第3の理由

- | | |
|----|------------------------------|
| 1 | 結婚するにはまだ若すぎるから |
| 2 | 結婚する必要性を感じないから |
| 3 | 仕事(または学業)に打ち込みたいから |
| 4 | 仕事(または学業)が忙しく、余裕がないから |
| 5 | 趣味や娯楽を楽しみたいから |
| 6 | 独身の自由さや気楽さを失いたくないから |
| 7 | 適当な相手にまだめぐり会わないから |
| 8 | 異性とうまく付き合えないから |
| 9 | 結婚生活を送るには年収が少ない、または結婚資金が足りない |
| 10 | 結婚生活のための住居のめどがたたないから |
| 11 | 子育てする自信がないから |
| 12 | 親や周囲が結婚に同意しない(だろう)から |
| 13 | 親の面倒を見る(介護をする)必要があるから |
| 14 | 名字を変えたくないから |
| 15 | そもそも結婚願望がないから |
| 16 | 今の生活で充分幸せだから |
| 17 | 家族を養う責任を負いたくないから |
| 18 | その他 具体的に：() |
| 19 | これ以上理由はない |

「適当な相手にまだめぐり会わないから」の具体的な内容のうち、最もあてはまるものを1つお選びください。(回答は1つ)

- あなたは「婚活」としてどのようなことを行っていますか。あるいは今後行いたいですか。(回答はいくつでも)

- 婚活を「特に行っていない・行う予定はない」とされた理由は何ですか。あてはまるものをお答えください。
(回答はいくつでも)

- 89

既婚者パート <問4で1と回答した人に>

【ここからは「結婚されている方（事実婚を含む）」にうかがいます。】

【あなた方ご夫婦の結婚までの経過についてうかがいます。】

問11 あなた方ご夫婦はどのようなきっかけで知り合いましたか。（回答は1つ）

1 学校で	8 結婚相談所で
2 職場や仕事の関係で	9 インターネットサイトやSNSで
3 アルバイトで	10 婚活イベントで
4 幼なじみ、隣人関係	11 地域のイベントで
5 学校以外のサークル活動やクラブ活動、習い事で	12 街なかや旅先で
6 友人やきょうだいを通じて	13 その他 具体的に：()
7 見合いで（親戚や上役などの紹介も含む）	

共通パート

【すべての方にうかがいます。】

問12 あなたのおつとめの状況をお答えください。結婚されている方（事実婚を含む）は、配偶者（パートナー）についてもお答えください。（回答はそれぞれ1つ）

- (1) あなたご自身
(2) あなたの配偶者（パートナー）

1 正規の社員・職員	5 無職・家事
2 パート・アルバイト	6 学生
3 派遣・嘱託・契約社員	7 その他 具体的に：()
4 自営業主・家族従業員	

【ここからは、出産や子育てについてうかがいます。】

問13 お子さんの人数についてうかがいます。以下のそれぞれにあてはまる人数をご記入ください。

※0人場合は「0」を入力してください。

- (1) 現在の子どもの数

 人

※妊娠中の子は含めない

- (2) 理想の子どもの数

 人

※出産や子育てのハードルが無いと仮定した場合にほしい子どもの数（今いる子や妊娠中の子を含む）

- (3) 実際に持つつもり（予定）の子どもの数

 人

※今いる子や妊娠中の子を含む

問 14 (問 4 で 1 と回答した人、または問 5 で 1 ～ 4 と回答した人に)

- 1 子育てや教育にお金がかかりすぎるから
- 2 家が狭いから
- 3 自分の仕事（勤めや家業）に差し支えるから
- 4 子どもがのびのび育つ社会環境ではないから
- 5 自分や夫婦の生活を大切にしたいから
- 6 自分または配偶者（パートナー）の年齢的理由から
- 7 これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから
- 8 健康面・体調面の理由から
- 9 家族（パートナー）の家事・育児への協力が得られないから
- 10 家族（パートナー）が望まないから
- 11 自分や配偶者（パートナー）の定年退職までに成人してほしいから
- 12 その他 具体的に：（
- 13 特に理由はない

問 15 (問 4 で 1 と回答した人、または問 5 で 1～4 と回答した人に)

※長野県の独自施策として、不妊治療について保険診療と併用可能な先進医療への一部助成、兄弟姉妹の同時入所を要件としない第3子以降の保育料の負担軽減などを実施しています。

- 1 妊娠・出産に伴う医療費補助の増額
- 2 妊娠・出産に関する医療サービスの向上
- 3 産婦人科の充実
- 4 不妊治療に関する医療機関の充実や助成金の拡充・増額
- 5 幼稚園・保育所などの充実
- 6 3歳未満児保育の費用の軽減・無償化
- 7 満18歳未満の子どもを3人以上扶養している世帯向けの保育料の費用の軽減
- 8 地域や自治体の育児支援サービスの充実
- 9 ベビーシッターや民間の家事・育児支援サービスの利用にかかる費用への補助金の拡充・増額
- 10 大学・短大・専門学校等の教育費の軽減の拡充・増額
- 11 住居費用の補助の拡充・増額
- 12 自身の勤務先の産前産後休業・育児休業制度の充実
- 13 自身の産前産後休業・育児休業取得中の勤務先の所得補償制度の充実
- 14 自身の勤務先の育児短縮勤務制度の充実
- 15 配偶者（パートナー）の家事・子育てへの協力
- 16 自分または配偶者（パートナー）の親の家事・子育てへの協力
- 17 配偶者（パートナー）の勤務先の産前産後休業・育児休業制度の充実
- 18 配偶者（パートナー）の産前産後休業・育児休業取得中の勤務先の所得補償制度の充実
- 19 配偶者（パートナー）の勤務先の育児短縮勤務制度の充実
- 20 職場の理解
- 21 長時間労働の是正
- 22 その他 具体的に：（
- 23 特にない

【問13で、「理想の子どもの数」が0人と回答した方にうかがいます。】

問16（問4で1と回答した人、または問5で1～4と回答した人に）

子どもを希望しない理由、子どもを持たないかもしれないと思う理由は何ですか。（回答はいくつでも）

- 1 子育てができる自信がないから
- 2 責任が重いとを感じるから
- 3 子育てや教育にお金がかかりそうだから
- 4 保育サービスが充実していそうにないから
- 5 自分や夫婦の生活を大切にしたいから
- 6 自分の仕事（勤めや家業）に差し支えるから
- 7 職場の協力や理解が得られそうにないから
- 8 子どもがいる生活が想像できないから
- 9 自分または配偶者（パートナー）が子どもが苦手だから
- 10 配偶者（パートナー）が子どもを望まないから
- 11 家が狭いから
- 12 子どもがのびのび育つ社会環境ではないから
- 13 自分または配偶者（パートナー）の年齢的理由から
- 14 健康面・体調面の理由から
- 15 育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから
- 16 家庭の家事・育児への協力が得られそうにないから
- 17 親の介護が心配だから
- 18 その他 具体的に：（ ）
- 19 特に理由はない

【お子さんをお持ちのすべての方にうかがいます。】

問17

女性の場合：1人目のお子さんを出産したときの仕事についてお答えください。

男性の場合：1人目のお子さんが産まれたときの配偶者（パートナー）の仕事についてお答えください。

（回答は1つ）

（継続）

- 1 育児休業を取得し、継続して働いた（働いている、または働く予定である）
 - 2 育児休業を取得せず、継続して働いた（働いている、または働く予定である）
- （無職・退職）
- 3 妊娠前から無職だった
 - 4 妊娠～子どもが1歳になる前の間に退職した
 - 5 子どもが1歳になって以降、3歳になる前の間に退職した
 - 6 子どもが3歳になって以降に退職した
 - 7 わからない・答えたくない

【仕事を辞めた方にうかがいます。】

問18（問17で4～6と回答した人に）

1人目のお子さんの妊娠・出産・育児の時期に仕事を辞めた一番の理由は何ですか。（回答は1つ）

- 1 家事・育児に専念するため、自発的に辞めた
- 2 結婚・出産・育児を機に辞めたが、理由は結婚・出産・育児等に直接関係ない
- 3 仕事を続けたかったが、仕事と育児の両立が難しそうだった
- 4 子をもつ前と仕事内容や責任等が変わり、やりがいを感じられなくなった（なりそうだった）
- 5 その他 具体的に：（ ）
- 6 特にない

問 19 どのようなバランスで育児と仕事を両立したいですか。(回答は1つ)

※現在仕事をしていない方は、就業した場合を考えてお答えください。

- | | |
|---|--|
| 1 | 仕事メインで、育児は配偶者（パートナー）や家族、制度のサポートを借りながら両立したい |
| 2 | 仕事と育児は半々で、配偶者（パートナー）や家族などと協力をしながら両立したい |
| 3 | 育児メインで、仕事とはできる限り両立し、一定の収入は得たい |
| 4 | 育児メインで、仕事とはできる限り両立し、収入にはこだわらず、社会とのつながりを維持したい |
| 5 | 育児に専念したい |
| 6 | その他 具体的に：（ ） |
| 7 | 特にない |

問 20 円満な家庭生活をおくるうえで優先する労働条件は何ですか。(回答は2つまで)

※雇用形態にはこだわらずお答えください。

※現在仕事をしていない方は、就業した場合を考えてお答えください。

- | | |
|---|-----------------------------|
| 1 | 賃金 |
| 2 | 就業時間（時短勤務・フレックス・時間外労働の制限等） |
| 3 | 就業場所（在宅勤務・モバイルワーク・サテライト勤務等） |
| 4 | 働き方（フリーランス・副業・兼業等） |
| 5 | その他 具体的に：（ ） |
| 6 | 特にない |

問 21 お子さんが3歳になるまでの間、あなたや配偶者（パートナー）のご両親と同居していましたか。

(回答はそれぞれ1つ)

※3歳になるまでの間で、もっともあてはまる状況についてお答えください。

※お子さんが複数いる方は、一番下のお子さんの時のことをお答えください。また、お子さんが3歳未満の場合には、現在の状況についてお答えください。

	同居	別居（近居）	別居（近居以外）	いなかった	わからない
あなたの父親	1	2	3	4	5
あなたの母親	1	2	3	4	5
配偶者（パートナー）の父親	1	2	3	4	5
配偶者（パートナー）の母親	1	2	3	4	5

※「近居」は徒歩で30分程度の距離とお考えください。

問 22 (問 21 で1～3と回答した人に)

お子さんが3歳になるまでの間、あなたや配偶者（パートナー）のご両親からの子育ての手助けはありましたか。もっともあてはまる状況についてお答えください。(回答はそれぞれ1つ)

※3歳になるまでの間で、もっともあてはまる状況についてお答えください。

※お子さんが複数いる方は、一番下のお子さんの時のことをお答えください。また、お子さんが3歳未満の場合には、現在の状況についてお答えください。

	ほとんどなかった	ときどきあった	ひんぱんにあった	日常的にあった
あなたの父親	1	2	3	4
あなたの母親	1	2	3	4
配偶者（パートナー）の父親	1	2	3	4
配偶者（パートナー）の母親	1	2	3	4

問 23 お子さんが3歳になるまでの間、以下の制度や施設を利用しましたか。あてはまる状況についてお答えください。(回答はいくつでも)

※3歳になるまでの間で、もっともあてはまる状況についてお答えください。

※お子さんが複数いる方は、一番下のお子さんの時のことをお答えください。また、お子さんが3歳未満の場合には、現在までの状況についてお答えください。

- | |
|----------------------------|
| 1 産前・産後休業制度 |
| 2 育児休業制度（男親） |
| 3 育児休業制度（女親） |
| 4 短時間勤務制度（男親） |
| 5 短時間勤務制度（女親） |
| 6 保育園（認可保育所） |
| 7 認証・認定保育施設（自治体が認証・認定した施設） |
| 8 認定こども園（保育施設と幼稚園が一体化した施設） |
| 9 企業内保育所 |
| 10 認可外保育施設 |
| 11 ベビーシッター |
| 12 ファミリー・サポート・センター |
| 13 保育園・幼稚園などの一時預かり |
| 14 地域子育て支援センター |
| 15 幼稚園の未就園児親子登園 |
| 16 その他の保育施設・サービス |
| 17 どれも利用しなかった |

問 24 幼稚園や保育園を利用することなく家庭内で未就学児の子育てをするときに、どんな支援があるとよい（あるとよかった）と思うかお答えください。(回答はいくつでも)

- | |
|------------------------------|
| 1 事前に予約していなくても子どもを預かってもらえる支援 |
| 2 理由を問わずに子どもを預かってもらえる支援 |
| 3 自宅でも子どもの世話をしてもらえる支援 |
| 4 短時間でも子どもを預かってもらえる支援 |
| 5 家事を代わりに行ってもらえる支援 |
| 6 自宅に居ながら気軽に相談できる支援（自宅訪問型等） |
| 7 子育てについて気軽に相談できる身近な場所 |
| 8 子どもを安心して遊ばせることができる施設 |
| 9 その他 具体的に：() |
| 10 特にない |

【すべての方にうかがいます。】

(※) 問 25_1、問 25_2、問 26、問 32、問 33 は第 2 次ベビーブーム世代のみ回答

問 25_1 初めて就職する際に困ったことはありましたか。もっともあてはまることを 1 つお答えください。
(回答は 1 つ)

- | | |
|------------------------|--|
| 1 正規採用されなかった | |
| 2 採用されずに、無職の期間があった | |
| 3 求人を出している企業や採用数が少なかった | |
| 4 望んでいた職業につけなかった | |
| 5 その他 具体的に：() | |
| 6 就職をするつもりがなかった | |
| 7 特に困ったことはなかった | |

問 25_2 現在就職、転職活動をしていて困っていることはありますか。もっともあてはまることを 1 つお答えください。(回答は 1 つ)

- | | |
|----------------------|--|
| 1 正規採用されない | |
| 2 採用されないため、現在無職であること | |
| 3 求人を出している企業や採用数が少ない | |
| 4 望んでいた職業につけない | |
| 5 その他 具体的に：() | |
| 6 現在就職、転職活動はしていない | |
| 7 特に困ったことはない | |

問 26 現在の生活の幸福度、満足度を 5 段階評価で教えてください。(回答は 1 つ)

- | |
|-------------------------|
| 1 5 (とても満足している) |
| 2 4 (概ね満足している) |
| 3 3 (どちらともいえない) |
| 4 2 (概ね不満、あまり満足していない) |
| 5 1 (とても不満、まったく満足していない) |

問 27 現在どのようなことに悩み、不安を抱えていますか。最大の悩み、第 2 の悩み、第 3 の悩みをそれぞれお答えください。(回答はそれぞれ 1 つ)

- (1) 最大の悩み
(2) 第 2 の悩み
(3) 第 3 の悩み

- | | |
|-------------------------|--|
| 1 仕事、就職のこと | |
| 2 恋愛、結婚のこと | |
| 3 容姿、体形のこと | |
| 4 子どものこと | |
| 5 家族の介護のこと | |
| 6 人間関係(家族、友人など)のこと | |
| 7 お金のこと | |
| 8 老後のこと | |
| 9 健康のこと | |
| 10 その他 具体的に：() | |
| 11 悩んでいることはない/これ以上悩みはない | |

問 28 (問 27 で 1～10 と回答した人に)

不安や悩みを抱えている場合、どのような方法で解決しようとするのが最も多いですか。前問で回答された不安・悩みごとに、それぞれお答えください。(回答はそれぞれ1つ)

- (1) 最大の悩み
- (2) 第2の悩み
- (3) 第3の悩み

- | |
|-------------------------------|
| 1 家族に相談 |
| 2 職場の人に相談 |
| 3 友達に相談 |
| 4 行政などの機関に相談 |
| 5 インターネットで解決策を情報収集 |
| 6 書籍で解決策を情報収集 |
| 7 その他 具体的に：() |
| 8 問題の解決に向けて動かない(または動けない)ことが多い |

問 29 結婚と幸せの関係についてどのようなイメージを持っていますか。(回答は1つ)

※結婚したことがある方は、結婚前のイメージでお答えください。

- | |
|-----------------------------|
| 1 結婚すると、幸せになるイメージがある |
| 2 結婚すると、どちらかという幸せになるイメージがある |
| 3 結婚すると、どちらかという不幸になるイメージがある |
| 4 結婚すると、不幸になるイメージがある |

問 30_1 結婚の良さ、楽しさは何だと思いますか。あなたが思う良さ、楽しさについて、一番目から三番目までそれぞれ選択してください。(回答はそれぞれ1つ)

- (1) 第1に良さ、楽しさだと思うこと
- (2) 第2に良さ、楽しさだと思うこと
- (3) 第3に良さ、楽しさだと思うこと

- | |
|--|
| 1 子どもや家族を持てる |
| 2 好きな人と家族として一緒に暮らせる |
| 3 精神的な安らぎの場や支えが得られる |
| 4 経済的な安心感が持てる |
| 5 親や周囲の期待に応えることができる |
| 6 社会的信用や対等な関係が得られる |
| 7 家事や育児などを協力し合える |
| 8 仕事を辞めたり、仕事へのパワーを緩められる |
| 9 性的な充足が得られる |
| 10 その他 具体的に：() |
| 11 これ以上良さ、楽しさだと思うことはない/結婚の良さ、楽しさはないと思う |

問 30_2 独身の良さ、楽しさは何だと思いますか。あなたが思う良さ、楽しさについて、一番目から三番目までそれぞれ選択してください。(回答はそれぞれ1つ)

- (1) 第1に良さ、楽しさだと思うこと
- (2) 第2に良さ、楽しさだと思うこと
- (3) 第3に良さ、楽しさだと思うこと

- | |
|---------------------------------------|
| 1 時間の使い方が自由、人生の選択肢が多い |
| 2 家族扶養の責任がなく、金銭的な制限がない |
| 3 友人との交流に制限がなく、広い交友関係を保ちやすい |
| 4 異性との交際が自由にできる |
| 5 住環境の選択肢に制限がない |
| 6 現在の家族との関係性を保てる |
| 7 職業を持ち社会とのつながりを保てる |
| 8 その他 具体的に：() |
| 9 これ以上良さ、楽しさだと思うことはない/独身の良さ、楽しさはないと思う |

問 31 結婚についての考え方について、あなたの意見に近いものを1つ選んでください。(回答は1つ)

- | |
|------------------------------------|
| 1 結婚は、当然すべきものだと思う |
| 2 結婚は、したほうがいいものと思う |
| 3 結婚は、しなくてもいいものだと思う |
| 4 結婚は、メリットとデメリットを比較したうえで判断するものだと思う |

問 32 ご自身が 20 代のうちにあったらよかったと思う行政からの支援は何ですか。(回答はそれぞれ1つ)

- (1) 最もあったらよかった支援
- (2) 二番目にあったらよかった支援
- (3) 三番目にあったらよかった支援

- | |
|------------------------------------|
| 1 奨学金や資格取得など修学に関する支援 |
| 2 就職やキャリア形成に関する支援 |
| 3 婚活など結婚に関する支援 |
| 4 子育てに関する支援 |
| 5 住宅購入やリフォーム時の補助など住宅に関する支援 |
| 6 介護に関する支援 |
| 7 その他 具体的に：() |
| 8 これ以上必要としていた支援はなかった/支援は必要としていなかった |

問 33 現在必要としている行政からの支援は何ですか。(回答はそれぞれ1つ)

- (1) 最も必要としている支援
- (2) 二番目に必要としている支援
- (3) 三番目に必要としている支援

- | |
|--------------------------------|
| 1 奨学金や資格取得など修学に関する支援 |
| 2 就職やキャリア形成に関する支援 |
| 3 婚活など結婚に関する支援 |
| 4 子育てに関する支援 |
| 5 住宅購入やリフォーム時の補助など住宅に関する支援 |
| 6 介護に関する支援 |
| 7 その他 具体的に：() |
| 8 これ以上必要としている支援はない/支援は必要としていない |

問 34 次の結婚・子育て支援や若者支援の取組等のうち、あなたが聞いたことがあるもの、内容も含めて知っているものはどれですか。(回答はそれぞれいくつでも)

(1) 聞いたことがあるもの

(2) 内容も含めて知っているもの

1 長野県婚活支援センター	12 チャイルドライン
2 結婚・出産・子育て応援サイト「チアフルながの」	13 児童相談所虐待対応ダイヤル 189
3 長野県妊活支援サイト「妊活ながの」	14 家庭の日(毎月第3日曜日)
4 ながの結婚マッチングシステム 「NAGANO ai MATCH」	15 いい育児の日(11月19日)
5 ながの結婚応援パスポート「enn pass(エンパス)」	16 WE ラブ赤ちゃんプロジェクト
6 ながの子育て家庭優待パスポート	17 こどもまんなか
7 ながのパパ手帳	18 プレコンセプションケア
8 第3子以降の保育料の負担軽減	19 幼児教育・保育の無償化
9 信州やまほいく(信州型自然保育)	20 こころの健康相談統一ダイヤル
10 信州こどもカフェ	21 よりそいホットライン
11 信州型フリースクール	22 ゲートキーパー
	23 あてはまるものはない

問 35 結婚・子育て・若者支援に関して県への要望などがあれば、ご自由にお書きください。

※日頃の生活を通じて導入してほしい、更に充実してほしい、あるいは、力を入れてほしい制度や取組など
(例：近くに相談できる人がいない、公共機関を子連れで利用しにくい、教育費に関する支援制度をもっと
情報発信してほしい など)

※特にない方は、「特になし」とご入力ください。

自由記述

長野県民の結婚・出産・子育てに関する意識調査報告書

令和6年8月

調査機関：株式会社インテージリサーチ

発行：長野県将来世代応援県民会議

〒380-8570 長野市大字南長野字幅下692-2

電話 026-235-7207（直通） fax 026-235-7087

ホームページアドレス <http://nagano-kosodate.net/>

メールアドレス shoushika@pref.nagano.lg.jp